

< 論 説 >

現代中国における高学歴若年層の就転職事情(1)

——人材交流会求職者にたいするアンケート調査の比較分析を通じて——

柳 澤 和 也

目 次

- はじめに
- 第1章 人材交流会の概要
- 第2章 アンケート調査の実施方法と質問項目
- 第3章 求職者の都市間比較
- おわりに

はじめに

筆者は、2007年度、本務校の在外研究制度を利用し、中国農業大学人文・発展学院¹の客員研究員として、共同研究者である妻の鄭曉穎とともに中国の地方政府²人事廳／局傘下の公的機関である「人材市場」（「人材市場」は、以下、鉤括弧を省略する。人材市場は、日本の公共職業安定所に相当し、英語名称は、Talent Market / Human Resources Marketである。）^{3,4}や民間企業によって中国各都市で定期的に主（共）催されている「人材交流会」（「人材交流会」は、以下、鉤括弧を省略する。人材交流会は、一般に合同面接会と訳される。）で一連のアンケート調査を実施した。筆者たちがこの時期に中国各都市の人材交流会でアンケート調査を実施した理由は、高失業率に直面しているといわれる高学歴若年層の就転職事情の一端を数量的に捕捉してみたいと考えたからである。

正確を期すると、筆者たちは、このたび実施したアンケート調査と同内容のアンケート調査を5年後、10年後というように一定間隔をおいて同一の人材市場と民間企業が主催する人材交流会で実施していくことによって、2007～2008年を起点とする高学歴若年層の就転職事情の時系列的变化を後日明確にすることができる、と考えている。表1は、筆者たちがアンケート調査を実施した人材交流会の主（共）催機関である人材市場と民間企業の名称、当該人材市場と当該民間企業が位置する都市名、アンケート調査実施日、アンケート調査当日の人材交流会の求職者数とアンケート用紙回収枚数をまとめたものである。また、表2は、筆者がアンケート調査を実施した人材交流会の主（共）催機関である人材市場と民間企業の人材交流会に関する近年の実績をまとめたものである。

筆者たちが実施したアンケート調査の真の成果は、将来になってはじめて理解されるであろうが、筆者たちは、図1と表3・4・5・6に示したように、地理的位置、人口、産業構造、1人あたり域内総生産、中高等教育機関数などの条件が異なるさまざまな位置づけの都市でアン

表1 アンケート調査実施人材交流会の概要

	主(共) 催機関	都市名	実施日	求職者数 (人) A	アンケート回答者数	
					B	B/A
1	常州市人才市場	常州市(江蘇省)	2007/4/7	3,500	237	6.8%
2	匿名民間企業	重慶市(直轄市)	2007/4/21	1,371	391	28.5%
3	中国湖南人才市場	長沙市(湖南省)	2007/5/26	2,000	317	15.9%
4	(上海搜才網絡信息科技有限公司)	上海市(直轄市)	2007/6/2	15,000	485	3.2%
5	蘇州工業園区人力資源市場	蘇州市(江蘇省)	2007/6/9	5,400	494	9.1%
6	中国南方人才市場	広州市(広東省)	2007/7/21	5,300	480	9.1%
7	中国西安人才市場	西安市(陝西省)	2007/9/8	1,185	497	41.9%
8	中国海峽人才市場	福州市(福建省)	2007/9/15	3,698	495	13.4%
9	中国寧波人才市場	寧波市(浙江省)	2007/9/22	2,361	468	19.8%
10	中国江西人才市場	南昌市(江西省)	2007/9/29	4,000	482	12.1%
11	中国瀋陽人才市場	瀋陽市(遼寧省)	2007/10/13	2,700	503	18.6%
12	河北省人才市場	石家荘市(河北省)	2007/10/20	7,000	495	7.1%
13	鄭州人才市場	鄭州市(河南省)	2007/10/27	6,000	491	8.2%
14	天津市博恒人力資源服務公司	天津市(直轄市)	2007/11/3	7,200	491	6.8%
15	南京人才市場	南京市(江蘇省)	2007/11/10	5,000	489	9.8%
16	山東人才市場	済南市(山東省)	2007/11/17	25,000	513	2.1%
17	中国武漢人才市場	武漢市(湖北省)	2007/11/23	15,000	523	3.5%
18	合肥市人才市場	合肥市(安徽省)	2007/11/28	3,200	500	15.6%
19	(上海搜才網絡信息科技有限公司)	上海市(直轄市)	2007/12/8	4,000	518	13.0%
20	中国広西人才市場	南寧市(広西壮族自治区)	2007/12/15	1,400	511	36.5%
21	中国南方人才市場	広州市(広東省)	2007/12/16	1,800	534	29.7%
22	四川省人才市場	成都市(四川省)	2008/2/16	6,000	518	8.6%
23	朝陽人才市場	北京市(直轄市)	2008/2/29	500	368	73.6%
24	北京工体人才市場	北京市(直轄市)	2008/3/1	3,000	529	17.6%

- 注 1. 「中国」の二文字を冠した主催機関は、国家級人材市場である。
2. 求職者数は、主(共)催機関の集計に基づく。ただし、求職者のすべてないしは一部の入場料を無料にしている主(共)催機関、複数回入場券を一括して販売している主催機関、利用日を特定しない入場券を販売している主催機関の人材交流会は、求職者数を厳密に確定できない。重慶市の匿名民間企業、中国西安人才市場、中国海峽人才市場、中国寧波人才市場、鄭州人才市場を除く求職者数は、主(共)催機関による推計である。
3. 河北省人才市場の人材交流会は、入場料を徴収した会場と入場料を徴収しなかった会場とに分かれる。本表の求職者数とアンケート回答者数は、筆者がアンケート調査を実施した前者の数字である。ちなみに、後者は、2万人弱の求職者を集めた。
4. 天津市博恒人力資源服務公司主催の人材交流会は、中国北方人才市場の紹介による。

表2 アンケート調査実施人材交流会主(共)催機関の人材交流会に関する実績

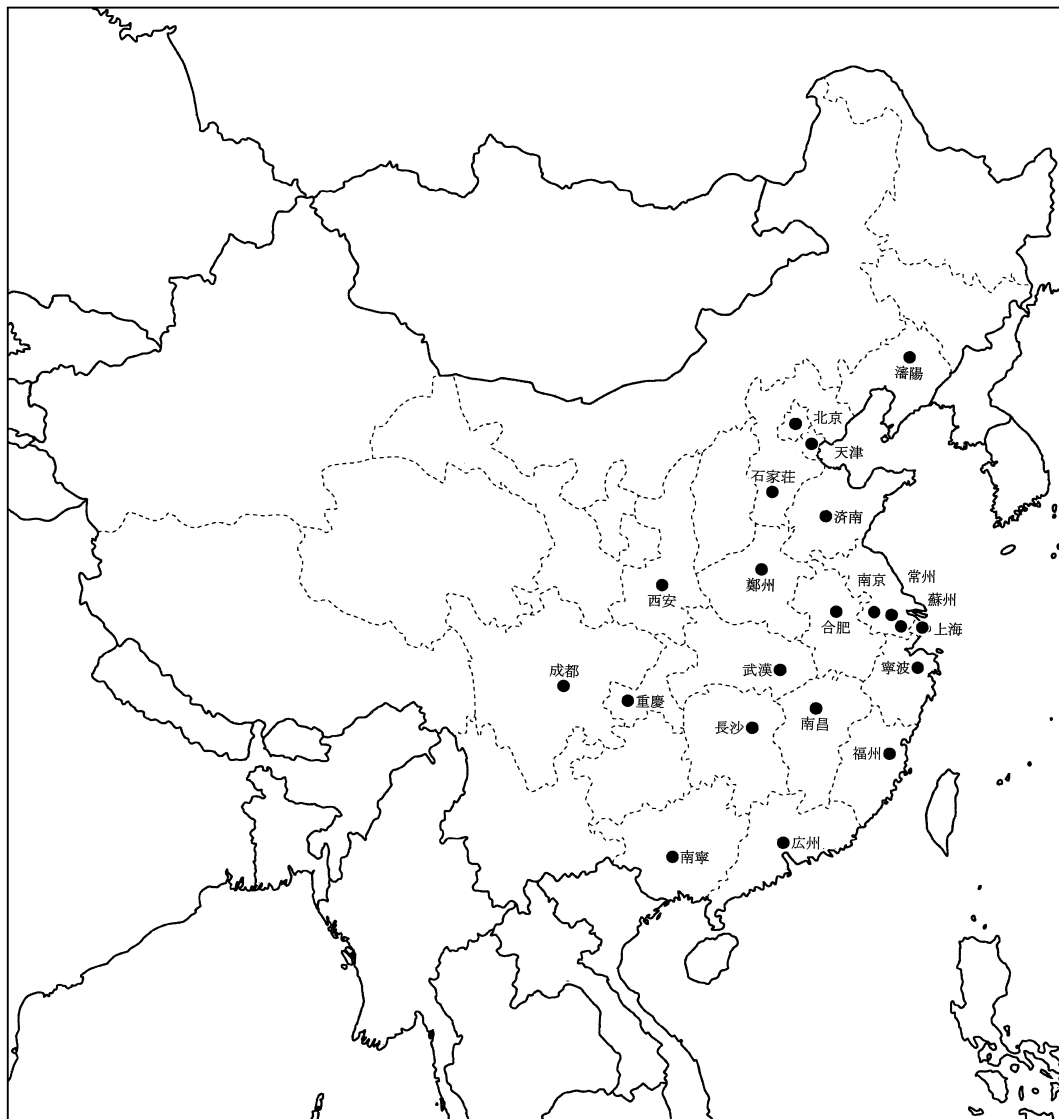
主(共) 催機関	主(共) 催頻度	最多求職者数		最少求職者数		卒業見込者 就職活動 最盛月間
		人数	時期	人数	時期	
常州市人才市場	毎土日	15,000	3/10	1,100	5/30	2, 7
匿名民間企業	毎火木土	-	-	-	-	2, 8, 9
中国湖南人才市場	毎水士	-	-	-	-	3
(上海搜才網絡信息科技有限公司)	毎土日	20,000	3/10	3,000	8/11	9
蘇州工業園区人力資源市場	毎月～土	-	-	-	-	7
中国南方人才市場	毎火～日	5,670	2/11	736	1/13	2, 3, 8
中国西安人才市場	毎土日	7,300	2, 3, 10	411	1, 12	10, 11
中国海峽人才市場	毎土	50,000	1/22	1,500	12/30	2～6
中国寧波人才市場	毎水士日	6,686	3/4	797	9/27	1, 6
中国江西人才市場	毎水士	5,000	2, 3	800	1, 12	11, 12
中国瀋陽人才市場	毎火～土	-	-	-	-	3
河北省人才市場	毎月水金土	70,000	2	1,000	7, 8, 9	2
鄭州人才市場	毎火水金土	15,000	2, 3	1,500	7, 8	1, 2, 10
天津市博恒人力資源諮詢服務公司	毎土日	9,000	7/29	2,000	3/12	4
南京人才市場	毎火～土	5,000	-	-	-	8, 9
山東人才市場	毎土	30,000	11/24	300	8/18	12
中国武漢人才市場	毎金土	11,000	2/24	330	6/25	2, 3
合肥市人才市場	毎水～土	5,000	3	900	1	12
中国広西人才市場	毎水金土	25,000	2/26	500	12/7	3
四川省人才市場	毎水金土	8,000	2/16	100	1/20	11
朝陽人才市場	毎火水金土	2,600	3/21	200	12/14	3, 4
北京工体人才市場	毎水金土日	20,000	3/1	2,000	1/19	2～6

- 注 1. 主(共)催頻度は、アンケート調査実施時点の状況、最多求職者数と最少求職者数は、常州市人才市場から中国広西人才市場までは2006年、四川省人才市場から北京工体人才市場までは2007年の結果である。
2. 常州市人才市場は、毎週土曜日に総合性の人材交流会、毎週日曜日に特定業種、特定職務、あるいは「中高級人材」に限定した人材交流会を主催している。
3. 重慶市の匿名民間企業は、毎週火・木・土曜日に総合性の人材交流会、不定期に特定業種に限定した人材交流会を主催している。
4. 中国湖南人才市場は、毎週土曜日に総合性の人材交流会、毎週水曜日に特定業種あるいは「中高級人材」に限定した人材交流会を主催している。
5. 上海搜才網絡信息科技有限公司は、毎週土曜日に総合性の人材交流会、毎週日曜日に特定業種に限定した人材交流会を主(共)催している。
6. 蘇州工業園区人力資源開発有限公司は、毎週金・土曜日に高学歴層を対象にした総合性の人材交流会、毎週木曜日に高学歴層を対象にした特定業種限定の人材交流会、毎週月・火・水曜日に非高学歴層を対象にした労務サービス限定の人材交流会を主催している。また、同公司是、不定期に「中高級人材」に限定した人材交流会を主催している。
7. 中国南方人才市場は、毎週土・日曜日に総合性の人材交流会、毎週火～金曜日に特定業種、特定職務、あるいは特定学歴保有者に限定した人材交流会を主催している。ただし、前者の人材交流会も、会場の一部を特定業種に限定する場合がある。
8. 中国海峡人才市場は、毎週土曜日に総合性の人材交流会、不定期に特定業種と「中高級人材」に限定した人材交流会を主催している。
9. 中国寧波人才市場は、毎週土・日曜日に総合性の人材交流会、毎週水曜日に特定業種に限定した人材交流会を主催している。
10. 中国江西人才市場は、毎週水・土曜日に総合性の人材交流会、2ヵ月に1回の頻度で特定業種と「中高級人材」に限定した人材交流会を主催している。
11. 中国瀋陽人才市場は、毎週火・土・日曜日に総合性の人材交流会、毎週水・木曜日に特定業種に限定した人材交流会を主催している。
12. 河北省人才市場は、毎週月・水・土曜日に総合性の人材交流会、毎週金曜日に特定業種に限定した人材交流会を主催している。
13. 鄭州人才市場は、毎週火・水・金・土曜日に総合性の人材交流会、不定期に特定業種あるいは「中高級人材」に限定した人材交流会を主催している。
14. 南京人才市場は、毎週土曜日に総合性の人材交流会、毎週火～金曜日に特定業種に限定した「招聘会」、不定期(日曜日中心)に「中高級人材」に限定した人材交流会を主催している。
15. 天津市博恒人力資源諮詢服務公司是、毎週土・日曜日に総合性の人材交流会、毎週火曜日に同社が位置する和平区の一時帰休者・失業者を対象にした人材交流会を主催している。
16. 山東人才市場は、毎週土曜日に総合性の人材交流会、不定期に特定業種に限定した人材交流会を主催している。
17. 中国武漢人才市場は、毎週金・土曜日に総合性の人材交流会、不定期に特定業種あるいは「中高級人材」に限定した人材交流会を主催している。
18. 合肥市人才市場は、毎週水・木・土・日曜日に総合性の人材交流会、毎週金曜日に特定業種に限定した人材交流会を主催している。
19. 中国広西人才市場は、毎週金・土曜日に総合性の人材交流会、毎週木曜日に特定業種あるいは「中高級人材」に限定した人材交流会を主催している。
20. 四川省人才市場は、毎週水・金・土曜日に総合性の人材交流会、不定期(通常土曜日、場合によって日曜日)に特定業種あるいは「中高級人材」に限定した人材交流会を主催している。
21. 朝陽人才市場は、毎週火・金・土曜日に総合性の人材交流会、毎週水曜日に特定業種に限定した人材交流会を主催している。
22. 北京工体人才市場は、毎週水・土・日曜日に総合性の人材交流会、金曜日と不定期(通常日曜日)に特定業種あるいは特定職務に限定した人材交流会を主催している。

ケート調査を実施した結果、高学歴若年層が就転職にさいして性、年齢、学・職歴、出身地などの自己の属性に応じた興味深い行動をしている事実を発見することができた。本稿を皮切りにするいくつかの論考は、どちらかといえば長期的計画に立つ一連のアンケート調査の副産物とみなされるべき結果を報告するものである。なお、本稿を皮切りにするいくつかの論考は、筆者が単独で執筆するものであり、内容とありうる誤謬に関する責任は、すべて筆者に帰する。

人材交流会を主催する人材市場や民間企業のいくつかは、筆者たちが実施したアンケート調査と内容が一部重なるアンケート調査をすでに実施しているが、結果を一般に公開せず、内部資料

図1 アンケート調査実施人材交流会開催都市



としている。また、中華人民共和国旧人事部（旧人事部は、以下「旧」を省略する。人事部は、2008年3月、旧労働・社会保障部と統合され、人力資源・社会保障部になった。）は、地方政府人事廳／局の傘下にある人材市場から提供された資料に基づいて四半期ごとの労働需給の動向をURLで簡潔に報告しているが⁵、その内容は、求人情報の分析に偏っている。筆者たちが実施したアンケート調査の結果は、一般に公開された類似調査の結果をほかにみないという点できわめて貴重である。

さて、以下でいう◎◎市の人材交流会とは、筆者たちがアンケート調査を実施した人材市場と民間企業の当該人材交流会を指す。また、本稿でいう高学歴若年層とは、高等教育機関である「大学専科」（「大学専科」は、2年制・3年制大学であり、一般に「大専」と呼ばれる。「大学専科」は、以

表3 アンケート調査実施都市の概況(1)人口

	人口 (万人)	就業人口 (万人)						
		第一次産業		第二次産業		第三次産業		
			構成比		構成比		構成比	
常州市	351.63	35.93	0.18	0.5%	18.94	52.7%	16.81	46.8%
重慶市	3,169.16	215.55	2.14	1.0%	102.82	47.7%	110.59	51.3%
長沙市	620.92	72.97	0.30	0.4%	30.99	42.5%	41.68	57.1%
上海市	1,360.26	437.83	1.83	0.4%	169.64	38.7%	266.36	60.8%
蘇州市	607.31	102.74	0.83	0.8%	69.61	67.8%	32.30	31.4%
広州市	750.53	199.76	0.84	0.4%	86.94	43.5%	111.98	56.1%
西安市	741.73	123.65	1.43	1.2%	55.43	44.8%	66.79	54.0%
福州市	614.83	84.09	0.88	1.0%	47.66	56.7%	35.55	42.3%
寧波市	556.70	101.77	0.21	0.2%	45.95	45.2%	55.61	54.6%
南昌市	475.17	56.89	2.25	4.0%	24.17	42.5%	30.47	53.6%
瀋陽市	698.57	100.17	0.69	0.7%	40.50	40.4%	58.98	58.9%
石家荘市	927.30	87.41	0.49	0.6%	35.77	40.9%	51.15	58.5%
鄭州市	679.70	93.61	0.38	0.4%	44.99	48.1%	48.24	51.5%
天津市	939.31	194.12	0.81	0.4%	97.51	50.2%	95.80	49.4%
南京市	595.80	92.78	0.95	1.0%	40.31	43.4%	51.52	55.5%
済南市	597.44	97.39	0.12	0.1%	45.69	46.9%	51.58	53.0%
武漢市	801.36	148.53	5.63	3.8%	61.17	41.2%	81.73	55.0%
合肥市	455.70	40.36	0.24	0.6%	15.53	38.5%	24.59	60.9%
南寧市	659.54	61.85	3.37	5.4%	19.16	31.0%	39.32	63.6%
成都市	1,082.03	134.61	0.36	0.3%	65.22	48.5%	69.03	51.3%
北京市	1,180.70	878.05	62.25	7.1%	231.09	26.3%	584.71	66.6%

注 人口と就業人口は、2005年末時点のものである。

資料 国家統計局城市社会経済調査司編『中国城市統計年鑑』〔2006年版〕中国統計出版社、2007年、29～36、45～52頁。

表4 アンケート調査実施都市の概況(2)域内総生産

	域内総生産 (万元)	産業			1人あたり 域内総生産 (元)	平均月給 (元)
		第一次 産業	第二次 産業	第三次 産業		
常州市	13,033,600	4.34%	61.08%	34.58%	31,997	1,916.05
重慶市	30,704,900	15.09%	41.01%	43.90%	10,982	1,558.20
長沙市	15,199,001	7.50%	42.25%	50.25%	23,968	1,791.75
上海市	91,541,800	0.88%	48.64%	50.48%	51,474	2,661.67
蘇州市	40,265,200	2.20%	66.60%	31.20%	54,164	2,084.60
広州市	51,542,283	2.53%	39.68%	57.79%	69,268	2,860.64
西安市	12,701,400	5.31%	42.48%	52.20%	15,940	1,194.88
福州市	14,763,142	11.84%	47.00%	41.16%	22,301	1,516.17
寧波市	24,493,099	5.40%	54.77%	39.83%	44,156	2,420.42
南昌市	10,077,025	7.20%	52.81%	39.99%	22,390	1,503.80
瀋陽市	20,841,339	6.06%	43.49%	50.45%	29,935	1,657.88
石家荘市	17,867,750	13.87%	48.45%	37.69%	18,671	1,269.95
鄭州市	16,606,006	4.36%	52.56%	43.08%	25,474	1,391.31
天津市	36,976,200	3.04%	55.47%	41.49%	35,783	2,105.92
南京市	24,111,100	3.32%	49.78%	46.90%	40,887	2,445.31
済南市	18,766,071	7.16%	46.04%	46.80%	31,606	1,738.79
武漢市	22,380,000	4.90%	45.53%	49.57%	26,238	1,542.08
合肥市	8,535,700	6.15%	44.83%	49.02%	18,960	1,585.85
南寧市	7,233,557	16.55%	31.96%	51.49%	11,057	1,460.09
成都市	23,707,644	7.68%	42.45%	49.87%	19,627	1,663.48
北京市	68,863,101	1.42%	29.43%	69.15%	45,444	2,849.23

資料 国家統計局城市社会経済調査司編『中国城市統計年鑑』〔2006年版〕中国統計出版社、2007年、125～140、245～252頁。

表5 アンケート調査実施都市の概況(3)直接投資受入額

単位 万ドル

	契約ベース				実行ベース			
	3 ヶ年合計	2003年	2004年	2005年	3 ヶ年合計	2003年	2004年	2005年
常州市	709,154	205,376	218,671	285,107	216,642	85,522	58,000	73,120
重慶市	203,493	55,301	66,315	81,877	123,747	31,112	40,508	52,127
長沙市	325,549	77,674	90,731	157,144	190,526	50,209	50,114	90,203
上海市	3,658,735	1,106,371	1,169,067	1,383,297	1,924,060	585,022	654,073	684,965
蘇州市	4,247,044	1,249,606	1,470,260	1,527,178	1,695,421	680,511	503,314	511,596
広州市	1,011,816	351,117	320,494	340,205	763,020	258,076	240,062	264,882
西安市	316,191	96,380	78,312	141,499	110,265	25,557	27,595	57,113
福州市	413,087	161,412	135,003	116,672	330,257	130,198	136,042	64,017
寧波市	1,179,030	344,382	413,633	421,015	614,156	172,727	210,332	231,097
南昌市	289,801	73,579	104,743	111,479	222,247	58,350	73,032	90,865
瀋陽市	1,101,456	225,074	259,650	616,732	678,826	224,237	242,277	212,312
石家荘市	91,297	36,890	34,663	19,744	104,544	25,414	35,199	43,931
鄭州市	175,399	48,422	63,211	63,766	86,871	29,120	24,202	33,549
天津市	1,642,433	351,297	558,855	732,281	743,453	163,325	247,243	332,885
南京市	1,365,382	400,933	451,544	512,905	619,436	221,022	256,636	141,778
済南市	253,066	70,909	70,085	112,072	167,756	65,329	48,269	54,158
武漢市	639,857	243,989	166,568	229,300	502,159	176,155	152,003	174,001
合肥市	86,586	25,439	26,626	34,521	98,306	26,048	31,598	40,660
南寧市	93,977	34,226	28,047	31,704	25,822	9,476	7,768	8,578
成都市	453,142	66,874	80,722	305,546	220,879	42,549	33,173	145,157
北京市	1,604,677	327,132	625,796	651,749	875,667	214,675	308,354	352,638

資料 国家統計局城市社会経済調査司編『中国城市統計年鑑』〔2004年版〕中国統計出版社、2005年、225～232頁。

国家統計局城市社会経済調査司編『中国城市統計年鑑』〔2005年版〕中国統計出版社、2006年、201～208頁。

国家統計局城市社会経済調査司編『中国城市統計年鑑』〔2006年版〕中国統計出版社、2007年、213～220頁。

表6 アンケート調査実施都市の概況(4)中高等教育

	学校数 (校)		在学生数 (万人)	
	中等教育 機関	高等教育 機関	中等教育 機関	高等教育 機関
常州市	172	9	22.07	8.39
重慶市	1,414	35	173.52	33.36
長沙市	339	45	34.52	39.44
上海市	807	60	77.02	44.26
蘇州市	270	16	33.82	10.92
広州市	448	59	55.03	55.43
西安市	460	44	55.74	53.06
福州市	467	36	41.78	19.41
寧波市	304	13	32.30	11.05
南昌市	279	45	25.00	39.47
瀋陽市	354	29	37.23	40.92
石家荘市	660	32	76.12	26.81
鄭州市	438	38	56.24	39.29
天津市	640	42	57.63	32.74
南京市	234	38	32.26	56.11
済南市	247	59	30.91	48.71
武漢市	510	52	52.76	69.35
合肥市	267	36	30.90	24.21
南寧市	413	28	42.49	16.01
成都市	524	38	59.25	42.72
北京市	739	79	59.99	53.67

資料 国家統計局城市社会経済調査司編『中国城市統計年鑑』〔2006年版〕中国統計出版社、

2007年、253～260、269～276頁。

下、鉤括弧を省略する。)6 卒業、「大学本科」(「大学本科」は、4年制大学である。「大学本科」は、以下、鉤括弧を省略する。)卒業、大学院博士前後期課程修了のいずれかの学歴を有する／有することになる35歳未満の者を指している。

第1章 人材交流会の概要

人材交流会は、求人企業と求職者とが一堂に会する催事である。人材交流会の雰囲気は、写真1・2・3・4にみるように、一見すると日本の合同企業説明会に似ている。しかし、人材交流会は、具体的な求人情報を携えてきて各ブースに陣取った求人企業とできるかぎり好条件の就転職先を探そうと試みる求職者とが「双向選択」(相互選抜)を行う場である。求職者は、あらかじめURLや新聞などを通じて公開されている求人情報を比較しながら就転職先として望ましいと考える求人企業のブースに足を運び、求人企業の担当者は、面接の末、条件に合う求職者にたいしてその場ないしは後日電話で自社での二次面接の日時を告げる。その結果、求人企業のブースは、求職者が列をなすところと求職者がまったく寄りつかないところとに鮮明に分かれることになる。他方、日本の合同企業説明会は、求職者の情報収集や出展企業の宣伝の機会として位置づけられているにすぎない。高学歴若年層のほとんどは、成否はともかく、人材交流会を利用して

写真1 中国南方人才市場主催の人材交流会



注 筆者撮映。

写真2 中国寧波人才市場主催の人材交流会



注 筆者撮映。

写真3 合肥市人才市場主催の人材交流会



注 筆者撮映。

写真4 北京工体人才市場主催の人材交流会



注 筆者撮映。

就職活動をした経験があるといわれている。

1ヵ月ごとの人材交流会の開催数は、都市ごとに異なる。一都市といえども、行政レベルを異にする複数の地方政府が都市行政を分掌しており、それぞれの傘下にある人材市場は、規模や性格の異なる人材交流会を盛んに主催している⁷。さらに、民間企業も、地方政府人事廳/局の認可を受けて人材交流会を主催しており、ときによっては人材市場が主催している人材交流会を求人企業数と求職者数で勝る場合さえある。各人材市場と各民間企業は、少なくとも1ヵ月に1回、多ければほぼ毎日人材交流会を主催しており、都市ごとの人材交流会の開催数は、こうした人材市場と民間企業の設立数および人材市場と民間企業それぞれの人材交流会の開催頻度によって大きく異なっているのである。

また、大都市圏の労働行政の末端を担う人材市場や大都市に立地している民間企業は、求人企業にも求職者にもいっさいの条件をつけない「総合性」や「大型」を冠した一般的な人材交流会に加え、特定業種の求人企業に限定した人材交流会や一定以上の学・職歴や資格を有する「中高級人材」（「中高級人材」は、以下、鉤括弧を省略する。）と称する求職者に限定した人材交流会など多種多様な人材交流会を主催している⁸。筆者たちがアンケート調査を実施した人材交流会は、一部を除いて、こうした特別の人材交流会ではなく、求人企業にも求職者にもいっさいの条件をつけない「総合性」や「大型」を冠した人材交流会であり、各都市で同日に異なる人材市場と民間企業によって複数主催される人材交流会のなかで最大規模級のものであった。

人材交流会に相当する催事は、筆者たちがアンケート調査を実施した人材市場や民間企業のほか、地方政府旧労働・社会保障廳/局（旧労働・社会保障廳/局は、以下、「旧」を省略する。）傘下の公的機関である「労働力市場」（「労働力市場」は、以下、鉤括弧を省略する。労働力市場は、人材市場と同様に日本の公共職業安定所に相当し、英語名称は、Labour Marketであった。）なども主催している⁹。労働力市場が主催していた同様の催事は、法律用語としては「労働力洽谈会」（「労働力洽谈会」は、以下、鉤括弧を省略する。）などが使用されているが、人材市場が主催している人材交流会も、「洽谈会」と呼ばれることがあり、主催者、求人企業、求職者のいずれも、両者を厳密に区別せずに「洽谈会」と呼んだり「招聘会」（「招聘会」は、以下、鉤括弧を省略する。）と呼んだりしている¹⁰。

人材市場や民間企業が主催していた人材交流会は、事実上、大学専科卒業以上の学歴を有する/有することになる高学歴層のなかでも20歳代を中心とする若年層を主たる対象にしていたが¹¹、労働力市場が主催していた労働力洽谈会は、高校や「中等専門学校」（「中等専門学校」は、一般に「中専」と呼ばれる。「中等専門学校」は、以下、鉤括弧を省略する。）¹²卒業以下の学歴を有する/有することになる非高学歴層をはじめ、人材市場や民間企業が主催している人材交流会では就転職が難しい中高年層をも対象にしている。また、労働力市場が主催していた労働力洽谈会は、農村出身の求職者（農業戸籍保有者）が圧倒的多数を占めているものが多かったと推察され、農村から出稼ぎにきた非高学歴層に就業機会を斡旋する社会福祉事業としての役割をも担っていた¹³。

もともと、地方政府労働・社会保障廳／局が認可した民間企業主催の労働力洽谈会の性格は、地方政府人事廳／局が認可した民間企業主催の人材交流会の性格と基本的に同様であり、労働力市場主催の労働力洽谈会が有する社会福祉事業としての性格は、一部を除くと、ほとんどなかった。実際、筆者たちが上海市と天津市でアンケート調査を実施した労働力洽谈会の主（共）催機関である上海捜才網絡信息科技有限公司と天津市博恒人力資源諮詢服務公司是、それぞれ上海市労働・社会保障局と天津市労働・社会保障局の認可を受けた企業であったが、両公司主（共）催の労働力洽谈会の性格は、人材市場や地方政府人事廳／局が認可した民間企業主催の人材交流会の性格とまったく変わらなかった（両公司が主催した労働力洽谈会は、以下、煩雑を避けるために人材交流会と表記する。両公司是、人材交流会に相当する催事を招聘会と呼んでいた。）。

なお、求人企業は、便宜上、人材市場、労働力市場、民間企業主催の人材交流会や労働力洽谈会で同内容の求人を一部行っており、ある人材市場の人材交流会運営責任者によると、その結果、いずれの催事にも訪れる求職者が一定数いるという¹⁴。近年の高学歴化の進展は、都市部で高等教育の大衆化を促し、日野〔2004〕がすでに指摘しているように、人材交流会の「専門分化と高度化」を不可避としている一方¹⁵、高学歴層間の競争をいっそう厳しくしている。本来、求人内容が大きく異なる人材市場が主催する人材交流会と労働力市場が主催する労働力洽谈会のいずれにも訪れる求職者の存在は、高学歴層のなかでも就転職をめぐる階層分化が生じている事実を示唆すると同時に、人材市場主催の人材交流会と労働力市場主催の労働力洽谈会の境界を曖昧にしつつあった。

第2章 アンケート調査の実施方法と質問項目

筆者は、訪中当初、可能であれば、北京市で開催されている人材交流会に限定してアンケート調査を実施したいと考えていた。しかし、筆者は、当時、人材交流会におけるアンケート調査と並行して全国各地に立地する企業でも雇用情勢に関する聞き取り調査を実施する手筈を整えていたために、企業での聞き取り調査を第一目的に訪問した各都市の人材交流会でもアンケート調査を急遽実施することにした。常州市から蘇州市の人材交流会に至るアンケート調査は、こうした経緯で実施されたものである。ただし、筆者は、常州市から蘇州市の人材交流会に至るアンケート調査ではアンケート用紙の作成を分担しただけであり、人材交流会におけるアンケート用紙の配布と回収は、共同研究者である鄭が現地の協力を仰ぎつつ行った。

筆者は、6月中旬に至ると、企業から聞きださう近年の雇用情勢の概要を把握したと認識するようになった一方、鄭が実施していた人材交流会におけるアンケート調査の意義を強く認めるようになった。筆者は、かぎられた中国滞在期間をできるかぎり有効に利用したいという動機から企業での聞き取り調査に区切りをつけ、残る時間と資金のすべてを鄭とともにアンケート調査に傾けることにした。それゆえ、アンケート調査を実施する都市と人材市場あるいは民間企業は、広州市の人材交流会以降は計画的に選択されている。

筆者たちは、広州市の人材交流会以降、アンケート調査を実施する都市と人材市場あるいは民間企業の選択にあたって中華人民共和国人事部のURL¹⁶を参考にし、最初に国家級人材市場にアンケート調査の許可を願いでた。国家級人材市場とは、本来、中華人民共和国人事部によって提起された複数の一級行政区をひとまとめにした区域性人材開発・流動構想に基づいて認可・設立され、省都・自治区首府・直轄市の地方政府人事廳／局の一定数が中心になって運営してきた人材市場であり¹⁷、主催する人材交流会の規模も、その他の地方政府人事廳／局が運営している人材市場の人材交流会に比較して総じて大きい。補足すると、機関の名称に「中国」を冠することは、国家級人材市場にしか許されていない。

なお、筆者たちは、天津市でも国家級人材市場である中国北方人才市場にアンケート調査の許可を頂戴していたが、アンケート実施日に先述した民間企業である天津市博恒人力資源諮詢服務会社が中国北方人才市場の人材交流会よりも大規模な人材交流会を主催するという理由から中国北方人才市場の紹介によって天津市博恒人力資源諮詢服務会社が主催する人材交流会でアンケート調査を実施することにした。

また、筆者たちは、国家級人材市場にアンケート調査の実施を許可されなかった場合、省都や直轄市に位置する行政レベルが異なる地方政府人事廳／局の人材市場や民間企業にアンケート調査の許可を願いでた¹⁸。同様に、筆者たちは、国家級人材市場がそもそも存在しない省と直轄市では、省都と直轄市におかれている省人事廳、市人事局、区人事局の人材市場や民間企業にアンケート調査の許可を願いでた。

ところで、筆者たちは、上海市と広州市では、上海搜才網絡信息科技有限公司と中国南方人才市場が主（共）催する人材交流会でアンケート調査をそれぞれ2回ずつ実施した。その理由は、1回かぎりのアンケート調査にかかるバイアスの大きさを確認するためである。もっとも、こうした懸念は、上海市と広州市で実施された第2回のアンケート調査で払拭された。筆者は、求職者の属性の時期的な変動は、卒業／修了（以下、卒業と表記する。）見込者と新卒者が就職活動を行う時期とそうでない時期とで在学／在職構成とそれに連動して年齢構成および志望職務が変動することを除くと、ほとんどなかったと認識している。

また、アンケート調査を2回実施した理由は、上海市の人材交流会に限定すると、さらに2つある。ひとつは、最初にアンケート調査を実施した人材交流会が中高級人材を対象にしており、他都市の人材交流会との比較が難しいと判断したためである。ただし、この点にたいする懸念も、杞憂に終わった。もうひとつは、第1回のアンケート調査は「出身（生）地」の記入箇所に空白がめだち、別稿で論じる予定にしている求職者の地域間移動を分析するうえで不都合が大きいと判断したためである。

筆者たちは、北京市の人材交流会でもアンケート調査を2回実施したが、この理由は、上海市と広州市の人材交流会におけるアンケート調査とはまったく異なった。北京市の人材交流会でアンケート調査を2回実施した理由は、同一市内において主催機関が異なる人材交流会を訪れる求

職者の属性の異同を確認するためであった。筆者たちは、その他の条件をできるかぎり同一にするためにアンケート調査実施日を連続する2008年2月29日と3月1日にした。

その他の都市のアンケート調査実施日は、基本的に求人企業と求職者が最も多くなる週末にした。合肥市の人材交流会は、主催機関である合肥市人才市場と打ち合わせた結果、週末は他の主催機関の人材交流会と求人企業および求職者を分け合うためにいずれの主催機関の人材交流会も規模が小さくなるというので、合肥市人才市場が主催する人材交流会で最も求人企業と求職者を集める水曜日に実施することにした。西安市の人材交流会以降の実施順序は、許可がおり次第、移動の便宜を多少考慮したうえ逐次決定したものであり、ほかに格別の理由はない。筆者たちは、8月および1月～2月上旬はいずれの都市の人材交流会も求人企業と求職者が少ないと伺い、アンケート調査の実施を見送った(2月上旬は、春節が新暦のいつになるかによって毎年若干のずれがある)。筆者たちがアンケート調査を実施した人材交流会は、こうした甲斐もあって、各都市で同日に開催される人材交流会のなかで求職者数と求人企業数が最大規模級のものになったと認識している。求職者数は、500人前後から1万人以上にも及び、300枚から500枚のアンケート用紙を回収するうえできわめて都合のよい環境にあった。

筆者たちは、求職者のすべてから入場料を均一に徴収していた重慶市、蘇州市、西安市、福州市、寧波市、瀋陽市、石家荘市、鄭州市、天津市、合肥市、南寧市の人材交流会では、入場券と引き換えでアンケート用紙への記入を求めた。筆者たちは、人材交流会主催機関にアンケート調査の実施方法を説明するさいに目標とするアンケート用紙回収枚数分の入場券の事前購入を認めてもらったのである¹⁹。また、筆者たちは、人材市場自身が同日に別種のアンケートを実施した長沙市の人材交流会、入場料をまったく徴収していなかったか求職者の一部の入場料を免除していた上海市〔第1回〕、広州市〔第1回〕、南昌市、南京市、済南市、武漢市、上海市〔第2回〕、広州市〔第2回〕、成都市、北京市〔第1回〕の人材交流会、複数回分の入場券を一括して販売していた北京市〔第2回〕の人材交流会では、1元弱になる500ミリリットル入りのミネラルウォーター1本と引き換えでアンケート用紙への記入を求めた。残る常州市の人材交流会は、いっさいの対価を用意せずにアンケート調査を実施した。

アンケート用紙の配布と回収は、常州市から蘇州市までの人材交流会では先述したように鄭が現地の協力を仰ぎつつも原則的に1人で、広州市〔第1回〕から北京市〔第2回〕までの人材交流会では筆者と鄭が原則的に2人で行った。ただし、上海市〔第1回〕の人材交流会は、筆者と鄭の共通の友人である上海水産大学の韓興勇教授と大学院生若干名、広州市〔第1回〕と南寧市の人材交流会は、中国南方人才市場と中国広西人才市場の御厚意によりそれぞれで実習生をしていた大学本科生若干名、北京市〔第1回〕と北京市〔第2回〕の人材交流会は、中国農業大学人文・発展学院の大学院生若干名の協力を受けた。また、その他の人材交流会の多くでも、アンケート調査実施中に急遽協力を申し出てくださった方々がおられた。

アンケート調査の質問項目は、できるかぎり多くの求職者にできるかぎり短時間で回答しても

らう便宜性を考慮して、A4版用紙の一面で収まるようにした。その結果、配偶者と子供の有無や民族などを確認する質問項目は、残念ながら割愛せざるをえなかった。なお、早期に実施した常州市から福州市までの8都市のアンケート調査用紙は、回収後の入力作業を逐次行う過程で質問項目の追加と字句の修正を含めた選択肢の調整をする必要を覚えたためにそれぞれに若干の異同がある。図2は、こうした作業を完全に終えた後に実施された中国寧波人才市場主催の人材交流会以降に配布したアンケート用紙である。

アンケート調査の質問項目は、「性別」、「年齢」、「学歴」にはじまる。学歴は、卒業見込を含む。「出身(生)地」と「現住所」ないし「戸籍所在地」は、できるかぎり詳細に確認できるように三級行政区まで記入してもらうようにした。その理由は、求職活動を通じて生じる高学歴若年層の地域間移動の詳細を確認するためである。また、三級行政区の記入は、行政区画の変更などの理由から求職者の一部が「出身(生)地」となる現行の二級行政区を誤解している事実を筆者が入力作業を行う過程で明らかにした。高学歴若年層の地域間移動の詳細は、先述したように、別稿で論じたい。

「戸籍」は、「出身(生)地」に記載された地名だけでは判断しにくい求職者の生い立ちに関する情報を読み取るために設けた。都市と農村という二重社会の形成に深くかかわってきた戸籍制度は、人口の流動性が高まった近年では実質的意義を失いつつある。実際、転居にともなう農業戸籍から非農業戸籍への変更は、受入先の地方政府ごとに対応が大きく異なっているとはいえ、定職、常住地、一定の納税額などの条件を満たせば従来から可能であった。また、地方政府の一定数は、近年、農業戸籍と非農業戸籍を統合して住民戸籍としたり、都市化した地域を中心に非農業戸籍を非農業戸籍に切り替えたりしている。したがって、在職者や転入者が数多く集まる人材交流会で戸籍を問う意味は、一面では確かに薄れていよう。しかし、筆者たちは、所定の条件を満たして非農業戸籍に変更した若年求職者が依然として同世代の農業戸籍保有者の少数にとどまる事実や戸籍制度それ自体の変更が全体としてみればかならずしも速やかに実施されていない事実を鑑みて、依然として戸籍を問うことの有効性を認め、この質問項目を残すことにした。

「人材交流会情報の入手経路」は、人材交流会情報の入手経路が都市の環境によって異なるか否か、「人材交流会開催都市における高等教育機関の在学経験」は、高等教育機関の所在地が就転職先の決定とどの程度かかわっているか、を確認するために設けた。この点の詳細も、高学歴若年層の地域間移動の詳細をまとめる別稿であわせて論じたい。

「在学/在職状況」は、どのような社会的立場で人材交流会に臨んでいるか、「当該人材市場/当該民間企業が主(共)催する人材交流会の利用回数」は、求職者が人材交流会を良くも悪くもどの程度利用しているか、を問うている。「志望職務」は、求職者がどのような職務を求めて人材交流会を訪れるのかを尋ねるものであり、最後まで筆者たちを悩ました質問項目である。「志望職務」は、当初、きわめて簡単な選択肢しか設けず、選択肢にない職務を志望する求職者には「その他」の箇所に適宜記述してもらうつもりでいたが、「その他」を選択しても職務を記述しな

図2 アンケート用紙

◎◎市(○月○日)

应聘者问卷调查

请在相应内容前打√或填写。

1 性别 男 女

2 年龄 _____周岁

3 学历(含准毕业) 初中毕业 中专毕业 高中毕业 大专毕业 大学本科毕业
硕士毕业 博士毕业 博士后毕业

4 出生地 _____省·自治区·直辖市_____地区·地级市·自治州·盟_____区·县级市·县·旗

5 户口所在地 _____省·自治区·直辖市_____地区·地级市·自治州·盟_____区·县级市·县·旗

6 户口 居民户口 非农业户口 农业户口

7 您是从何处知道此次招聘的? (可做多项选择)
电视 报纸杂志 因特网 亲戚朋友 学校 路过 广告牌 其他_____

8 您是因就读本地大专院校而在此应聘吗? 是 否

9 在职情况 2008年6月毕业正在找工作 2007年6月毕业但无工作经历(不含实习)
在岗 下岗 失业

10 来此应聘是
第一次 第二次 第三次 第四次 第五次 六次以上九次以下
十次以上(第_____次)

11 应聘职务(可做多项选择)
 营销类(销售 采购 市场营销)
 总务类(法务 人事 公关 文书 报关 统计)
 财务类(会计 审计)
 教育类(教育 培训)
 技术类(工程师 技工 装配 质管 平面设计 翻译 咨询)
 一般类(仓库 物流货运 前台 收银 烹调 跑堂 警卫·保安 清洁
驾驶:不问一般车辆或特殊车辆 导游)
 其他_____

12 理想待遇
 (1) 月工资(实收额) 600元 800元 1000元 1200元 1400元 1600元 1800元
2000元 2200元 2400元 2600元 2800元 3000元 3200元
3400元 3600元 3800元 4000元 其他_____元
 (2) 五金(社会保险等) 需要 无需

い回答や職階、業種、あるいは内資企業や外資企業という企業類型と職務とを取り違えて記述する回答が目立った。もっとも、これは、ある程度やむをえない。卒業見込者の一定数は、職務よりも業種や企業名で就職先を求める傾向が強い。また、求人企業の多くは、「管理」・「経理」(経営)に代表されるように一定の職歴を前提にした管理層の求人を行っている。筆者たちは、この問題については職務の選択肢を増やすことで解決を試みることにしたが、求人企業の求人広告を眺めながらどこまで選択肢を細分化するべきかで苦しみ、早期にはアンケート調査ごとに試行錯誤をくり返さざるをえなくなった²⁰。とはいえ、すべての人材交流会のアンケート調査は、求職者の志望が文科系の職務にあるか理科系の職務にあるか、またホワイトカラー系の職務にあるかブルーカラー系の職務にあるかを比較するうえではまったく問題ない。「希望する待遇」は、就職者がどの程度の月給額を必要としているか、また求職者が社会保険等を必要としているか否か、を確認するために設けた。

第 3 章 求職者の都市間比較

それでは、アンケート質問項目の順序に沿って、各都市の人材交流会を訪れた求職者の属性を比較してみよう。

なお、アンケート調査は、完全に同一の条件下にある人材交流会で実施できたわけではない。各都市の人材交流会のアンケート調査は、第一に、実施日、第二に、求人企業と求人内容、第三に、求人(企業)数と求職者数が相当異なる。筆者たちは、第一の条件の相違は調査員を動員することによって解決を図れるが、第二と第三の条件の相違は如何ともしがたい。第三の条件の相違にあげた求職者数は、都市ごとに異なる人材交流会の開催頻度、会場の所在地、天候などの条件でも大きく変動せざるをえず、主(共)催機関の担当者でも事前には読み切れない。したがって、以下の求職者の都市間比較は、こうした3つの条件の相違を十分に斟酌して行うことにした。

1. 男女構成

表7は、求職者の男女構成を示している。求職者の男女構成は、おおむね男性60~70%、女性30~40%であった。

いずれの人材交流会の男女構成も、上海市と広州市でそれぞれ2回ずつ実施したアンケート調査の結果をふまえると、年間平均から少なくとも前後5ポイント程度の幅のなかを変動していると思われる。しかし、筆者たちがアンケート調査を実施した人材交流会が年間平均に比較して男性比率が高く女性比率が低い人材交流会であったのか、あるいは男性比率が低く女性比率が高い人材交流会であったのかは、残念ながら特定できない。とはいえ、人材交流会の多くの男女構成は、第5回人口センサス(2000年)に示される高学歴若年層の男女構成である男性54.4%、女性45.6%から相当乖離していた事実は否めない²¹。とりわけ男性比率が70%を超えた広州市〔第

表7 男女構成 単位 人

	全回答者		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
常州市	237	100.0%	127	53.6%	108	45.6%
重慶市	391	100.0%	237	60.6%	149	38.1%
長沙市	317	100.0%	178	56.2%	131	41.3%
上海市①	485	100.0%	285	58.8%	198	40.8%
蘇州市	494	100.0%	308	62.3%	186	37.7%
広州市①	480	100.0%	360	75.0%	120	25.0%
西安市	497	100.0%	326	65.6%	171	34.4%
福州市	495	100.0%	298	60.2%	197	39.8%
寧波市	468	100.0%	320	68.4%	148	31.6%
南昌市	482	100.0%	355	73.7%	127	26.3%
瀋陽市	503	100.0%	269	53.5%	234	46.5%
石家荘市	495	100.0%	173	34.9%	322	65.1%
鄭州市	491	100.0%	362	73.7%	129	26.3%
天津市	491	100.0%	328	66.8%	163	33.2%
南京市	489	100.0%	261	53.4%	228	46.6%
済南市	513	100.0%	281	54.8%	232	45.2%
武漢市	523	100.0%	323	61.8%	200	38.2%
合肥市	500	100.0%	235	47.0%	265	53.0%
上海市②	518	100.0%	329	63.5%	189	36.5%
南寧市	511	100.0%	244	47.7%	267	52.3%
広州市②	534	100.0%	391	73.2%	143	26.8%
成都市	518	100.0%	291	56.2%	227	43.8%
北京市①	368	100.0%	208	56.5%	160	43.5%
北京市②	529	100.0%	281	53.1%	248	46.9%

注 1. 上海市①は、上海市〔第1回〕、上海市②は、上海市〔第2回〕の人材交流会を意味する。
 2. 広州市①は、広州市〔第1回〕、広州市②は、広州市〔第2回〕の人材交流会を意味する。
 3. 北京市①は、北京市〔第1回〕、北京市②は、北京市〔第2回〕の人材交流会を意味する。
 4. 上記1～3は、以下の表8～22にも共通する。

1回〕、南昌市、鄭州市、広州市〔第2回〕の人材交流会と女性比率が60%を超えた石家荘市の人材交流会の存在は、男性求職者の一定数と女性求職者の一定数のいずれかが就転職にさいして地域間移動をしている事実を窺わせる。

石家荘市の人材交流会は、卒業見込者を対象にしたものであったが、他都市の人材交流会を訪れた石家荘市とその周辺都市出身の求職者の男女構成をみるかぎり、石家荘市とその周辺都市に位置する高等教育機関で学んでいる男子学生の一定数は、まったく関心を示していなかったと思われる。石家荘市の人材交流会は、男子学生の一定数の関心が薄かった分だけ女性求職者の比率を高めたのだろう。もちろん、就職活動を本格的に開始する時期が、大学院への進学準備などの理由によって男女間で異なる可能性もある。しかし、筆者は、同様に卒業見込者を対象にした済南市と武漢市の人材交流会の男女構成に鑑みて、そうした可能性はほとんどないと考える。同様

に、合肥市と南寧市の人材交流会も、求職者の女性比率が第5回人口センサスに示される高学歴若年層の女性比率に比較して高く、筆者は、合肥市とその周辺都市および南寧市とその周辺都市に居住する男性求職者の一定数も就転職機会を求めて他都市に流出していると考えている。

なお、常州市、重慶市、長沙市、上海市〔第1回〕、瀋陽市、石家荘市、南京市、合肥市、上海市〔第2回〕、南寧市、北京市〔第1回〕、北京市〔第2回〕の人材交流会は、年齢構成で論じべき内容を先取りすることになるが、20歳代前半の求職者では女性比率が男性比率を上回る。しかし、これらの延べ12都市の人材交流会も、石家荘市、合肥市、南寧市の人材交流会を例外とすれば、20歳代後半以降では男性比率が女性比率を逆転し、全世代を合計した求職者の女性比率は、男性比率を超えない。求職者の女性比率は、年齢の上昇とともに急下降するのである。この事実は、以下の2つの事柄を含意しているように思える。ひとつは、20歳代後半以降の女性高学歴層の就業機会は、同世代の男性高学歴層の就業機会に比較して不足していることである。もうひとつは、女性が婚姻や出産を転機にして労働市場から退出していることである。補足すると、既婚女性の多くは、再就職活動を行う場合であっても、人材市場や民間企業が主催する人材交流会を利用していないように思える。実際、30歳代以上の人材を求める企業は、きわめて少なく、なかでも女性にたいする求人は、さらに少ない。

2. 年齢構成

表8は、求職者の平均年齢、表9は、求職者の年齢構成を示している。

表8 平均年齢

単位 歳・人

	回答者数			回答者数			回答者数	
常州市	25.1	229	重慶市	26.8	391	長沙市	24.9	316
男性	25.5	124	男性	27.7	237	男性	25.7	177
女性	24.6	104	女性	25.4	149	女性	23.6	131
上海市①	26.7	475	蘇州市	23.8	493	広州市①	24.8	479
男性	27.7	278	男性	24.2	308	男性	25.2	360
女性	25.2	195	女性	23.0	185	女性	23.6	119
西安市	24.5	497	福州市	24.5	494	寧波市	25.6	467
男性	24.7	326	男性	24.9	298	男性	26.4	319
女性	24.3	171	女性	23.8	196	女性	24.0	148
南昌市	25.3	481	瀋陽市	25.6	501	石家荘市	22.6	494
男性	26.0	354	男性	26.7	268	男性	23.1	172
女性	23.6	127	女性	24.3	233	女性	22.3	322
鄭州市	25.8	491	天津市	24.8	491	南京市	24.7	489
男性	26.2	362	男性	25.3	328	男性	25.7	261
女性	24.6	129	女性	24.0	163	女性	23.6	228
済南市	22.4	513	武漢市	22.8	523	合肥市	23.5	499
男性	22.6	281	男性	22.9	323	男性	25.0	235
女性	22.1	232	女性	22.7	200	女性	22.1	264
上海市②	26.4	517	南寧市	23.6	509	広州市②	26.0	534
男性	27.3	328	男性	24.5	243	男性	26.8	391
女性	24.9	189	女性	22.9	266	女性	24.1	143
成都市	24.5	516	北京市①	26.0	367	北京市②	25.0	529
男性	24.9	289	男性	26.6	207	男性	25.5	281
女性	23.9	227	女性	25.1	160	女性	24.5	248

表9 年齢構成

単位 人

	全回答者		15～19歳		20～24歳		25～29歳		30歳～	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
常州市	237	100.0%	0	0.0%	122	51.5%	87	36.7%	20	8.4%
男性	127	100.0%	0	0.0%	59	46.5%	53	41.7%	12	9.4%
構成比	-	-	-	-	48.4%	-	60.9%	-	60.0%	-
女性	108	100.0%	0	0.0%	63	58.3%	33	30.6%	8	7.4%
構成比	-	-	-	-	51.6%	-	37.9%	-	40.0%	-
重慶市	391	100.0%	4	1.0%	154	39.4%	147	37.6%	86	22.0%
男性	237	100.0%	3	1.3%	75	31.6%	92	38.8%	67	28.3%
構成比	-	-	75.0%	-	48.7%	-	62.6%	-	77.9%	-
女性	149	100.0%	1	0.7%	79	53.0%	52	34.9%	17	11.4%
構成比	-	-	25.0%	-	51.3%	-	35.4%	-	19.8%	-
長沙市	317	100.0%	3	0.9%	182	57.4%	96	30.3%	35	11.0%
男性	178	100.0%	1	0.6%	88	49.4%	61	34.3%	27	15.2%
構成比	-	-	33.3%	-	48.4%	-	63.5%	-	77.1%	-
女性	131	100.0%	2	1.5%	92	70.2%	32	24.4%	5	3.8%
構成比	-	-	66.7%	-	50.5%	-	33.3%	-	14.3%	-
上海市①	485	100.0%	2	0.4%	186	38.4%	192	39.6%	95	19.6%
男性	285	100.0%	1	0.4%	86	30.2%	112	39.3%	79	27.7%
構成比	-	-	50.0%	-	46.2%	-	58.3%	-	83.2%	-
女性	198	100.0%	1	0.5%	99	50.0%	79	39.9%	16	8.1%
構成比	-	-	50.0%	-	53.2%	-	41.1%	-	16.8%	-
蘇州市	494	100.0%	15	3.0%	308	62.3%	153	31.0%	17	3.4%
男性	308	100.0%	3	1.0%	178	57.8%	113	36.7%	14	4.5%
構成比	-	-	20.0%	-	57.8%	-	73.9%	-	82.4%	-
女性	186	100.0%	12	6.5%	130	69.9%	40	21.5%	3	1.6%
構成比	-	-	80.0%	-	42.2%	-	26.1%	-	17.6%	-
広州市①	480	100.0%	1	0.2%	304	63.3%	129	26.9%	45	9.4%
男性	360	100.0%	0	0.0%	213	59.2%	109	30.3%	38	10.6%
構成比	-	-	0.0%	-	70.1%	-	84.5%	-	84.4%	-
女性	120	100.0%	1	0.8%	91	75.8%	20	16.7%	7	5.8%
構成比	-	-	100.0%	-	29.9%	-	15.5%	-	15.6%	-
西安市	497	100.0%	1	0.2%	320	64.4%	138	27.8%	38	7.6%
男性	326	100.0%	1	0.3%	197	60.4%	100	30.7%	28	8.6%
構成比	-	-	100.0%	-	61.6%	-	72.5%	-	73.7%	-
女性	171	100.0%	0	0.0%	123	71.9%	38	22.2%	10	5.8%
構成比	-	-	0.0%	-	38.4%	-	27.5%	-	26.3%	-
福州市	495	100.0%	4	0.8%	331	66.9%	123	24.8%	36	7.3%
男性	298	100.0%	3	1.0%	181	60.7%	87	29.2%	27	9.1%
構成比	-	-	75.0%	-	54.7%	-	70.7%	-	75.0%	-
女性	197	100.0%	1	0.5%	150	76.1%	36	18.3%	9	4.6%
構成比	-	-	25.0%	-	45.3%	-	29.3%	-	25.0%	-
寧波市	468	100.0%	6	1.3%	240	51.3%	146	31.2%	75	16.0%
男性	320	100.0%	3	0.9%	143	44.7%	111	34.7%	62	19.4%
構成比	-	-	50.0%	-	59.6%	-	76.0%	-	82.7%	-
女性	148	100.0%	3	2.0%	97	65.5%	35	23.6%	13	8.8%
構成比	-	-	50.0%	-	40.4%	-	24.0%	-	17.3%	-
南昌市	482	100.0%	9	1.9%	289	60.0%	108	22.4%	75	15.6%
男性	355	100.0%	3	0.8%	200	56.3%	89	25.1%	62	17.5%
構成比	-	-	33.3%	-	69.2%	-	82.4%	-	82.7%	-
女性	127	100.0%	6	4.7%	89	70.1%	19	15.0%	13	10.2%
構成比	-	-	66.7%	-	30.8%	-	17.6%	-	17.3%	-
瀋陽市	502	100.0%	9	1.8%	263	52.4%	161	32.1%	68	13.5%
男性	269	100.0%	6	2.2%	113	42.0%	96	35.7%	53	19.7%
構成比	-	-	66.7%	-	43.0%	-	59.6%	-	77.9%	-
女性	234	100.0%	3	1.3%	150	64.1%	65	27.8%	15	6.4%
構成比	-	-	33.3%	-	57.0%	-	40.4%	-	22.1%	-
石家庄市	495	100.0%	2	0.4%	440	88.9%	46	9.3%	6	1.2%
男性	173	100.0%	1	0.6%	142	82.1%	27	15.6%	2	1.2%
構成比	-	-	50.0%	-	32.3%	-	58.7%	-	33.3%	-
女性	322	100.0%	1	0.3%	298	92.5%	19	5.9%	4	1.2%
構成比	-	-	50.0%	-	67.7%	-	41.3%	-	66.7%	-
鄭州市	491	100.0%	15	3.1%	260	53.0%	130	26.5%	86	17.5%
男性	362	100.0%	7	1.9%	177	48.9%	107	29.6%	71	19.6%
構成比	-	-	46.7%	-	68.1%	-	82.3%	-	82.6%	-
女性	129	100.0%	8	6.2%	83	64.3%	23	17.8%	15	11.6%
構成比	-	-	53.3%	-	31.9%	-	17.7%	-	17.4%	-

表9 年齢構成(続き)

	全回答者		15～19歳		20～24歳		25～29歳		30歳～	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
天津市	491	100.0%	9	1.8%	310	63.1%	121	24.6%	51	10.4%
男性	328	100.0%	6	1.8%	200	61.0%	83	25.3%	39	11.9%
構成比	-	-	66.7%	-	64.5%	-	68.6%	-	76.5%	-
女性	163	100.0%	3	1.8%	110	67.5%	38	23.3%	12	7.4%
構成比	-	-	33.3%	-	35.5%	-	31.4%	-	23.5%	-
南京市	489	100.0%	5	1.0%	308	63.0%	123	25.2%	53	10.8%
男性	261	100.0%	0	0.0%	141	54.0%	84	32.2%	36	13.8%
構成比	-	-	0.0%	-	45.8%	-	68.3%	-	67.9%	-
女性	228	100.0%	5	2.2%	167	73.2%	39	17.1%	17	7.5%
構成比	-	-	100.0%	-	54.2%	-	31.7%	-	32.1%	-
济南市	513	100.0%	3	0.6%	466	90.8%	40	7.8%	4	0.8%
男性	281	100.0%	1	0.4%	252	89.7%	24	8.5%	4	1.4%
構成比	-	-	33.3%	-	54.1%	-	60.0%	-	100.0%	-
女性	232	100.0%	2	0.9%	214	92.2%	16	6.9%	0	0.0%
構成比	-	-	66.7%	-	45.9%	-	40.0%	-	0.0%	-
武汉市	523	100.0%	4	0.8%	430	82.2%	80	15.3%	9	1.7%
男性	323	100.0%	2	0.6%	268	83.0%	46	14.2%	7	2.2%
構成比	-	-	50.0%	-	62.3%	-	57.5%	-	77.8%	-
女性	200	100.0%	2	1.0%	162	81.0%	34	17.0%	2	1.0%
構成比	-	-	50.0%	-	37.7%	-	42.5%	-	22.2%	-
合肥市	500	100.0%	13	2.6%	366	73.2%	80	16.0%	40	8.0%
男性	235	100.0%	4	1.7%	147	62.6%	50	21.3%	34	14.5%
構成比	-	-	30.8%	-	40.2%	-	62.5%	-	85.0%	-
女性	265	100.0%	9	3.4%	219	82.6%	30	11.3%	6	2.3%
構成比	-	-	69.2%	-	59.8%	-	37.5%	-	15.0%	-
上海市②	517	100.0%	4	0.8%	248	48.0%	162	31.3%	103	19.9%
男性	328	100.0%	1	0.3%	62	18.9%	118	36.0%	76	23.2%
構成比	-	-	25.0%	-	25.0%	-	72.8%	-	73.8%	-
女性	189	100.0%	3	1.6%	186	98.4%	44	23.3%	27	14.3%
構成比	-	-	75.0%	-	75.0%	-	27.2%	-	26.2%	-
南京市	511	100.0%	8	1.6%	374	73.2%	104	20.4%	23	4.5%
男性	244	100.0%	3	1.2%	149	61.1%	76	31.1%	15	6.1%
構成比	-	-	37.5%	-	39.8%	-	73.1%	-	65.2%	-
女性	267	100.0%	5	1.9%	225	84.3%	28	10.5%	8	3.0%
構成比	-	-	62.5%	-	60.2%	-	26.9%	-	34.8%	-
広州市②	534	100.0%	4	0.7%	248	46.4%	195	36.5%	87	16.3%
男性	391	100.0%	1	0.3%	155	39.6%	157	40.2%	78	19.9%
構成比	-	-	25.0%	-	62.5%	-	80.5%	-	89.7%	-
女性	143	100.0%	3	2.1%	93	65.0%	38	26.6%	9	6.3%
構成比	-	-	75.0%	-	37.5%	-	19.5%	-	10.3%	-
成都市	518	100.0%	2	0.4%	340	65.6%	118	22.8%	56	10.8%
男性	291	100.0%	1	0.3%	175	60.1%	76	26.1%	37	12.7%
構成比	-	-	50.0%	-	51.5%	-	64.4%	-	66.1%	-
女性	227	100.0%	1	0.4%	165	72.7%	42	18.5%	19	8.4%
構成比	-	-	50.0%	-	48.5%	-	35.6%	-	33.9%	-
北京市①	368	100.0%	1	0.3%	192	52.2%	113	30.7%	61	16.6%
男性	208	100.0%	0	0.0%	93	44.7%	70	33.7%	44	21.2%
構成比	-	-	0.0%	-	48.4%	-	61.9%	-	72.1%	-
女性	160	100.0%	1	0.6%	99	61.9%	43	26.9%	17	10.6%
構成比	-	-	100.0%	-	51.6%	-	38.1%	-	27.9%	-
北京市②	529	100.0%	3	0.6%	300	56.7%	180	34.0%	46	8.7%
男性	281	100.0%	2	0.7%	142	50.5%	105	37.4%	32	11.4%
構成比	-	-	66.7%	-	47.3%	-	58.3%	-	69.6%	-
女性	248	100.0%	1	0.4%	158	63.7%	75	30.2%	14	5.6%
構成比	-	-	33.3%	-	52.7%	-	41.7%	-	30.4%	-

済南市の人材交流会を訪れた求職者の平均年齢は、最も低く、22.4歳であった。この原因は、先述したように、卒業見込者を対象にした人材交流会であったためである。石家荘市と武漢市の人材交流会も、卒業見込者を対象にしており、求職者の平均年齢は、それぞれ22.6歳と22.8歳で済南市の人材交流会とほとんど変わらなかった。

蘇州市、合肥市、南京市の人材交流会を訪れた求職者の平均年齢は、一般を対象にした人材交

流会のなかでは最も低く、それぞれ23.8歳、23.5歳、23.6歳であった。蘇州市の人材交流会は、後述するように、大学専科以上の高学歴者が求職者の37.7%にすぎず、求職者の多くが相対的に短期間の教育年限を経て人材交流会を訪れていたためであろう。合肥市と南寧市の招聘会も、やはり後述するように、高学歴者がそれぞれ求職者の80.6%と88.5%を占めたとはいえ、大学専科卒者を除く高学歴者がそれぞれ11.0%と20.0%にすぎず、蘇州市の人材交流会には及ばないにしても、求職者の多くが相対的に短期間の教育年限を経て人材交流会を訪れていたためであろう。

他方、重慶市、上海市〔第1回〕、上海市〔第2回〕、広州市〔第2回〕、北京市〔第1回〕の人材交流会を訪れた求職者の平均年齢は、比較的高く、それぞれ26.8歳、26.7歳、26.4歳、26.0歳、26.0歳であった。上海市〔第1回〕と上海市〔第2回〕の人材交流会は、やはり後述するように、転職の機会を窺う在職者が求職者のそれぞれ48.0%と38.2%を占めていた。広州市〔第2回〕と北京市〔第1回〕の人材交流会は、失業者が求職者のそれぞれ43.8%と41.8%を占めていた。上海市〔第1回〕、上海市〔第2回〕、広州市〔第2回〕、北京市〔第1回〕の人材交流会を訪れた求職者の平均年齢は、いずれにしろ、求職者の40~50%が一定の職歴を有していたために引き上げられていたのである。この点は、いずれの人材交流会も30歳代以上の年齢層が求職者の15%以上を占めたことから窺えよう。

重慶市の人材交流会を訪れた求職者の年齢構成は、上海市〔第1回〕の人材交流会を訪れた求職者の年齢構成と酷似している。在学／在職状況を確認する質問項目は、重慶市の人材交流会で実施したアンケート調査には設けていなかったのも明言できないが、重慶市の人材交流会を訪れた求職者の平均年齢も、上海市〔第1回〕、上海市〔第2回〕、広州市〔第2回〕、北京市〔第1回〕の人材交流会と同様に、一定の職歴を有する求職者が多かったために引き上げられていたと推察される²²。寧波市、南昌市、鄭州市の人材交流会も、30歳代以上の年齢層の比率がやや高く、他都市に比較すると平均年齢が高めであった。

20歳代の若年層は、一般を対象にしていた人材交流会のいずれでも求職者のおよそ80~90%を占めており、求職者の平均年齢を25歳前後におおむね抑えていた。蘇州市、広州市、西安市、福州市、南昌市、天津市、南京市、合肥市、南寧市、成都市の人材交流会は、とりわけ20歳代前半の年齢層が求職者の60%以上にも及んでいた。

3. 学歴構成

表10は、求職者の学歴構成を示している。

高卒者・中等専門学校卒者は、蘇州市の人材交流会では60.3%と多数派であったが²³、他都市の人材交流会ではおおむね少数派に属し、蘇州市の人材交流会に次いで比率が高かった重慶市、寧波市、鄭州市、北京市〔第1回〕の人材交流会でもそれぞれ25.6%、24.4%、24.0%、24.7%と辛うじて中間派を形成するにすぎなかった。高卒者・中等専門学校卒者は、長沙市、

表10 學歷構成

單位 人

	全回答者		中專・高校		大學專科		大學本科		大學院博士前期	
	人數	構成比	人數	構成比	人數	構成比	人數	構成比	人數	構成比
常州市	237	100.0%	32	13.5%	115	48.5%	84	35.4%	1	0.4%
男性	127	100.0%	18	14.2%	54	42.5%	51	40.2%	1	0.8%
構成比	-	-	56.3%	-	47.0%	-	60.7%	-	100.0%	-
女性	108	100.0%	14	13.0%	61	56.5%	33	30.6%	0	0.0%
構成比	-	-	43.8%	-	53.0%	-	39.3%	-	0.0%	-
重慶市	391	100.0%	100	25.6%	185	47.3%	92	23.5%	2	0.5%
男性	237	100.0%	52	21.9%	106	44.7%	67	28.3%	2	0.8%
構成比	-	-	52.0%	-	57.3%	-	72.8%	-	100.0%	-
女性	149	100.0%	48	32.2%	74	49.7%	25	16.8%	0	0.0%
構成比	-	-	48.0%	-	40.0%	-	27.2%	-	0.0%	-
長沙市	317	100.0%	29	9.1%	163	51.4%	107	33.8%	6	1.9%
男性	178	100.0%	17	9.6%	83	46.6%	64	36.0%	5	2.8%
構成比	-	-	58.6%	-	50.9%	-	59.8%	-	83.3%	-
女性	131	100.0%	12	9.2%	76	58.0%	39	29.8%	1	0.8%
構成比	-	-	41.4%	-	46.6%	-	36.4%	-	16.7%	-
上海市①	485	100.0%	37	7.6%	192	39.6%	191	39.4%	42	8.7%
男性	285	100.0%	22	7.7%	108	37.9%	105	36.8%	31	10.9%
構成比	-	-	59.5%	-	56.3%	-	55.0%	-	73.8%	-
女性	198	100.0%	14	7.1%	84	42.4%	85	42.9%	11	5.6%
構成比	-	-	37.8%	-	43.8%	-	44.5%	-	26.2%	-
蘇州市	494	100.0%	298	60.3%	146	29.6%	39	7.9%	1	0.2%
男性	308	100.0%	183	59.4%	89	28.9%	28	9.1%	1	0.3%
構成比	-	-	61.4%	-	61.0%	-	71.8%	-	100.0%	-
女性	186	100.0%	115	61.8%	57	30.6%	11	5.9%	0	0.0%
構成比	-	-	38.6%	-	39.0%	-	28.2%	-	0.0%	-
廣州市①	480	100.0%	38	7.9%	210	43.8%	222	46.3%	7	1.5%
男性	360	100.0%	27	7.5%	150	41.7%	175	48.6%	5	1.4%
構成比	-	-	71.1%	-	71.4%	-	78.8%	-	71.4%	-
女性	120	100.0%	11	9.2%	60	50.0%	47	39.2%	2	1.7%
構成比	-	-	28.9%	-	28.6%	-	21.2%	-	28.6%	-
西安市	497	100.0%	36	7.2%	246	49.5%	205	41.2%	5	1.0%
男性	326	100.0%	24	7.4%	158	48.5%	138	42.3%	3	0.9%
構成比	-	-	66.7%	-	64.2%	-	67.3%	-	60.0%	-
女性	171	100.0%	12	7.0%	88	51.5%	67	39.2%	2	1.2%
構成比	-	-	33.3%	-	35.8%	-	32.7%	-	40.0%	-
福州市	495	100.0%	69	13.9%	211	42.6%	201	40.6%	8	1.6%
男性	298	100.0%	48	16.1%	114	38.3%	128	43.0%	3	1.0%
構成比	-	-	69.6%	-	54.0%	-	63.7%	-	37.5%	-
女性	197	100.0%	21	10.7%	97	49.2%	73	37.1%	5	2.5%
構成比	-	-	30.4%	-	46.0%	-	36.3%	-	62.5%	-
寧波市	468	100.0%	114	24.4%	217	46.4%	113	24.1%	3	0.6%
男性	320	100.0%	87	27.2%	139	43.4%	75	23.4%	2	0.6%
構成比	-	-	76.3%	-	64.1%	-	66.4%	-	66.7%	-
女性	148	100.0%	27	18.2%	78	52.7%	38	25.7%	1	0.7%
構成比	-	-	23.7%	-	35.9%	-	33.6%	-	33.3%	-
南昌市	482	100.0%	87	18.0%	263	54.6%	121	25.1%	2	0.4%
男性	355	100.0%	61	17.2%	193	54.4%	93	26.2%	1	0.3%
構成比	-	-	70.1%	-	73.4%	-	76.9%	-	50.0%	-
女性	127	100.0%	26	20.5%	70	55.1%	28	22.0%	1	0.8%
構成比	-	-	29.9%	-	26.6%	-	23.1%	-	50.0%	-
瀋陽市	503	100.0%	59	11.7%	206	41.0%	222	44.1%	3	0.6%
男性	269	100.0%	46	17.1%	103	38.3%	106	39.4%	2	0.7%
構成比	-	-	78.0%	-	50.0%	-	47.7%	-	66.7%	-
女性	234	100.0%	13	5.6%	103	44.0%	116	49.6%	1	0.4%
構成比	-	-	22.0%	-	50.0%	-	52.3%	-	33.3%	-
石家莊市	495	100.0%	6	1.2%	180	36.4%	291	58.8%	18	3.6%
男性	173	100.0%	3	1.7%	61	35.3%	102	59.0%	7	4.0%
構成比	-	-	50.0%	-	33.9%	-	35.1%	-	38.9%	-
女性	322	100.0%	3	0.9%	119	37.0%	189	58.7%	11	3.4%
構成比	-	-	50.0%	-	66.1%	-	64.9%	-	61.1%	-
鄭州市	491	100.0%	118	24.0%	241	49.1%	110	22.4%	2	0.4%
男性	362	100.0%	92	25.4%	169	46.7%	82	22.7%	2	0.6%
構成比	-	-	78.0%	-	70.1%	-	74.5%	-	100.0%	-
女性	129	100.0%	26	20.2%	72	55.8%	28	21.7%	0	0.0%
構成比	-	-	22.0%	-	29.9%	-	25.5%	-	0.0%	-

表10 学歴構成(続き)

	全回答者		中専・高校		大学専科		大学本科		大学院博士前期	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
天津市	491	100.0%	81	16.5%	199	40.5%	181	36.9%	15	3.1%
男性	328	100.0%	63	19.2%	136	41.5%	110	33.5%	9	2.7%
構成比	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性	163	100.0%	18	11.0%	63	38.7%	71	43.6%	6	3.7%
構成比	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南京市	489	100.0%	34	7.0%	231	47.2%	206	42.1%	14	2.9%
男性	261	100.0%	14	5.4%	117	44.8%	117	44.8%	10	3.8%
構成比	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性	228	100.0%	20	8.8%	114	50.0%	89	39.0%	4	1.8%
構成比	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
济南市	513	100.0%	2	0.4%	164	32.0%	315	61.4%	31	6.0%
男性	281	100.0%	1	0.4%	85	30.2%	179	63.7%	15	5.3%
構成比	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性	232	100.0%	1	0.4%	79	34.1%	136	58.6%	16	6.9%
構成比	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
武汉市	523	100.0%	1	0.2%	82	15.7%	320	61.2%	117	22.4%
男性	323	100.0%	1	0.3%	62	19.2%	198	61.3%	60	18.6%
構成比	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性	200	100.0%	0	0.0%	20	10.0%	122	61.0%	57	28.5%
構成比	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合肥市	500	100.0%	83	16.6%	348	69.6%	54	10.8%	1	0.2%
男性	235	100.0%	52	22.1%	126	53.6%	43	18.3%	1	0.4%
構成比	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性	265	100.0%	31	11.7%	222	83.8%	11	4.2%	0	0.0%
構成比	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上海市②	508	100.0%	31	6.1%	165	32.5%	246	48.4%	66	13.0%
男性	325	100.0%	24	7.4%	95	29.2%	162	49.8%	44	13.5%
構成比	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性	183	100.0%	7	3.8%	70	38.3%	84	45.9%	22	12.0%
構成比	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南寧市	511	100.0%	58	11.4%	350	68.5%	102	20.0%	0	0.0%
男性	244	100.0%	31	12.7%	160	65.6%	53	21.7%	0	0.0%
構成比	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性	267	100.0%	27	10.1%	190	71.2%	49	18.4%	0	0.0%
構成比	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広州市②	528	100.0%	56	10.6%	274	51.9%	186	35.2%	12	2.3%
男性	386	100.0%	32	8.3%	199	51.6%	145	37.6%	10	2.6%
構成比	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性	142	100.0%	24	16.9%	75	52.8%	41	28.9%	2	1.4%
構成比	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
成都市	518	100.0%	26	5.0%	209	40.3%	265	51.2%	13	2.5%
男性	291	100.0%	12	4.1%	110	37.8%	162	55.7%	5	1.7%
構成比	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性	227	100.0%	14	6.2%	99	43.6%	103	45.4%	8	3.5%
構成比	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北京市①	368	100.0%	91	24.7%	168	45.7%	90	24.5%	2	0.5%
男性	208	100.0%	53	25.5%	90	43.3%	50	24.0%	1	0.5%
構成比	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性	160	100.0%	38	23.8%	78	48.8%	40	25.0%	1	0.6%
構成比	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北京市②	529	100.0%	30	5.7%	125	23.6%	315	59.5%	51	9.6%
男性	281	100.0%	21	7.5%	65	23.1%	168	59.8%	21	7.5%
構成比	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性	248	100.0%	9	3.6%	60	24.2%	247	99.6%	30	12.1%
構成比	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注 1. 小学, 中学, 大学院博士後期は, 回答者が少ないために省略した。

2. 学歴は, 卒業/修了見込者を含む。

上海市〔第1回〕, 広州市〔第1回〕, 西安市, 石家荘市, 南京市, 济南市, 武汉市, 上海市〔第2回〕, 成都市, 北京市〔第2回〕の人材交流会に至っては10%以下であった。この事実は, 都市部を中心にした高学歴化の進展を反映している。

大学専科卒者は、常州市、重慶市、長沙市、上海市〔第1回〕、西安市、福州市、寧波市、南昌市、鄭州市、天津市、南京市、合肥市、南寧市、広州市〔第2回〕、北京市〔第1回〕の人材交流会では多数派、蘇州市、広州市〔第1回〕、瀋陽市、石家莊市、済南市、上海市〔第2回〕、成都市の人材交流会では中間派であった。大学専科卒者は、合肥市と南寧市の人材交流会ではそれぞれ69.6%と68.5%で圧倒的比率を占め、長沙市、南昌市、広州市〔第2回〕の人材交流会ではそれぞれ51.4%、54.6%、51.9%で求職者の過半数、西安市、鄭州市、南京市、北京市〔第1回〕の人材交流会ではそれぞれ49.5%、49.1%、47.2%、45.7%で求職者のほぼ半数を占めた²⁴。

大学本科卒者は、広州市〔第1回〕、瀋陽市、石家莊市、済南市、武漢市、上海市〔第2回〕、成都市、北京市〔第2回〕の人材交流会では多数派、常州市、長沙市、上海市〔第1回〕、西安市、福州市、南昌市、天津市、南京市、南寧市、広州市〔第2回〕の人材交流会では中間派、重慶市、蘇州市、寧波市、鄭州市、合肥市の人材交流会では少数派であった。大学本科卒者は、多数派を形成した広州市、瀋陽市、石家莊市、上海市〔第2回〕、成都市、北京市〔第2回〕の人材交流会ではそれぞれ46.3%、44.1%、58.8%、47.5%、51.2%、59.5%、中間派ではあるが多数派に拮抗していた上海市〔第1回〕、天津市、南京市の人材交流会ではそれぞれ39.4%、36.9%、42.1%を占めた。

大学院博士前期修了者は、武漢市の人材交流会を例外とすると、いずれの人材交流会でも少数派であった。大学院博士前期課程修了者は、唯一、武漢市の人材交流会で22.4%と中間派を占めた。武漢市の人材交流会は、表6に垣間みられるように、大学院生を多数受け容れている大学院が数多く市内に立地しているために、こうした結果になったのであろう。

4. 出身地構成

表11と表12は、求職者の出身地構成を示している。求職者の出身地構成は、事前に予想されたように、人材交流会ごとに大きく異なっていた。

とはいえ、各都市の人材交流会は、表11に示したように、それぞれが属する一級行政区の出身ではない求職者を主たる対象とするものとそれぞれが属する一級行政区の出身である求職者を主たる対象とするものとに大別しえ、さらに、後者は、市内出身の求職者を主たる対象とするものと市外出身の求職者を主たる対象とするものとに小別しうるだろう。

蘇州市、広州市〔第1回〕、寧波市、広州市〔第2回〕の人材交流会は、各都市が属する一級行政区の出身ではない求職者がおよそ60%以上を占めた。とりわけ広州市〔第1回〕と広州市〔第2回〕の人材交流会は、非広東省出身の求職者がそれぞれ79.8%と74.9%を占めた。また、上海市〔第1回〕と上海市〔第2回〕の人材交流会は、1958年に同市が隣接する江蘇省10県を編入した経緯を勘案して江蘇省出身者を上海市出身者と同様にみなしても、非上海市・非江蘇省出身の求職者がそれぞれ71.5%と61.0%を占めた。北京市〔第2回〕の人材交流会も、河

表11 出身地構成(1)市内外／省・自治区内外

単位 人

	全回答者		市内出身者		市外出身者		全回答者		省・自治区内出身者		省・自治区外出身者		
		構成比		構成比		構成比		構成比		構成比		構成比	
常州市		237	100.0%	91	38.4%	118	49.8%	237	100.0%	173	73.0%	40	16.9%
	男性	127	100.0%	46	36.2%	66	52.0%	127	100.0%	92	72.4%	22	17.3%
	構成比	-	-	50.5%	-	55.9%	-	-	53.2%	-	55.0%	-	
	女性	108	100.0%	45	41.7%	51	47.2%	108	100.0%	80	74.1%	17	15.7%
構成比	-	-	49.5%	-	43.2%	-	-	46.2%	-	42.5%	-		
重慶市		391	100.0%	292	74.7%	99	25.3%	391	100.0%	356	91.0%	35	9.0%
	男性	237	100.0%	168	70.9%	69	29.1%	237	100.0%	212	89.5%	25	10.5%
	構成比	-	-	57.5%	-	69.7%	-	-	59.6%	-	71.4%	-	
	女性	149	100.0%	119	79.9%	30	20.1%	149	100.0%	139	93.3%	10	6.7%
構成比	-	-	40.8%	-	30.3%	-	-	39.0%	-	28.6%	-		
長沙市		317	100.0%	75	23.7%	238	75.1%	317	100.0%	288	90.9%	29	9.1%
	男性	178	100.0%	39	21.9%	136	76.4%	178	100.0%	159	89.3%	19	10.7%
	構成比	-	-	52.0%	-	57.1%	-	-	55.2%	-	65.5%	-	
	女性	131	100.0%	35	26.7%	95	72.5%	131	100.0%	122	93.1%	9	6.9%
構成比	-	-	46.7%	-	39.9%	-	-	42.4%	-	31.0%	-		
上海市①		485	100.0%	76	15.7%	388	80.0%	485	100.0%	117	24.1%	347	71.5%
	男性	285	100.0%	41	14.4%	230	80.7%	285	100.0%	63	22.1%	208	73.0%
	構成比	-	-	53.9%	-	59.3%	-	-	53.8%	-	59.9%	-	
	女性	198	100.0%	35	17.7%	156	78.8%	198	100.0%	54	27.3%	137	69.2%
構成比	-	-	46.1%	-	40.2%	-	-	46.2%	-	39.5%	-		
蘇州市		494	100.0%	23	4.7%	470	95.1%	494	100.0%	200	40.5%	293	59.3%
	男性	308	100.0%	12	3.9%	295	95.8%	308	100.0%	121	39.3%	186	60.4%
	構成比	-	-	52.2%	-	62.8%	-	-	60.5%	-	63.5%	-	
	女性	186	100.0%	11	5.9%	175	94.1%	186	100.0%	79	42.5%	107	57.5%
構成比	-	-	47.8%	-	37.2%	-	-	39.5%	-	36.5%	-		
広州市①		480	100.0%	23	4.8%	457	95.2%	480	100.0%	97	20.2%	383	79.8%
	男性	360	100.0%	17	4.7%	343	95.3%	360	100.0%	69	19.2%	291	80.8%
	構成比	-	-	73.9%	-	75.1%	-	-	71.1%	-	76.0%	-	
	女性	120	100.0%	6	5.0%	114	95.0%	120	100.0%	28	23.3%	92	76.7%
構成比	-	-	26.1%	-	24.9%	-	-	28.9%	-	24.0%	-		
西安市		497	100.0%	154	31.0%	343	69.0%	497	100.0%	377	75.9%	120	24.1%
	男性	326	100.0%	113	34.7%	213	65.3%	326	100.0%	256	78.5%	70	21.5%
	構成比	-	-	73.4%	-	62.1%	-	-	67.9%	-	58.3%	-	
	女性	171	100.0%	41	24.0%	130	76.0%	171	100.0%	121	70.8%	50	29.2%
構成比	-	-	26.6%	-	37.9%	-	-	32.1%	-	41.7%	-		
福州市		495	100.0%	170	34.3%	325	65.7%	495	100.0%	397	80.2%	98	19.8%
	男性	298	100.0%	99	33.2%	199	66.8%	298	100.0%	237	79.5%	61	20.5%
	構成比	-	-	58.2%	-	61.2%	-	-	59.7%	-	62.2%	-	
	女性	197	100.0%	71	36.0%	126	64.0%	197	100.0%	160	81.2%	37	18.8%
構成比	-	-	41.8%	-	38.8%	-	-	40.3%	-	37.8%	-		
寧波市		468	100.0%	105	22.4%	363	77.6%	468	100.0%	183	39.1%	285	60.9%
	男性	320	100.0%	61	19.1%	259	80.9%	320	100.0%	101	31.6%	219	68.4%
	構成比	-	-	58.1%	-	71.3%	-	-	55.2%	-	76.8%	-	
	女性	148	100.0%	44	29.7%	104	70.3%	148	100.0%	82	55.4%	66	44.6%
構成比	-	-	41.9%	-	28.7%	-	-	44.8%	-	23.2%	-		
南昌市		482	100.0%	178	36.9%	304	63.1%	482	100.0%	393	81.5%	89	18.5%
	男性	355	100.0%	137	38.6%	218	61.4%	355	100.0%	290	81.7%	65	18.3%
	構成比	-	-	77.0%	-	71.7%	-	-	73.8%	-	73.0%	-	
	女性	127	100.0%	41	32.3%	86	67.7%	127	100.0%	103	81.1%	24	18.9%
構成比	-	-	23.0%	-	28.3%	-	-	26.2%	-	27.0%	-		
瀋陽市		503	100.0%	212	42.1%	291	57.9%	503	100.0%	419	83.3%	84	16.7%
	男性	269	100.0%	126	46.8%	143	53.2%	269	100.0%	226	84.0%	43	16.0%
	構成比	-	-	59.4%	-	49.1%	-	-	53.9%	-	51.2%	-	
	女性	234	100.0%	86	36.8%	148	63.2%	234	100.0%	193	82.5%	41	17.5%
構成比	-	-	40.6%	-	50.9%	-	-	46.1%	-	48.8%	-		
石家荘市		495	100.0%	150	30.3%	345	69.7%	495	100.0%	442	89.3%	53	10.7%
	男性	173	100.0%	45	26.0%	128	74.0%	173	100.0%	157	90.8%	16	9.2%
	構成比	-	-	30.0%	-	37.1%	-	34.9%	-	35.5%	-	30.2%	-
	女性	322	100.0%	105	32.6%	217	67.4%	322	100.0%	285	88.5%	37	11.5%
構成比	-	-	70.0%	-	62.9%	-	65.1%	-	64.5%	-	69.8%	-	
鄭州市		491	100.0%	124	25.3%	367	74.7%	491	100.0%	462	94.1%	29	5.9%
	男性	362	100.0%	87	24.0%	275	76.0%	362	100.0%	340	93.9%	22	6.1%
	構成比	-	-	70.2%	-	74.9%	-	73.7%	-	73.6%	-	75.9%	-
	女性	129	100.0%	37	28.7%	92	71.3%	129	100.0%	122	94.6%	7	5.4%
構成比	-	-	29.8%	-	25.1%	-	26.3%	-	26.4%	-	24.1%	-	

表11 出身地構成(1)市内外/省・自治区内外(続き)

	全回答者		市内出身者		市外出身者		全回答者		省・自治区内出身者		省・自治区外出身者	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
天津市	491	100.0%	246	50.1%	245	49.9%	491	100.0%	326	66.4%	165	33.6%
男性	328	100.0%	168	51.2%	160	48.8%	328	100.0%	220	67.1%	108	32.9%
構成比	-	-	-	68.3%	-	65.3%	-	-	-	67.5%	-	65.5%
女性	163	100.0%	78	47.9%	85	52.1%	163	100.0%	106	65.0%	57	35.0%
構成比	-	-	-	31.7%	-	34.7%	-	-	-	32.5%	-	34.5%
南京市	489	100.0%	112	22.9%	377	77.1%	489	100.0%	333	68.1%	156	31.9%
男性	261	100.0%	59	22.6%	202	77.4%	261	100.0%	166	63.6%	95	36.4%
構成比	-	-	-	52.7%	-	53.6%	-	-	-	49.8%	-	60.9%
女性	228	100.0%	53	23.2%	175	76.8%	228	100.0%	167	73.2%	61	26.8%
構成比	-	-	-	47.3%	-	46.4%	-	-	-	50.2%	-	39.1%
济南市	513	100.0%	51	9.9%	462	90.1%	513	100.0%	463	90.3%	50	9.7%
男性	281	100.0%	29	10.3%	252	89.7%	281	100.0%	250	89.0%	31	11.0%
構成比	-	-	-	56.9%	-	54.5%	-	-	-	54.0%	-	62.0%
女性	232	100.0%	22	9.5%	210	90.5%	232	100.0%	213	91.8%	19	8.2%
構成比	-	-	-	43.1%	-	45.5%	-	-	-	46.0%	-	38.0%
武汉市	523	100.0%	83	15.9%	440	84.1%	523	100.0%	316	60.4%	207	39.6%
男性	323	100.0%	52	16.1%	271	83.9%	323	100.0%	192	59.4%	131	40.6%
構成比	-	-	-	62.7%	-	61.6%	-	-	-	60.8%	-	63.3%
女性	200	100.0%	31	15.5%	169	84.5%	200	100.0%	124	62.0%	76	38.0%
構成比	-	-	-	37.3%	-	38.4%	-	-	-	39.2%	-	36.7%
合肥市	500	100.0%	141	28.2%	359	71.8%	500	100.0%	477	95.4%	23	4.6%
男性	235	100.0%	74	31.5%	161	68.5%	235	100.0%	227	96.6%	8	3.4%
構成比	-	-	-	52.5%	-	44.8%	-	-	-	47.6%	-	34.8%
女性	265	100.0%	67	25.3%	198	74.7%	265	100.0%	250	94.3%	15	5.7%
構成比	-	-	-	47.5%	-	55.2%	-	-	-	52.4%	-	65.2%
上海市②	518	100.0%	122	23.6%	396	76.4%	518	100.0%	202	39.0%	316	61.0%
男性	329	100.0%	68	20.7%	261	79.3%	329	100.0%	122	37.1%	207	62.9%
構成比	-	-	-	55.7%	-	65.9%	-	-	-	60.4%	-	65.5%
女性	189	100.0%	54	28.6%	135	71.4%	189	100.0%	80	42.3%	109	57.7%
構成比	-	-	-	44.3%	-	34.1%	-	-	-	39.6%	-	34.5%
南寧市	511	100.0%	158	30.9%	353	69.1%	511	100.0%	482	94.3%	29	5.7%
男性	244	100.0%	77	31.6%	167	68.4%	244	100.0%	231	94.7%	13	5.3%
構成比	-	-	-	48.7%	-	47.3%	-	-	-	47.9%	-	44.8%
女性	267	100.0%	81	30.3%	186	69.7%	267	100.0%	251	94.0%	16	6.0%
構成比	-	-	-	51.3%	-	52.7%	-	-	-	52.1%	-	55.2%
広州市②	534	100.0%	31	5.8%	503	94.2%	534	100.0%	134	25.1%	400	74.9%
男性	391	100.0%	22	5.6%	369	94.4%	391	100.0%	97	24.8%	294	75.2%
構成比	-	-	-	71.0%	-	73.4%	-	-	-	72.4%	-	73.5%
女性	143	100.0%	9	6.3%	134	93.7%	143	100.0%	37	25.9%	106	74.1%
構成比	-	-	-	29.0%	-	26.6%	-	-	-	27.6%	-	26.5%
成都市	518	100.0%	175	33.8%	343	66.2%	518	100.0%	459	88.6%	59	11.4%
男性	291	100.0%	92	31.6%	199	68.4%	291	100.0%	254	87.3%	37	12.7%
構成比	-	-	-	52.6%	-	58.0%	-	-	-	55.3%	-	62.7%
女性	227	100.0%	83	36.6%	144	63.4%	227	100.0%	205	90.3%	22	9.7%
構成比	-	-	-	47.4%	-	42.0%	-	-	-	44.7%	-	37.3%
北京市①	368	100.0%	80	21.7%	288	78.3%	368	100.0%	164	44.6%	204	55.4%
男性	208	100.0%	42	20.2%	166	79.8%	208	100.0%	89	42.8%	119	57.2%
構成比	-	-	-	52.5%	-	57.6%	-	-	-	54.3%	-	58.3%
女性	160	100.0%	38	23.8%	122	76.3%	160	100.0%	75	46.9%	85	53.1%
構成比	-	-	-	47.5%	-	42.4%	-	-	-	45.7%	-	41.7%
北京市②	529	100.0%	91	17.2%	438	82.8%	529	100.0%	207	39.1%	322	60.9%
男性	281	100.0%	46	16.4%	235	83.6%	281	100.0%	101	35.9%	180	64.1%
構成比	-	-	-	50.5%	-	53.7%	-	-	-	48.8%	-	55.9%
女性	248	100.0%	45	18.1%	203	81.9%	248	100.0%	106	42.7%	142	57.3%
構成比	-	-	-	49.5%	-	46.3%	-	-	-	51.2%	-	44.1%

- 注 1. 重慶市の省内出身者は、重慶市出身と四川省出身の回答者、省外出身者は、非重慶市出身と非四川省出身の回答者を示している。
2. 上海市①・②の省内出身者は、上海市出身と江蘇省出身の回答者、省外出身者は、非上海市出身と非江蘇省出身の回答者を示している。
3. 天津市の省内出身者は、天津市出身と河北省出身の回答者、省外出身者は、非天津市出身と非河北省出身の回答者を示している。
4. 北京市①・②の省内出身者は、北京市出身と河北省出身の回答者、省外出身者は、非北京市出身と非河北省出身の回答者を示している。

表12 出身地構成(2)行政区数

単位 行政区

	一級行政区数	二級行政区数	三級行政区数		一級行政区数	二級行政区数	三級行政区数
常州市	16(34)	41(62)	74(127)	重慶市	20	47	107(115)
男性	12(25)	29(47)	45(76)	男性	18	36	88(99)
女性	10(22)	25(28)	41(64)	女性	11	20	58(64)
長沙市	15	38(44)	122(146)	上海市①	27(34)	146(196)	216(385)
男性	12	30(35)	87(108)	男性	24(34)	117(151)	157(249)
女性	9	22(23)	63(71)	女性	25(32)	95(111)	110(173)
蘇州市	22(23)	110	236(257)	広州市①	23	129	314(340)
男性	19(20)	89(91)	181(192)	男性	22	116	266(284)
女性	16	68	116(125)	女性	18	60	101(104)
西安市	22	85	188(196)	福州市	22	66	146(147)
男性	20	67	136(142)	男性	20	51	118(120)
女性	17	48	95(99)	女性	15	36	83(86)
寧波市	23	119	265(269)	南昌市	22	74	161(165)
男性	22	107	215(220)	男性	19	57	130(132)
女性	17	53	91(92)	女性	13	32	66(70)
瀋陽市	15	54	152(153)	石家荘市	19	53	179(184)
男性	10	37	103	男性	11	26	98(99)
女性	10	41	105(106)	女性	17	41	141(147)
鄭州市	13	38	155(157)	天津市	26	104(105)	213(216)
男性	10	34	143	男性	24	80(81)	154(156)
女性	7	20	69(71)	女性	19	53	90(92)
南京市	27	105	207(213)	済南市	19	54	168
男性	20	76	146(148)	男性	14	39	127
女性	22	56	121(127)	女性	14	34	113
武漢市	28	130	280(286)	合肥市	13	35	105
男性	28	102	200(203)	男性	6	23	73(74)
女性	17	67	132(134)	女性	11	30	95(96)
上海市②	28	149	322(327)	南寧市	14	39	122(124)
男性	26	121	228(234)	男性	9	26	87(89)
女性	23	81	136	女性	12	28	95(96)
広州市②	29	145(146)	347(357)	成都市	19	54	173(177)
男性	26	125	280(284)	男性	16	42	133(135)
女性	22	75(76)	119(122)	女性	14	36	109(113)
北京市①	25	115	247(253)	北京市②	28	143(144)	348(361)
男性	22	88	159(161)	男性	24	105(106)	210(217)
女性	21	67	118(121)	女性	25	93	183(187)

注 回答者の一部は、出身地をまったく記入していないか、一級行政区あるいは二級行政区までしか記入していない。括弧内の数字は、こうした回答者の出身地が他の回答者と重ならないと仮定したときに想定しうる最大の行政区数である。

北省出身者を北京市出身者と同様にみなしても、非北京市・非河北省出身の求職者が60.9%を占めた。

常州市、長沙市、西安市、福州市、南昌市、瀋陽市、石家荘市、鄭州市、南京市、済南市、武漢市、合肥市、南寧市、成都市の人材交流会は、各都市が属する一級行政区の出身である求職者が60%以上を占めた。とりわけ鄭州市、合肥市、南寧市の人材交流会は、河南省出身者、安徽省出身者、広西壮族自治区出身者がそれぞれ94.1%、94.3%、94.3%をも占めた。また、重慶市の人材交流会は、同市が1997年3月に四川省東部の二級行政区から直轄市として一級行政区

に昇格した経緯を勘案して四川省出身者を重慶市出身者と同様にみなすと、重慶市・四川省出身者が求職者の91.0%を占めるまでに至った。他方、成都市の人材交流会も、重慶市出身者を四川省出身者と同様にみなすと、四川省・重慶市出身者が求職者の91.7%を占める結果になった。同様に、天津市の人材交流会も、同市が1958年から1966年までは河北省の省都であった経緯を勘案して河北省出身者を天津市出身者と同様にみなすと、天津市・河北省出身者が求職者の66.4%を占めた。

さらに、各都市が属する一級行政区出身の求職者が60%以上を占めた14都市の人材交流会のうち常州市、西安市、福州市、南昌市、瀋陽市、石家荘市、南寧市、成都市の人材交流会は、市内出身の求職者が30%以上を占めた。福州市は、興味深いことに、沿海地区に位置して比較的早くから経済開放がすすめられてきたが、求職者の出身地構成では内陸地区に位置する諸都市と同様の形態を示していた。表4に示した平均月給額も、この結果を裏づけている。この原因は、非福州市出身者を集める都市が福建省の近隣に存在することに求められるだろう。また、瀋陽市は、東北地区を代表する都市であるとはいえ、計画経済時代に建設された国有企業の重荷をいまだに引きずっており、他都市の高学歴若年層を引き寄せる誘因に欠けるようである。

なお、常州市と蘇州市の人材交流会は、両都市が鉄道の路線距離で84キロの近距離にあるにもかかわらず大きく異なる出身地構成を示していた。

また、各都市の人材交流会は、表12に示したように、求職者の出身(生)地の地理的広がりにも隔たりがみられた。

各都市が属する一級行政区外出身の求職者がおよそ60%以上を占めた上海市〔第1回〕、蘇州市、広州市〔第1回〕、寧波市、上海市〔第2回〕、広州市〔第2回〕、北京市〔第2回〕の人材交流会は、300三級行政区以上から求職者を集めており(「出身(生)地」の記述箇所に空白が多かった上海市〔第1回〕の人材交流会も、上海市〔第2回〕の人材交流会の結果から300三級行政区以上から求職者を集めていたと推測される。)、高学歴若年層の就転職に与える影響は、相当広い地理的範囲に及んでいた。

対照的に、各都市が属する一級行政区出身の求職者が60%以上を占めた延べ17都市(重慶市と天津市を含む)のうち常州市、重慶市、長沙市、福州市、合肥市、南寧市の人材交流会は、150三級行政区以下から求職者を集めていたにすぎず、高学歴若年層の就転職に与える影響は、比較的狭い地理的範囲にとどまっていた。

5. 戸籍構成

表13は、求職者の戸籍構成を示している。求職者の戸籍構成は、蘇州市、鄭州市、済南市、上海市〔第2回〕の人材交流会を除くと、おおむね住民・非農業戸籍70~80%、農業戸籍20~30%であった。

大学本科卒業以上の学歴を有する/有することになる求職者の比率が61.4%を占めた上海市

表13 戸籍構成

単位 人

	全回答者						全回答者						
	構成比		住民・非農業		農業		構成比		住民・非農業		農業		
常州市	237	100.0%	165	69.6%	62	26.2%	重慶市	391	100.0%	297	76.0%	85	21.7%
男性	127	100.0%	83	65.4%	40	31.5%	男性	237	100.0%	188	79.3%	45	19.0%
構成比	-	-	50.0%	-	65.0%	-	構成比	-	-	63.0%	-	53.0%	-
女性	108	100.0%	81	75.0%	22	20.4%	女性	149	100.0%	104	69.8%	40	26.8%
構成比	-	-	49.0%	-	36.0%	-	構成比	-	-	35.0%	-	47.0%	-
長沙市	317	100.0%	226	71.3%	79	24.9%	上海市①	485	100.0%	392	80.8%	63	13.0%
男性	178	100.0%	129	72.5%	45	25.3%	男性	285	100.0%	229	80.4%	41	14.4%
構成比	-	-	57.0%	-	57.0%	-	構成比	-	-	58.0%	-	65.0%	-
女性	131	100.0%	91	69.5%	33	25.2%	女性	198	100.0%	161	81.3%	22	11.1%
構成比	-	-	40.0%	-	42.0%	-	構成比	-	-	41.0%	-	35.0%	-
蘇州市	494	100.0%	186	37.7%	300	60.7%	広州市①	480	100.0%	355	74.0%	114	23.8%
男性	308	100.0%	108	35.1%	194	63.0%	男性	360	100.0%	271	75.3%	81	22.5%
構成比	-	-	58.0%	-	65.0%	-	構成比	-	-	76.0%	-	71.0%	-
女性	186	100.0%	78	41.9%	106	57.0%	女性	120	100.0%	84	70.0%	33	27.5%
構成比	-	-	42.0%	-	35.0%	-	構成比	-	-	24.0%	-	29.0%	-
西安市	497	100.0%	400	80.5%	91	18.3%	福州市	495	100.0%	332	67.1%	158	31.9%
男性	326	100.0%	260	79.8%	62	19.0%	男性	298	100.0%	188	63.1%	107	35.9%
構成比	-	-	65.0%	-	68.0%	-	構成比	-	-	57.0%	-	68.0%	-
女性	171	100.0%	140	81.9%	29	17.0%	女性	197	100.0%	144	73.1%	51	25.9%
構成比	-	-	35.0%	-	32.0%	-	構成比	-	-	43.0%	-	32.0%	-
寧波市	468	100.0%	315	67.3%	146	31.2%	南昌市	482	100.0%	371	77.0%	102	21.2%
男性	320	100.0%	205	64.1%	110	34.4%	男性	355	100.0%	269	75.8%	79	22.3%
構成比	-	-	65.0%	-	75.0%	-	構成比	-	-	73.0%	-	78.0%	-
女性	148	100.0%	110	74.3%	36	24.3%	女性	127	100.0%	102	80.3%	23	18.1%
構成比	-	-	35.0%	-	25.0%	-	構成比	-	-	28.0%	-	23.0%	-
瀋陽市	503	100.0%	368	73.2%	118	23.5%	石家荘市	495	100.0%	362	73.1%	125	25.3%
男性	269	100.0%	196	72.9%	63	23.4%	男性	173	100.0%	134	77.5%	36	20.8%
構成比	-	-	53.0%	-	53.0%	-	構成比	-	-	37.0%	-	29.0%	-
女性	234	100.0%	172	73.5%	55	23.5%	女性	322	100.0%	228	70.8%	89	27.6%
構成比	-	-	47.0%	-	47.0%	-	構成比	-	-	63.0%	-	71.0%	-
鄭州市	491	100.0%	279	56.8%	202	41.1%	天津市	491	100.0%	407	82.9%	78	15.9%
男性	362	100.0%	199	55.0%	154	42.5%	男性	328	100.0%	271	82.6%	54	16.5%
構成比	-	-	71.0%	-	76.0%	-	構成比	-	-	67.0%	-	69.0%	-
女性	129	100.0%	80	62.0%	48	37.2%	女性	163	100.0%	136	83.4%	24	14.7%
構成比	-	-	29.0%	-	24.0%	-	構成比	-	-	33.0%	-	31.0%	-
南京市	489	100.0%	399	81.6%	82	16.8%	済南市	513	100.0%	319	62.2%	186	36.3%
男性	261	100.0%	217	83.1%	38	14.6%	男性	281	100.0%	163	58.0%	114	40.6%
構成比	-	-	54.0%	-	46.0%	-	構成比	-	-	51.0%	-	61.0%	-
女性	228	100.0%	182	79.8%	44	19.3%	女性	232	100.0%	156	67.2%	72	31.0%
構成比	-	-	46.0%	-	54.0%	-	構成比	-	-	49.0%	-	39.0%	-
武漢市	523	100.0%	407	77.8%	107	20.5%	合肥市	500	100.0%	371	74.2%	118	23.6%
男性	323	100.0%	246	76.2%	68	21.1%	男性	235	100.0%	177	75.3%	54	23.0%
構成比	-	-	60.0%	-	64.0%	-	構成比	-	-	48.0%	-	46.0%	-
女性	200	100.0%	161	80.5%	39	19.5%	女性	265	100.0%	194	73.2%	64	24.2%
構成比	-	-	40.0%	-	36.0%	-	構成比	-	-	52.0%	-	54.0%	-
上海市②	518	100.0%	447	86.3%	61	11.8%	南寧市	511	100.0%	373	73.0%	136	26.6%
男性	329	100.0%	280	85.1%	44	13.4%	男性	244	100.0%	188	77.0%	56	23.0%
構成比	-	-	62.6%	-	72.1%	-	構成比	-	-	50.4%	-	41.2%	-
女性	189	100.0%	167	88.4%	17	9.0%	女性	267	100.0%	185	69.3%	80	30.0%
構成比	-	-	37.4%	-	27.9%	-	構成比	-	-	49.6%	-	58.8%	-
広州市②	534	100.0%	374	70.0%	150	28.1%	成都市	518	100.0%	385	74.3%	125	24.1%
男性	391	100.0%	270	69.1%	114	29.2%	男性	291	100.0%	219	75.3%	67	23.0%
構成比	-	-	72.2%	-	76.0%	-	構成比	-	-	56.9%	-	53.6%	-
女性	143	100.0%	104	72.7%	36	25.2%	女性	227	100.0%	166	73.1%	58	25.6%
構成比	-	-	27.8%	-	24.0%	-	構成比	-	-	43.1%	-	46.4%	-
北京市①	368	100.0%	242	65.8%	112	30.4%	北京市②	529	100.0%	421	79.6%	93	17.6%
男性	208	100.0%	132	63.5%	66	31.7%	男性	281	100.0%	219	77.9%	55	19.6%
構成比	-	-	54.5%	-	58.9%	-	構成比	-	-	52.0%	-	59.1%	-
女性	160	100.0%	110	68.8%	46	28.8%	女性	248	100.0%	202	81.5%	38	15.3%
構成比	-	-	45.5%	-	41.1%	-	構成比	-	-	48.0%	-	40.9%	-

〔第2回〕の人材交流会は、住民・非農業戸籍を有する求職者の比率が86.3%と高く、大学本科卒業以上の学歴を有する／有することになる求職者の比率が8.1%を占めるにすぎなかった蘇州市の人材交流会は、住民・非農業戸籍保有者の比率が37.7%と低かった。上海市と蘇州市の人材交流会で示された事実は、十分に予想されたとはいえ、都市と農村という出身(生)地の相違が最終学歴の決定に大きな影響を与えていることを物語っている。

もっとも、大学本科卒業以上の学歴を有する／有することになる求職者の比率が11.0%を占めるにすぎなかった合肥市の人材交流会は、住民・非農業戸籍を有する求職者の比率が74.2%にものぼり、他方、大学本科卒業以上の学歴を有する／有することになる求職者の比率が42.2%をも占めた福州市の人材交流会は、住民・非農業戸籍を有する求職者の比率が67.1%にとどまっており、上述した出生地と最終学歴に関する仮説を裏切っている。この最大の原因は、現在すすめられている戸籍制度改革の進捗度の地域差に帰せられるだろう。

6. 人材交流会情報の入手経路【複数回答】

表14は、人材交流会情報の入手経路を示している。人材交流会情報は、主として新聞・雑誌(新聞・雑誌は、以下、新聞と表記する。)、URL、親戚・友人(親戚・友人は、以下、知人と表記する。)を通じて入手されていたが、三媒体の比率は、人材交流会ごとに大きく異なっていた。

URLの利用率は、重慶市、西安市、鄭州市、済南市、合肥市、北京市〔第1回〕の人材交流会を除いた延べ18都市の人材交流会で最大の比率を占めた。もちろん、この原因は、リンクの豊富さや人材交流会情報へのアクセスの容易性などのURLそれ自体の設計の仕方や人材交流会情報の公開度(質と量)にも求められる。しかし、最大の原因は、人材市場と民間企業が主催している人材交流会がインターネットに馴れ親しんでいる若年層を主たる対象にしていることに求められよう。たとえば、広州市〔第2回〕の人材交流会は、広州市〔第1回〕の招聘会よりも平均年齢が1.2歳高かった分だけURL利用率が4.3ポイント下がっている。さらに、URLは、一般に「网吧」と呼ばれるインターネット接続サービスを提供する店舗が各都市に多数展開している現在では求職者の居住地を基本的に限定せず、いかなる求職者でも遠方で開催される人材交流会の求人情報を手軽に入手できる。

新聞の利用率は、重慶市、西安市、鄭州市、済南市、合肥市、北京市〔第1回〕の人材交流会で最大の比率を占めた。もちろん、この原因の一端も、URLと同様に、人材交流会情報の公開度(質と量)にも求められよう。しかし、最大の原因は、北京市〔第1回〕の人材交流会を例外とすると、求職者の出身(生)地構成にあった。5都市の人材交流会を訪れた求職者の大部分は、5都市が属する一級行政区出身であり、求人情報だけに特化した専門紙にしろ、求人情報を掲載した一般紙にしろ、当該人材交流会の情報を掲載した新聞を容易に入手できる環境にあった。加えて、新聞は、人材交流会情報の入手だけに目的を限定すると、5角程度の費用から購入できるためにインターネット接続サービスを利用するよりも安価である。新聞は、基本的に人材

表14 人材交流会情報の入手経路【複数回答】

単位 人

	全回答者		新聞		URL		知人		その他		
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	
常州市	237	100.0%	34	14.3%	131	55.3%	54	22.8%	35	14.8%	
	男性	127	100.0%	18	14.2%	71	55.9%	29	22.8%	17	13.4%
	構成比	-	-	52.9%	-	54.2%	-	53.7%	-	48.6%	-
	女性	108	100.0%	15	13.9%	59	54.6%	25	23.1%	17	15.7%
構成比	-	-	44.1%	-	45.0%	-	46.3%	-	48.6%	-	
重慶市	391	100.0%	200	51.2%	157	40.2%	67	17.1%	74	18.9%	
	男性	237	100.0%	123	51.9%	101	42.6%	35	14.8%	41	17.3%
	構成比	-	-	61.5%	-	64.3%	-	52.2%	-	55.4%	-
	女性	149	100.0%	76	51.0%	54	36.2%	32	21.5%	31	20.8%
構成比	-	-	38.0%	-	34.4%	-	47.8%	-	41.9%	-	
長沙市	317	100.0%	124	39.1%	170	53.6%	47	14.8%	36	11.4%	
	男性	178	100.0%	70	39.3%	111	62.4%	20	11.2%	17	9.6%
	構成比	-	-	56.5%	-	65.3%	-	42.6%	-	47.2%	-
	女性	131	100.0%	48	36.6%	58	44.3%	26	19.8%	17	13.0%
構成比	-	-	38.7%	-	34.1%	-	55.3%	-	47.2%	-	
上海市①	485	100.0%	141	29.1%	266	54.8%	42	8.7%	81	16.7%	
	男性	285	100.0%	83	29.1%	154	54.0%	23	8.1%	58	20.4%
	構成比	-	-	58.9%	-	57.9%	-	54.8%	-	71.6%	-
	女性	198	100.0%	57	28.8%	110	55.6%	19	9.6%	22	11.1%
構成比	-	-	40.4%	-	41.4%	-	45.2%	-	27.2%	-	
蘇州市	494	100.0%	59	11.9%	381	77.1%	140	28.3%	56	11.3%	
	男性	308	100.0%	32	10.4%	240	77.9%	85	27.6%	38	12.3%
	構成比	-	-	54.2%	-	63.0%	-	60.7%	-	67.9%	-
	女性	186	100.0%	27	14.5%	141	75.8%	55	29.6%	18	9.7%
構成比	-	-	45.8%	-	37.0%	-	39.3%	-	32.1%	-	
広州市①	480	100.0%	108	22.5%	211	44.0%	157	32.7%	137	28.5%	
	男性	360	100.0%	86	23.9%	150	41.7%	115	31.9%	113	31.4%
	構成比	-	-	79.6%	-	71.1%	-	73.2%	-	82.5%	-
	女性	120	100.0%	22	18.3%	61	50.8%	42	35.0%	24	20.0%
構成比	-	-	20.4%	-	28.9%	-	26.8%	-	17.5%	-	
西安市	497	100.0%	254	51.1%	146	29.4%	86	17.3%	139	28.0%	
	男性	326	100.0%	165	50.6%	99	30.4%	49	15.0%	95	29.1%
	構成比	-	-	65.0%	-	67.8%	-	57.0%	-	68.3%	-
	女性	171	100.0%	89	52.0%	47	27.5%	37	21.6%	44	25.7%
構成比	-	-	35.0%	-	32.2%	-	43.0%	-	31.7%	-	
福州市	495	100.0%	196	39.6%	282	57.0%	65	13.1%	62	12.5%	
	男性	298	100.0%	123	41.3%	173	58.1%	33	11.1%	42	14.1%
	構成比	-	-	62.8%	-	61.3%	-	50.8%	-	67.7%	-
	女性	197	100.0%	73	37.1%	109	55.3%	32	16.2%	20	10.2%
構成比	-	-	37.2%	-	38.7%	-	49.2%	-	32.3%	-	
寧波市	468	100.0%	177	37.8%	220	47.0%	83	17.7%	100	21.4%	
	男性	320	100.0%	121	37.8%	155	48.0%	53	16.6%	63	19.7%
	構成比	-	-	68.4%	-	70.5%	-	63.9%	-	63.0%	-
	女性	148	100.0%	56	37.8%	65	44.0%	30	20.3%	37	25.0%
構成比	-	-	31.6%	-	29.5%	-	36.1%	-	37.0%	-	
南昌市	482	100.0%	166	34.4%	173	35.9%	74	15.4%	159	33.0%	
	男性	355	100.0%	116	32.7%	128	36.1%	49	13.8%	126	35.5%
	構成比	-	-	69.9%	-	74.0%	-	66.2%	-	79.2%	-
	女性	127	100.0%	50	39.4%	45	35.4%	25	19.7%	33	26.0%
構成比	-	-	30.1%	-	26.0%	-	33.8%	-	20.8%	-	
瀋陽市	503	100.0%	157	31.2%	164	32.6%	101	20.1%	181	36.0%	
	男性	269	100.0%	79	29.4%	87	32.3%	50	18.6%	108	40.1%
	構成比	-	-	50.3%	-	53.0%	-	49.5%	-	59.7%	-
	女性	234	100.0%	78	33.3%	77	32.9%	51	21.8%	73	31.2%
構成比	-	-	49.7%	-	47.0%	-	50.5%	-	40.3%	-	
石家荘市	495	100.0%	134	27.1%	142	28.7%	124	25.1%	245	49.5%	
	男性	173	100.0%	44	25.4%	61	35.3%	41	23.7%	66	38.2%
	構成比	-	-	32.8%	-	43.0%	-	33.1%	-	26.9%	-
	女性	322	100.0%	90	28.0%	81	25.2%	83	25.8%	179	55.6%
構成比	-	-	67.2%	-	57.0%	-	66.9%	-	73.1%	-	
鄭州市	491	100.0%	170	34.6%	79	16.1%	115	23.4%	178	36.3%	
	男性	362	100.0%	128	35.4%	63	17.4%	77	21.3%	126	34.8%
	構成比	-	-	75.3%	-	79.7%	-	67.0%	-	70.8%	-
	女性	129	100.0%	42	32.6%	16	12.4%	38	29.5%	52	40.3%
構成比	-	-	24.7%	-	20.3%	-	33.0%	-	29.2%	-	

表14 人材交流会情報の入手経路【複数回答】(続き)

	全回答者		新聞		URL		知人		その他	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
天津市	491	100.0%	146	29.7%	171	34.8%	127	25.9%	114	23.2%
男性	328	100.0%	92	28.0%	116	35.4%	82	25.0%	79	24.1%
構成比	-	-	63.0%	-	67.8%	-	64.6%	-	69.3%	-
女性	163	100.0%	54	33.1%	55	33.7%	45	27.6%	35	21.5%
構成比	-	-	37.0%	-	32.2%	-	35.4%	-	30.7%	-
南京市	489	100.0%	177	36.2%	191	39.1%	87	17.8%	148	30.3%
男性	261	100.0%	94	36.0%	97	37.2%	33	12.6%	89	34.1%
構成比	-	-	53.1%	-	50.8%	-	37.9%	-	60.1%	-
女性	228	100.0%	83	36.4%	94	41.2%	54	23.7%	59	25.9%
構成比	-	-	46.9%	-	49.2%	-	62.1%	-	39.9%	-
济南市	513	100.0%	212	41.3%	158	30.8%	84	16.4%	173	33.7%
男性	281	100.0%	123	43.8%	96	34.2%	44	15.7%	84	29.9%
構成比	-	-	58.0%	-	60.8%	-	52.4%	-	48.6%	-
女性	232	100.0%	89	38.4%	62	26.7%	40	17.2%	89	38.4%
構成比	-	-	42.0%	-	39.2%	-	47.6%	-	51.4%	-
武汉市	523	100.0%	123	23.5%	271	51.8%	44	8.4%	169	32.3%
男性	323	100.0%	82	25.4%	171	52.9%	15	4.6%	104	32.2%
構成比	-	-	66.7%	-	63.1%	-	34.1%	-	61.5%	-
女性	200	100.0%	41	20.5%	100	50.0%	29	14.5%	65	32.5%
構成比	-	-	33.3%	-	36.9%	-	65.9%	-	38.5%	-
合肥市	500	100.0%	189	37.8%	157	31.4%	124	24.8%	134	26.8%
男性	235	100.0%	89	37.9%	78	33.2%	48	20.4%	60	25.5%
構成比	-	-	47.1%	-	49.7%	-	38.7%	-	44.8%	-
女性	265	100.0%	100	37.7%	79	29.8%	76	28.7%	74	27.9%
構成比	-	-	52.9%	-	50.3%	-	61.3%	-	55.2%	-
上海市②	518	100.0%	151	29.2%	298	57.5%	53	10.2%	66	12.7%
男性	329	100.0%	98	29.8%	192	58.4%	30	9.1%	45	13.7%
構成比	-	-	64.9%	-	64.4%	-	56.6%	-	68.2%	-
女性	189	100.0%	53	28.0%	106	56.1%	23	12.2%	21	11.1%
構成比	-	-	35.1%	-	35.6%	-	43.4%	-	31.8%	-
南京市	511	100.0%	96	18.8%	387	75.7%	70	13.7%	105	20.5%
男性	244	100.0%	43	17.6%	174	71.3%	33	13.5%	51	20.9%
構成比	-	-	44.8%	-	45.0%	-	47.1%	-	48.6%	-
女性	267	100.0%	53	19.9%	213	79.8%	37	13.9%	54	20.2%
構成比	-	-	55.2%	-	55.0%	-	52.9%	-	51.4%	-
広州市②	534	100.0%	127	23.8%	212	39.7%	115	21.5%	196	36.7%
男性	391	100.0%	101	25.8%	160	40.9%	77	19.7%	139	35.5%
構成比	-	-	79.5%	-	75.5%	-	67.0%	-	70.9%	-
女性	143	100.0%	26	18.2%	52	36.4%	38	26.6%	57	39.9%
構成比	-	-	20.5%	-	24.5%	-	33.0%	-	29.1%	-
成都市	518	100.0%	93	18.0%	289	55.8%	84	16.2%	145	28.0%
男性	291	100.0%	42	14.4%	171	58.8%	47	16.2%	78	26.8%
構成比	-	-	45.2%	-	59.2%	-	56.0%	-	53.8%	-
女性	227	100.0%	51	22.5%	118	52.0%	37	16.3%	67	29.5%
構成比	-	-	54.8%	-	40.8%	-	44.0%	-	46.2%	-
北京市①	368	100.0%	185	50.3%	81	22.0%	61	16.6%	91	24.7%
男性	208	100.0%	113	54.3%	37	17.8%	29	13.9%	53	25.5%
構成比	-	-	61.1%	-	45.7%	-	47.5%	-	58.2%	-
女性	160	100.0%	72	45.0%	44	27.5%	32	20.0%	38	23.8%
構成比	-	-	38.9%	-	54.3%	-	52.5%	-	41.8%	-
北京市②	529	100.0%	108	20.4%	337	63.7%	97	18.3%	47	8.9%
男性	281	100.0%	63	22.4%	175	62.3%	48	17.1%	29	10.3%
構成比	-	-	58.3%	-	51.9%	-	49.5%	-	61.7%	-
女性	248	100.0%	45	18.1%	162	65.3%	49	19.8%	18	7.3%
構成比	-	-	41.7%	-	48.1%	-	50.5%	-	38.3%	-

交流会開催都市とその周辺都市で販売されているものには当該人材交流会の求人情報は掲載されないために利用者を地理的に限定するが、求職者の出身地が相対的に狭い範囲にあった5都市の人材交流会では、きわめて利用頻度の高い人材交流会情報の入手経路となっていたのである。また、新聞は、人材交流会前々日から当日にかけて求人企業と求人内容の詳細を一括して掲載する機会が多く、情報を絶えず更新していくURLには情報の公開度で明らかに後れをとるが、日

時や場所などの人材交流会情報の概略だけを入手できればよい求職者にとっては最も身近な人材交流会情報の入手経路になっていたともいえる。

その他は、新聞、URL、知人を除く人材交流会情報の入手経路をまとめたものである。その他に含まれる人材交流会情報の入手経路は、テレビ、学校／母校（就業指導センター）、人材市場前の往来、街頭掲示板（以上は、都市によって若干の相違があるが、アンケート用紙に選択肢を設けてあった。）、アンケート調査当日の人材交流会に先立って開催された他日の人材交流会、ショートメール、ラジオ、（元）勤務先などである。

なお、石家荘の人材交流会は、その他の利用率が49.5%にもものぼった。この原因は、先述したように、卒業見込者を対象にした人材交流会であったためである。求職者の40%弱は、学校／母校（就業指導センター）から人材交流会の情報を入手していた。

7. 人材交流会開催都市における高等教育機関の在学経験

表15は、人材交流会開催都市における高等教育機関の在学経験の有無を示している。人材交流会開催都市における高等教育機関の在学経験の有無は、都市ごとに大きく異なっていた。

高学歴若年層は、特別の事情がなければ、就転職の難易度や賃金の多寡などの就業条件の善し悪し、人間関係の有無、あるいは生活上の便宜の善し悪しなどを考慮して就転職先を決定する²⁵。それゆえ、出身（生）地や高等教育機関所在地は、一般に大都市志向が強いといわれる高学歴層にとっても、就転職先の有力候補地のひとつになる。裏を返せば、人材交流会開催都市を出身（生）地とも高等教育機関所在地ともしない求職者の比率は、当該人材交流会開催都市が高学歴若年層に就業条件や生活の便宜がよいとみなされているか否かを表す指標となりうるのである。

上海市〔第1回〕、広州市〔第1回〕、寧波市、上海市〔第2回〕、広州市〔第2回〕、北京市〔第1回〕、北京市〔第2回〕の人材交流会は、人材交流会開催都市を出身（生）地とも高等教育機関所在地ともしない求職者の比率がそれぞれ54.4（62.3）%、75.8（76.7）%、45.9（47.0）%、59.3（61.0）%、67.6（68.9）%、62.8（63.9）%、62.9（64.1）%と高かった（括弧内の数字は、学歴と出身（生）地のいずれもあるいはいずれかを特定できない求職者のうち高等教育機関所在地を当該市としないあるいはしないと思われる求職者を人材交流会開催都市を出身（生）地とも高等教育機関所在地ともしない求職者とみなした場合の数字である。）。上海市、広州市、寧波市、北京市は、先述した求職者の出身地構成の地理的広がりとも照合しても、高学歴若年層に就業条件や生活上の便宜がよいとみなされていたといえる。

他方、重慶市、西安市、福州市、南昌市、瀋陽市、石家荘市、鄭州市、天津市、済南市、武漢市、合肥市、南寧市の人材交流会は、人材交流会開催都市を出身（生）地とも高等教育機関所在地ともしない求職者の比率がそれぞれ9.2%、23.3（23.9）%、27.9（28.3）%、15.1（16.4）%、24.3（25.2）%、20.0（22.0）%、20.0（21.0）%、18.1（18.5）%、28.8（30.2）

表15 人材交流会開催都市における高等教育機関の在学経験

単位 人

	全回答者				有				無				
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	
常州市													
男性													
構成比													
女性													
構成比													
重慶市	391	100.0%	151	38.6%	236	60.4%	重慶市	391	100.0%	151	38.6%	236	60.4%
男性	237	100.0%	87	36.7%	146	61.6%	男性	237	100.0%	87	36.7%	146	61.6%
構成比	-	-	57.6%	-	61.9%	-	構成比	-	-	57.6%	-	61.9%	-
女性	149	100.0%	64	43.0%	85	57.0%	女性	149	100.0%	64	43.0%	85	57.0%
構成比	-	-	42.4%	-	36.0%	-	構成比	-	-	42.4%	-	36.0%	-
長沙市	317	100.0%	147	46.4%	159	50.2%	上海市①	485	100.0%	120	24.7%	338	69.7%
男性	178	100.0%	80	44.9%	93	52.2%	男性	285	100.0%	69	24.2%	199	69.8%
構成比	-	-	54.4%	-	58.5%	-	構成比	-	-	57.5%	-	58.9%	-
女性	131	100.0%	64	48.9%	61	46.6%	女性	198	100.0%	51	25.8%	137	69.2%
構成比	-	-	43.5%	-	38.4%	-	構成比	-	-	42.5%	-	40.5%	-
蘇州市	494	100.0%	26	5.3%	467	94.5%	広州市①	480	100.0%	62	12.9%	415	86.5%
男性	308	100.0%	20	6.5%	288	93.5%	男性	360	100.0%	44	12.2%	313	86.9%
構成比	-	-	76.9%	-	61.7%	-	構成比	-	-	71.0%	-	75.4%	-
女性	186	100.0%	6	3.2%	179	96.2%	女性	120	100.0%	18	15.0%	102	85.0%
構成比	-	-	23.1%	-	38.3%	-	構成比	-	-	29.0%	-	24.6%	-
西安市	497	100.0%	287	57.7%	206	41.4%	福州市	495	100.0%	206	41.6%	287	58.0%
男性	326	100.0%	186	57.1%	136	41.7%	男性	298	100.0%	126	42.3%	171	57.4%
構成比	-	-	64.8%	-	66.0%	-	構成比	-	-	61.2%	-	59.6%	-
女性	171	100.0%	101	59.1%	70	40.9%	女性	197	100.0%	80	40.6%	116	58.9%
構成比	-	-	35.2%	-	34.0%	-	構成比	-	-	38.8%	-	40.4%	-
寧波市	468	100.0%	64	13.7%	400	85.5%	南昌市	482	100.0%	256	53.1%	216	44.8%
男性	320	100.0%	32	10.0%	286	89.4%	男性	355	100.0%	189	53.2%	157	44.2%
構成比	-	-	50.0%	-	71.5%	-	構成比	-	-	73.8%	-	72.7%	-
女性	148	100.0%	32	21.6%	114	77.0%	女性	127	100.0%	67	52.8%	59	46.5%
構成比	-	-	50.0%	-	28.5%	-	構成比	-	-	26.2%	-	27.3%	-
瀋陽市	503	100.0%	230	45.7%	261	51.9%	石家庄市	495	100.0%	330	66.7%	145	29.3%
男性	269	100.0%	112	41.6%	152	56.5%	男性	173	100.0%	107	61.8%	58	33.5%
構成比	-	-	48.7%	-	58.2%	-	構成比	-	-	32.4%	-	40.0%	-
女性	234	100.0%	118	50.4%	109	46.6%	女性	322	100.0%	223	69.3%	87	27.0%
構成比	-	-	51.3%	-	41.8%	-	構成比	-	-	67.6%	-	60.0%	-
鄭州市	491	100.0%	217	44.2%	270	55.0%	天津市	491	100.0%	245	49.9%	239	48.7%
男性	362	100.0%	158	43.6%	201	55.5%	男性	328	100.0%	157	47.9%	166	50.6%
構成比	-	-	72.8%	-	74.4%	-	構成比	-	-	64.1%	-	69.5%	-
女性	129	100.0%	59	45.7%	69	53.5%	女性	163	100.0%	88	54.0%	73	44.8%
構成比	-	-	27.2%	-	25.6%	-	構成比	-	-	35.9%	-	30.5%	-
南京市	489	100.0%	247	50.5%	230	47.0%	济南市	513	100.0%	336	65.5%	168	32.7%
男性	261	100.0%	129	49.4%	126	48.3%	男性	281	100.0%	184	65.5%	90	32.0%
構成比	-	-	52.2%	-	54.8%	-	構成比	-	-	54.8%	-	53.6%	-
女性	228	100.0%	118	51.8%	104	45.6%	女性	232	100.0%	152	65.5%	78	33.6%
構成比	-	-	47.8%	-	45.2%	-	構成比	-	-	45.2%	-	46.4%	-
武漢市	523	100.0%	403	77.1%	118	22.6%	合肥市	500	100.0%	256	51.2%	240	48.0%
男性	323	100.0%	241	74.6%	81	25.1%	男性	235	100.0%	97	41.3%	136	57.9%
構成比	-	-	59.8%	-	68.6%	-	構成比	-	-	37.9%	-	56.7%	-
女性	200	100.0%	162	81.0%	37	18.5%	女性	265	100.0%	159	60.0%	104	39.2%
構成比	-	-	40.2%	-	31.4%	-	構成比	-	-	62.1%	-	43.3%	-
上海市②	518	100.0%	122	23.6%	383	73.9%	南寧市	511	100.0%	258	50.5%	245	47.9%
男性	329	100.0%	69	21.0%	252	76.6%	男性	244	100.0%	115	47.1%	125	51.2%
構成比	-	-	56.6%	-	65.8%	-	構成比	-	-	44.6%	-	51.0%	-
女性	189	100.0%	53	28.0%	131	69.3%	女性	267	100.0%	143	53.6%	120	44.9%
構成比	-	-	43.4%	-	34.2%	-	構成比	-	-	55.4%	-	49.0%	-
広州市②	534	100.0%	97	18.2%	431	80.7%	成都市	518	100.0%	202	39.0%	308	59.5%
男性	391	100.0%	77	19.7%	309	79.0%	男性	291	100.0%	116	39.9%	171	58.8%
構成比	-	-	79.4%	-	71.7%	-	構成比	-	-	57.4%	-	55.5%	-
女性	143	100.0%	20	14.0%	122	85.3%	女性	227	100.0%	86	37.9%	137	60.4%
構成比	-	-	20.6%	-	28.3%	-	構成比	-	-	42.6%	-	44.5%	-
北京市①	368	100.0%	88	23.9%	275	74.7%	北京市②	529	100.0%	146	27.6%	374	70.7%
男性	208	100.0%	43	20.7%	163	78.4%	男性	281	100.0%	68	24.2%	207	73.7%
構成比	-	-	48.9%	-	59.3%	-	構成比	-	-	46.6%	-	55.3%	-
女性	160	100.0%	45	28.1%	112	70.0%	女性	248	100.0%	78	31.5%	167	67.3%
構成比	-	-	51.1%	-	40.7%	-	構成比	-	-	53.4%	-	44.7%	-

注 常州市は、アンケート用紙に質問項目を設けていなかった。

%, 18.7 (18.9) %, 21.8 (22.4) %, 25.0 (26.2) %と低かった。重慶市, 西安市, 福州市, 南昌市, 瀋陽市, 石家荘市, 鄭州市, 天津市, 済南市, 武漢市, 合肥市, 南寧市は, 先述した求職者の出身地構成の地理的広がりとは照合しても, 高学歴若年層に就業条件や生活上の便宜がよいとみなされていないといえる。天津市は, 北京市に隣接するために天津市を出身(生)地とも高等教育機関所在地ともしない求職者の比率がきわめて低くなっていると思われる。

残る長沙市, 蘇州市, 南京市, 成都市の人材交流会は, 人材交流会開催都市を出身(生)地とも高等教育機関所在地ともしない求職者の比率がそれぞれ 35.3 (39.4) %, 31.0 (32.8) %, 34.6 (36.6) %, 40.3 (41.3) %と前二群の中間にあった。長沙市, 蘇州市, 南京市は, 先述した求職者の出身地構成の地理的広がりとは照合しても, 高学歴若年層に就業条件や生活上の便宜が一定程度よいとみなされていたといえる。なお, 蘇州市の人材交流会は, 先述したように, 高等教育機関就学者がそもそも 37.7% にすぎず, 人材交流会開催都市を出身(生)地とも高等教育機関所在地ともしない求職者の比率を相当程度押し下げている結果になっている。

さて, 上記の分析は, 求職者自身が就転職にさいして行った都市間移動と求職者が幼少時に家族にしたがって行った都市間移動(随伴移動)とを区別できない。この点は, 御寛恕を請いたい。

8. 人材交流会の利用回数

表 16 は, 求職者の当該人材市場と当該民間企業が主催する人材交流会の利用回数を示している。求職者の当該人材市場と当該民間企業が主催する人材交流会の利用回数は, 開催頻度の相違にも影響を受けて, 人材交流会ごとに大きく異なっていた。

最初に, 当該人材市場と当該民間企業が主催する人材交流会をはじめて利用した求職者の比率を比較してみよう。

石家荘市の人材交流会は, 当該人材市場が主催する人材交流会をはじめて利用した求職者の比率が 76.6% と群を抜いて高かった。この原因は, いくども説明してきたように, 石家荘市の人材交流会を訪れた求職者の 70.5% が卒業見込者であったことに求められる。各教育機関を通じて卒業見込者に通知されたこのたびの人材交流会は, 卒業見込者が就職活動を本格的に開始する契機となったようである。

済南市と武漢市の人材交流会も, 石家荘市の人材交流会と同様に, 卒業見込者を対象にしたものであった。石家荘市の人材交流会からほぼ 1 ヶ月後に開催された済南市の人材交流会は, 人材交流会をはじめて利用した求職者の比率が石家荘市の人材交流会に次ぐ 69.4% を示した。しかし, 石家荘市の人材交流会からさらにほぼ 1 ヶ月後に開催された武漢市の人材交流会は, 人材交流会をはじめて利用した求職者の比率が 48.2% であり, 済南市の人材交流会より大幅に低かった。済南市の人材交流会を主催した山東人才市場は, 毎週 1 回(土曜日), 武漢市の人材交流会を主催した中国武漢人才市場は, 毎週 2 回(金・土曜日)人材交流会を主催している。人材交流会

表16 人材交流会の利用回数

単位 人

	全回答者		1回		2～5回		6～9回		10回～	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
常州市	237	100.0%	50	21.1%	102	43.0%	26	11.0%	26	11.0%
男性	127	100.0%	24	18.9%	55	43.3%	13	10.2%	19	15.0%
構成比	-	-	48.0%	-	53.9%	-	50.0%	-	73.1%	-
女性	108	100.0%	26	24.1%	47	43.5%	13	12.0%	7	6.5%
構成比	-	-	52.0%	-	46.1%	-	50.0%	-	26.9%	-
重慶市	391	100.0%	96	24.6%	183	46.8%	54	13.8%	50	12.8%
男性	237	100.0%	46	19.4%	116	48.9%	38	16.0%	34	14.3%
構成比	-	-	47.9%	-	63.4%	-	70.4%	-	68.0%	-
女性	149	100.0%	50	33.6%	67	45.0%	16	10.7%	16	10.7%
構成比	-	-	52.1%	-	36.6%	-	29.6%	-	32.0%	-
長沙市	317	100.0%	94	29.7%	166	52.4%	26	8.2%	16	5.0%
男性	178	100.0%	48	27.0%	99	55.6%	15	8.4%	10	5.6%
構成比	-	-	51.1%	-	59.6%	-	57.7%	-	62.5%	-
女性	131	100.0%	46	35.1%	67	51.1%	11	8.4%	6	4.6%
構成比	-	-	48.9%	-	40.4%	-	42.3%	-	37.5%	-
上海市①	485	100.0%	291	60.0%	143	29.5%	18	3.7%	7	1.4%
男性	285	100.0%	164	57.5%	87	30.5%	16	5.6%	4	1.4%
構成比	-	-	56.4%	-	60.8%	-	88.9%	-	57.1%	-
女性	198	100.0%	127	64.1%	56	28.3%	2	1.0%	3	1.5%
構成比	-	-	43.6%	-	39.2%	-	11.1%	-	42.9%	-
蘇州市	494	100.0%	85	17.2%	229	46.4%	92	18.6%	87	17.6%
男性	308	100.0%	47	15.3%	144	46.8%	55	17.9%	61	19.8%
構成比	-	-	55.3%	-	62.9%	-	59.8%	-	70.1%	-
女性	186	100.0%	38	20.4%	85	45.7%	37	19.9%	26	14.0%
構成比	-	-	44.7%	-	37.1%	-	40.2%	-	29.9%	-
広州市①	480	100.0%	88	18.3%	232	48.3%	78	16.3%	81	16.9%
男性	360	100.0%	55	15.3%	173	48.1%	62	17.2%	70	19.4%
構成比	-	-	62.5%	-	74.6%	-	79.5%	-	86.4%	-
女性	120	100.0%	33	27.5%	59	49.2%	16	13.3%	11	9.2%
構成比	-	-	37.5%	-	25.4%	-	20.5%	-	13.6%	-
西安市	497	100.0%	121	24.3%	260	52.3%	65	13.1%	50	10.1%
男性	326	100.0%	74	22.7%	175	53.7%	42	12.9%	34	10.4%
構成比	-	-	61.2%	-	67.3%	-	64.6%	-	68.0%	-
女性	171	100.0%	47	27.5%	85	49.7%	23	13.5%	16	9.4%
構成比	-	-	38.8%	-	32.7%	-	35.4%	-	32.0%	-
福州市	495	100.0%	171	34.5%	228	46.1%	63	12.7%	32	6.5%
男性	298	100.0%	95	31.9%	139	46.6%	38	12.8%	26	8.7%
構成比	-	-	55.6%	-	61.0%	-	60.3%	-	81.3%	-
女性	197	100.0%	76	38.6%	89	45.2%	25	12.7%	6	3.0%
構成比	-	-	44.4%	-	39.0%	-	39.7%	-	18.8%	-
寧波市	468	100.0%	157	33.5%	229	48.9%	47	10.0%	34	7.3%
男性	320	100.0%	95	29.7%	166	51.9%	34	10.6%	24	7.5%
構成比	-	-	60.5%	-	72.5%	-	72.3%	-	70.6%	-
女性	148	100.0%	62	41.9%	63	42.6%	13	8.8%	10	6.8%
構成比	-	-	39.5%	-	27.5%	-	27.7%	-	29.4%	-
南昌市	482	100.0%	108	22.4%	226	46.9%	69	14.3%	77	16.0%
男性	355	100.0%	72	20.3%	166	46.8%	48	13.5%	68	19.2%
構成比	-	-	66.7%	-	73.5%	-	69.6%	-	88.3%	-
女性	127	100.0%	36	28.3%	60	47.2%	21	16.5%	9	7.1%
構成比	-	-	33.3%	-	26.5%	-	30.4%	-	11.7%	-
瀋陽市	503	100.0%	172	34.2%	193	38.4%	72	14.3%	60	11.9%
男性	269	100.0%	92	34.2%	100	37.2%	36	13.4%	38	14.1%
構成比	-	-	53.5%	-	51.8%	-	50.0%	-	63.3%	-
女性	234	100.0%	80	34.2%	93	39.7%	36	15.4%	22	9.4%
構成比	-	-	46.5%	-	48.2%	-	50.0%	-	36.7%	-
石家庄市	495	100.0%	379	76.6%	102	20.6%	9	1.8%	5	1.0%
男性	173	100.0%	131	75.7%	35	20.2%	4	2.3%	3	1.7%
構成比	-	-	34.6%	-	34.3%	-	44.4%	-	60.0%	-
女性	322	100.0%	248	77.0%	67	20.8%	5	1.6%	2	0.6%
構成比	-	-	65.4%	-	65.7%	-	55.6%	-	40.0%	-
鄭州市	491	100.0%	169	34.4%	254	51.7%	47	9.6%	20	4.1%
男性	362	100.0%	133	36.7%	182	50.3%	35	9.7%	11	3.0%
構成比	-	-	78.7%	-	71.7%	-	74.5%	-	55.0%	-
女性	129	100.0%	36	27.9%	72	55.8%	12	9.3%	9	7.0%
構成比	-	-	21.3%	-	28.3%	-	25.5%	-	45.0%	-

表16 人材交流会の利用回数(続き)

	全回答者		1回		2～5回		6～9回		10回～	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
天津市	491	100.0%	259	52.7%	183	37.3%	26	5.3%	22	4.5%
男性	328	100.0%	163	49.7%	128	39.0%	18	5.5%	18	5.5%
構成比	-	-	62.9%	-	69.9%	-	69.2%	-	81.8%	-
女性	163	100.0%	96	58.9%	55	33.7%	8	4.9%	4	2.5%
構成比	-	-	37.1%	-	30.1%	-	30.8%	-	18.2%	-
南京市	489	100.0%	170	34.8%	206	42.1%	53	10.8%	58	11.9%
男性	261	100.0%	72	27.6%	120	46.0%	31	11.9%	37	14.2%
構成比	-	-	42.4%	-	58.3%	-	58.5%	-	63.8%	-
女性	228	100.0%	98	43.0%	86	37.7%	22	9.6%	21	9.2%
構成比	-	-	57.6%	-	41.7%	-	41.5%	-	36.2%	-
济南市	513	100.0%	356	69.4%	147	28.7%	6	1.2%	4	0.8%
男性	281	100.0%	189	67.3%	84	29.9%	4	1.4%	4	1.4%
構成比	-	-	53.1%	-	57.1%	-	66.7%	-	100.0%	-
女性	232	100.0%	167	72.0%	63	27.2%	2	0.9%	0	0.0%
構成比	-	-	46.9%	-	42.9%	-	33.3%	-	0.0%	-
武汉市	523	100.0%	252	48.2%	232	44.4%	27	5.2%	11	2.1%
男性	323	100.0%	158	48.9%	142	44.0%	14	4.3%	8	2.5%
構成比	-	-	62.7%	-	61.2%	-	51.9%	-	72.7%	-
女性	200	100.0%	94	47.0%	90	45.0%	13	6.5%	3	1.5%
構成比	-	-	37.3%	-	38.8%	-	48.1%	-	27.3%	-
合肥市	500	100.0%	109	21.8%	265	53.0%	63	12.6%	58	11.6%
男性	235	100.0%	48	20.4%	112	47.7%	35	14.9%	37	15.7%
構成比	-	-	44.0%	-	42.3%	-	55.6%	-	63.8%	-
女性	265	100.0%	61	23.0%	153	57.7%	28	10.6%	21	7.9%
構成比	-	-	56.0%	-	57.7%	-	44.4%	-	36.2%	-
上海市②	518	100.0%	296	57.1%	164	31.7%	28	5.4%	23	4.4%
男性	329	100.0%	163	49.5%	121	36.8%	21	6.4%	19	5.8%
構成比	-	-	55.1%	-	73.8%	-	75.0%	-	82.6%	-
女性	189	100.0%	133	70.4%	43	22.8%	7	3.7%	4	2.1%
構成比	-	-	44.9%	-	26.2%	-	25.0%	-	17.4%	-
南寧市	511	100.0%	154	30.1%	234	45.8%	62	12.1%	61	11.9%
男性	244	100.0%	78	32.0%	110	45.1%	27	11.1%	29	11.9%
構成比	-	-	50.6%	-	47.0%	-	43.5%	-	47.5%	-
女性	267	100.0%	76	28.5%	124	46.4%	35	13.1%	32	12.0%
構成比	-	-	49.4%	-	53.0%	-	56.5%	-	52.5%	-
広州市②	534	100.0%	110	20.6%	224	41.9%	83	15.5%	110	20.6%
男性	391	100.0%	69	17.6%	160	40.9%	63	16.1%	93	23.8%
構成比	-	-	62.7%	-	71.4%	-	75.9%	-	84.5%	-
女性	143	100.0%	41	28.7%	64	44.8%	20	14.0%	17	11.9%
構成比	-	-	37.3%	-	28.6%	-	24.1%	-	15.5%	-
成都市	518	100.0%	301	58.1%	185	35.7%	12	2.3%	16	3.1%
男性	291	100.0%	156	53.6%	109	37.5%	9	3.1%	14	4.8%
構成比	-	-	51.8%	-	58.9%	-	75.0%	-	87.5%	-
女性	227	100.0%	145	63.9%	76	33.5%	3	1.3%	2	0.9%
構成比	-	-	48.2%	-	41.1%	-	25.0%	-	12.5%	-
北京市①	368	100.0%	184	50.0%	160	43.5%	12	3.3%	7	1.9%
男性	208	100.0%	102	49.0%	93	44.7%	5	2.4%	5	2.4%
構成比	-	-	55.4%	-	58.1%	-	41.7%	-	71.4%	-
女性	160	100.0%	82	51.3%	67	41.9%	7	4.4%	2	1.3%
構成比	-	-	44.6%	-	41.9%	-	58.3%	-	28.6%	-
北京市②	529	100.0%	322	60.9%	189	35.7%	13	2.5%	2	0.4%
男性	281	100.0%	173	61.6%	99	35.2%	5	1.8%	1	0.4%
構成比	-	-	53.7%	-	52.4%	-	38.5%	-	50.0%	-
女性	248	100.0%	149	60.1%	90	36.3%	8	3.2%	1	0.4%
構成比	-	-	46.3%	-	47.6%	-	61.5%	-	50.0%	-

をはじめて利用した求職者の比率が济南市と武漢市の人材交流会で異なった原因は、両人材市場の人材交流会の開催頻度に起因したと思われる。

上海市〔第1回〕、上海市〔第2回〕、成都市、北京市〔第2回〕の人材交流会は、卒業見込者をとくに対象にしない人材交流会のなかで当該人才市場と当該民間企業が主催する人材交流会をはじめて利用した求職者の比率がそれぞれ60.0%、57.1%、58.1%、60.9%と高かった。上海

市〔第1回〕と上海市〔第2回〕の人材交流会で当該民間企業が主催する人材交流会をはじめて利用した求職者の比率が高かった原因は、やはり先述したように、求職者の40~50%が在職者であったことに求められる。在職者は、新卒者や失業者に比較して職探しに迫られておらず、人材交流会に頻繁に足を運ぶ必要がない。さらに、上海市〔第1回〕と上海市〔第2回〕の人材交流会は、上海市外に勤務先を有すると思われる在職者を数多く集めており、高学歴若年層が数年の職歴を武器にして転職を図る機会として利用されていたようである。上海市の労働市場は、上海市〔第1回〕と上海市〔第2回〕の人材交流会の結果から察するに、求職者の新陳代謝が著しいといえるだろう。成都市と北京市〔第2回〕の人材交流会で当該人材市場と当該民間企業が主催する人材交流会をはじめて利用した求職者の比率が高かった原因は、2つあると思われる。ひとつは、卒業見込者が卒業見込者とくに対象にしない人材交流会のなかで突出していたことである。2月中下旬と3月は、6月の卒業/修了を間近にした卒業見込者が人材交流会に数多く足を運ぶ時期にあたる。もうひとつは、企業や人材市場の関係者にたいする聞き取り調査を通じて知りえたことであるが、年が改まったことを機にして転職活動をはじめた求職者が多かったためであろう。2008年の春節は、新暦の2月7日であった。

対照的に、常州市、重慶市、蘇州市、広州市〔第1回〕、西安市、南昌市、合肥市、広州市〔第2回〕の人材交流会は、当該人材市場と当該民間企業が主催する人材交流会をはじめて利用した求職者の比率がそれぞれ21.1%、24.6%、17.2%、18.3%、24.3%、22.4%、21.8%、20.6%と低かった。

次いで、当該人材市場と当該民間企業が主催する人材交流会を10回以上利用した求職者の比率を比較してみよう。

蘇州市、広州市〔第1回〕、南昌市、広州市〔第2回〕の人材交流会は、当該人材市場が主催する人材交流会を10回以上利用した求職者の比率がそれぞれ17.6%、16.9%、16.0%、20.6%と高く、長沙市、上海市〔第1回〕、福州市、寧波市、石家荘市、鄭州市、天津市、濟南市、武漢市、上海市〔第2回〕、成都市、北京市〔第1回〕、北京市〔第2回〕の人材交流会は、当該人材市場と当該民間企業が主催する人材交流会を10回以上利用した求職者の比率がそれぞれ5.0%、1.4%、6.5%、7.3%、1.0%、4.1%、4.5%、0.8%、2.1%、4.4%、3.1%、1.9%、0.4%と低かった。

蘇州市、南昌市、広州市〔第2回〕の人材交流会で当該人材市場が主催する人材交流会を10回以上利用した求職者の比率が高かった理由は、後述するように、失業者が多かったためであろう。北京市〔第1回〕の人材交流会も、失業者の比率が高かったが、北京市〔第1回〕の人材交流会は、春節明けに就職活動をはじめ失業者が多かったために当該人材市場が主催する人材交流会を10回以上利用した求職者の比率は例外的に低かった。広州市〔第1回〕の人材交流会で当該人材市場が主催する人材交流会を10回以上利用した求職者の比率が高かった理由は、やはり後述するように、新卒者が多かったためであろう。

石家荘市、済南市、武漢市の人材交流会で当該人材市場が主催する人材交流会を10回以上利用した求職者の比率が低かった理由は、卒業見込者を対象にしていたためであり、すでに言及するまでもない。長沙市、福州市、寧波市、鄭州市の人材交流会で当該人材市場が主催する人材交流会を10回以上利用した求職者の比率が低かった理由は、2つ考えられる。ひとつは、求職者の多くが就転職を比較的少ない人材交流会の利用段階で実現していると考えられることである。高学歴若年層の労働需給は、この場合、比較的均衡しているといえよう。もうひとつは、当該人材市場が主催する人材交流会を数回利用して就転職を実現できなければ、当該都市での就転職を断念している（とりわけ女性の場合は、就転職それ自体を断念している）と考えることである。高学歴若年層の労働需給は、この場合、著しく均衡を欠いているといえよう。

蘇州市と広州市の当該人材市場が主催する人材交流会を10回以上利用した求職者の比率が高かった理由は、労働需給が著しく均衡を欠いているという後者の想定をあてはめると、以下のようにも説明できる。蘇州市と広州市の人材交流会を訪れた求職者の多くは、当該人材市場が主催する人材交流会を数回利用して就転職を実現できなくても、自身の属性に鑑みて当該人材市場が主催する人材交流会以上に条件のよい就転職機会をみいだしにくいと判断して当該人材市場が主催する人材交流会に幾度も足を運び（とりわけ男性の場合は、就転職が実現するまで当該人材市場が主催する人材交流会に幾度も足を運び）、当該人材市場が主催する人材交流会を10回以上利用した求職者の比率を高める結果になった。

残る南昌市の人材交流会は、現時点における就転職機会の提供という点では明らかに劣勢にあるが、表5に示した直接投資受入額から垣間みられるように、紅谷灘新区の設立に象徴される今後の経済開発の進展にともなう就転職機会の増加を予想させることもあって、当該人材市場と当該民間企業が主催する人材交流会を数多く利用する求職者が多いと考えられる。ただし、筆者が実施したアンケート調査の全結果は、男性を主体とする江西省出身の高学歴若年層の40%弱が非江西省で就転職活動をしている事実を示している。江西省は、安徽省や河南省と同様に高学歴若年層の流出地でもある。

9. 在学／在職構成

表17は、求職者の在学／在職構成を示している。なお、求職者の在学／在職構成は、表2に示した卒業見込者の就職活動の最盛期にあたる数ヵ月（この数ヵ月は、都市によって異なる。）とその数ヵ月間を除いた期間とでは相当異ならざるをえない²⁶。

卒業見込者を特定する選択肢は、筆者たちの迂闊さゆえに、広州市〔第1回〕、西安市、福州市の人材交流会では存在しなかった²⁷。筆者は、福州市の人材交流会を訪れた求職者の一部から提出された質問に鑑みて、広州市〔第1回〕、西安市、福州市の人材交流会を訪れた卒業見込者にあたる回答者は、おそらく新卒者の選択肢に印をつけたと認識している。それゆえ、筆者は、2008年6月に卒業する予定の卒業見込者を明確に識別できるようになった寧波市の人材交

表 17 在 学 / 在 職 状 况

单 位 人

	全 回 答 者		新 卒 见 込 者		新 卒 者		在 職 者		失 業 者	
		構 成 比		構 成 比		構 成 比		構 成 比		構 成 比
常州市										
男性										
構 成 比										
女性										
構 成 比										
重慶市										
男性										
構 成 比										
女性										
構 成 比										
長沙市	317	100.0%	80	25.2%			113	35.6%	118	37.2%
男性	178	100.0%	40	22.5%			63	35.4%	65	36.5%
構 成 比	-	-	50.0%	-			55.8%	-	55.1%	-
女性	131	100.0%	40	30.5%			44	33.6%	51	38.9%
構 成 比	-	-	50.0%	-			38.9%	-	43.2%	-
上海市①	485	100.0%	98	20.2%			233	48.0%	140	28.9%
男性	285	100.0%	46	16.1%			151	53.0%	79	27.7%
構 成 比	-	-	46.9%	-			64.8%	-	56.4%	-
女性	198	100.0%	52	26.3%			81	40.9%	60	30.3%
構 成 比	-	-	53.1%	-			34.8%	-	42.9%	-
蘇州市	494	100.0%	40	8.1%			132	26.7%	317	64.2%
男性	308	100.0%	28	9.1%			83	26.9%	193	62.7%
構 成 比	-	-	70.0%	-			62.9%	-	60.9%	-
女性	186	100.0%	12	6.5%			49	26.3%	124	66.7%
構 成 比	-	-	30.0%	-			37.1%	-	39.1%	-
廣州市①	480	100.0%			209	43.5%	99	20.6%	163	34.0%
男性	360	100.0%			147	40.8%	83	23.1%	122	33.9%
構 成 比	-	-			70.3%	-	83.8%	-	74.8%	-
女性	120	100.0%			62	51.7%	16	13.3%	41	34.2%
構 成 比	-	-			29.7%	-	16.2%	-	25.2%	-
西安市	497	100.0%			211	42.5%	91	18.3%	187	37.6%
男性	326	100.0%			133	40.8%	57	17.5%	130	39.9%
構 成 比	-	-			63.0%	-	62.6%	-	69.5%	-
女性	171	100.0%			78	45.6%	34	19.9%	57	33.3%
構 成 比	-	-			37.0%	-	37.4%	-	30.5%	-
福州市	495	100.0%			232	46.9%	60	12.1%	192	38.8%
男性	298	100.0%			126	42.3%	40	13.4%	126	42.3%
構 成 比	-	-			54.3%	-	66.7%	-	65.6%	-
女性	197	100.0%			106	53.8%	20	10.2%	66	33.5%
構 成 比	-	-			45.7%	-	33.3%	-	34.4%	-
寧波市	468	100.0%	32	6.8%	77	16.5%	130	27.8%	225	48.1%
男性	320	100.0%	15	4.7%	53	16.6%	95	29.7%	155	48.4%
構 成 比	-	-	46.9%	-	68.8%	-	73.1%	-	68.9%	-
女性	148	100.0%	17	11.5%	24	16.2%	35	23.6%	70	47.3%
構 成 比	-	-	53.1%	-	31.2%	-	26.9%	-	31.1%	-
南昌市	482	100.0%	47	9.8%	121	25.1%	107	22.2%	198	41.1%
男性	355	100.0%	31	8.7%	85	23.9%	93	26.2%	138	38.9%
構 成 比	-	-	66.0%	-	70.2%	-	86.9%	-	69.7%	-
女性	127	100.0%	16	12.6%	36	28.3%	14	11.0%	60	47.2%
構 成 比	-	-	34.0%	-	29.8%	-	13.1%	-	30.3%	-
瀋陽市	503	100.0%	86	17.1%	97	19.3%	112	22.3%	189	37.6%
男性	269	100.0%	26	9.7%	55	20.4%	73	27.1%	102	37.9%
構 成 比	-	-	30.2%	-	56.7%	-	65.2%	-	54.0%	-
女性	234	100.0%	60	25.6%	42	17.9%	39	16.7%	87	37.2%
構 成 比	-	-	69.8%	-	43.3%	-	34.8%	-	46.0%	-
石家莊市	495	100.0%	349	70.5%	83	16.8%	36	7.3%	26	5.3%
男性	173	100.0%	105	60.7%	37	21.4%	15	8.7%	16	9.2%
構 成 比	-	-	30.1%	-	44.6%	-	41.7%	-	61.5%	-
女性	322	100.0%	244	75.8%	46	14.3%	21	6.5%	10	3.1%
構 成 比	-	-	69.9%	-	55.4%	-	58.3%	-	38.5%	-
鄭州市	491	100.0%	69	14.1%	115	23.4%	113	23.0%	186	37.9%
男性	362	100.0%	43	11.9%	82	22.7%	88	24.3%	144	39.8%
構 成 比	-	-	62.3%	-	71.3%	-	77.9%	-	77.4%	-
女性	129	100.0%	26	20.2%	33	25.6%	25	19.4%	42	32.6%
構 成 比	-	-	37.7%	-	28.7%	-	22.1%	-	22.6%	-

表17 在学/在職状況(続き)

	全回答者		新卒見込者		新卒者		在職者		失業者	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
天津市	491	100.0%	144	29.3%	102	20.8%	95	19.3%	145	29.5%
男性	328	100.0%	88	26.8%	68	20.7%	67	20.4%	103	31.4%
構成比	-	-	61.1%	-	66.7%	-	70.5%	-	71.0%	-
女性	163	100.0%	56	34.4%	34	20.9%	28	17.2%	42	25.8%
構成比	-	-	38.9%	-	33.3%	-	29.5%	-	29.0%	-
南京市	489	100.0%	109	22.3%	90	18.4%	157	32.1%	126	25.8%
男性	261	100.0%	38	14.6%	51	19.5%	95	36.4%	74	28.4%
構成比	-	-	34.9%	-	56.7%	-	60.5%	-	58.7%	-
女性	228	100.0%	71	31.1%	39	17.1%	62	27.2%	52	22.8%
構成比	-	-	65.1%	-	43.3%	-	39.5%	-	41.3%	-
济南市	513	100.0%	407	79.3%	62	12.1%	26	5.1%	13	2.5%
男性	281	100.0%	207	73.7%	44	15.7%	20	7.1%	8	2.8%
構成比	-	-	50.9%	-	71.0%	-	76.9%	-	61.5%	-
女性	232	100.0%	200	86.2%	18	7.8%	6	2.6%	5	2.2%
構成比	-	-	49.1%	-	29.0%	-	23.1%	-	38.5%	-
武汉市	523	100.0%	442	84.5%	49	9.4%	16	3.1%	15	2.9%
男性	323	100.0%	263	81.4%	38	11.8%	12	3.7%	9	2.8%
構成比	-	-	59.5%	-	77.6%	-	75.0%	-	60.0%	-
女性	200	100.0%	179	89.5%	11	5.5%	4	2.0%	6	3.0%
構成比	-	-	40.5%	-	22.4%	-	25.0%	-	40.0%	-
合肥市	500	100.0%	155	31.0%	81	16.2%	90	18.0%	161	32.2%
男性	235	100.0%	41	17.4%	37	15.7%	57	24.3%	91	38.7%
構成比	-	-	26.5%	-	45.7%	-	63.3%	-	56.5%	-
女性	265	100.0%	114	43.0%	44	16.6%	33	12.5%	70	26.4%
構成比	-	-	73.5%	-	54.3%	-	36.7%	-	43.5%	-
上海市②	518	100.0%	135	26.1%	61	11.8%	198	38.2%	114	22.0%
男性	329	100.0%	66	20.1%	31	9.4%	141	42.9%	86	26.1%
構成比	-	-	48.9%	-	50.8%	-	71.2%	-	75.4%	-
女性	189	100.0%	69	36.5%	30	15.9%	57	30.2%	28	14.8%
構成比	-	-	51.1%	-	49.2%	-	28.8%	-	24.6%	-
南京市	511	100.0%	124	24.3%	112	21.9%	64	12.5%	203	39.7%
男性	244	100.0%	41	16.8%	56	23.0%	36	14.8%	106	43.4%
構成比	-	-	33.1%	-	50.0%	-	56.3%	-	52.2%	-
女性	267	100.0%	83	31.1%	56	21.0%	28	10.5%	97	36.3%
構成比	-	-	66.9%	-	50.0%	-	43.8%	-	47.8%	-
広州市②	534	100.0%	35	6.6%	58	10.9%	189	35.4%	234	43.8%
男性	391	100.0%	19	4.9%	43	11.0%	148	37.9%	169	43.2%
構成比	-	-	54.3%	-	74.1%	-	78.3%	-	72.2%	-
女性	143	100.0%	16	11.2%	15	10.5%	41	28.7%	65	45.5%
構成比	-	-	45.7%	-	25.9%	-	21.7%	-	27.8%	-
成都市	518	100.0%	189	36.5%	58	11.2%	149	28.8%	111	21.4%
男性	291	100.0%	100	34.4%	32	11.0%	91	31.3%	59	20.3%
構成比	-	-	52.9%	-	55.2%	-	61.1%	-	53.2%	-
女性	227	100.0%	89	39.2%	26	11.5%	58	25.6%	52	22.9%
構成比	-	-	47.1%	-	44.8%	-	38.9%	-	46.8%	-
北京市①	368	100.0%	73	19.8%	38	10.3%	87	23.6%	154	41.8%
男性	208	100.0%	35	16.8%	20	9.6%	56	26.9%	86	41.3%
構成比	-	-	47.9%	-	52.6%	-	64.4%	-	55.8%	-
女性	160	100.0%	38	23.8%	18	11.3%	31	19.4%	68	42.5%
構成比	-	-	52.1%	-	47.4%	-	35.6%	-	44.2%	-
北京市②	529	100.0%	231	43.7%	62	11.7%	125	23.6%	105	19.8%
男性	281	100.0%	106	37.7%	32	11.4%	79	28.1%	59	21.0%
構成比	-	-	45.9%	-	51.6%	-	63.2%	-	56.2%	-
女性	248	100.0%	125	50.4%	30	12.1%	46	18.5%	46	18.5%
構成比	-	-	54.1%	-	48.4%	-	36.8%	-	43.8%	-

注 1. 常州市と長沙市は、アンケート用紙に質問項目を設けていなかった。

2. 広州市①、西安市、福州市の新卒見込者は、新卒者と合算して表示している。

流会以降の結果と表2に示した人材市場と民間企業における聞取りの結果を手掛かりにして、広州市〔第1回〕、西安市、福州市の人材交流会の卒業見込者を以下のように推定したい。

広州市〔第1回〕の人材交流会は、教育機関のほとんどが6月に卒業式を終えていたとはいえ、9月の進級にはなお1ヵ月以上の期間があった。したがって、最終学年に進級する直前の

「卒業見込者」は、まだ就職活動を本格的にはじめておらず、卒業見込者の比率は、0%であったとみなしたい。西安市と福州市の人材交流会は、卒業見込者の一部が就職活動をはじめていたが、求職者の比率は、まだ5~10%程度であったとみなす。

新卒者は、本稿では、在学期間に就職先をえられなかった求職者、すなわち職歴をもたない失業者を意味する。南昌市、瀋陽市、鄭州市、天津市、南京市、南寧市の人材交流会は、新卒者の比率がそれぞれ25.1%、19.3%、23.4%、20.8%、18.4%、21.9%であり、新卒者の比率を特定できる都市のなかで比較的高かった。新卒者の高比率は、当該市が属する一級行政区出身の求職者が60%以上かつ当該市出身の求職者が30%以上であった南昌市、瀋陽市、南寧市の人材交流会では、とりわけ就業機会の不足を意味していたといえよう。

在職者の比率は、中高級人材を対象にしていた上海市〔第1回〕の人材交流会が48.0%と群を抜いて高く²⁸、卒業見込者を対象にしていた石家荘市、済南市、武漢市の人材交流会を除くと、福州市と南寧市の人材交流会がそれぞれ12.1%と12.5%で低かった。上海市〔第1回〕の人材交流会は、求職者のほぼ半数が在職者で占められた計算になる。筆者が人材交流会求職者にたいするアンケート調査に並行して実施していた企業十数社での聞き取り調査によると、とりわけ日系企業の一定数は、自社で(短期間に)育成できない専門職や管理職だけを人材交流会を通じて募集している。上海市〔第1回〕の人材交流会は、そうした求人内容が最も多かったと思われる。他方、福州市と南寧市の人材交流会は、卒業見込者の比率が高まる時期にアンケート調査を実施したことが在職者の比率を低くする原因のひとつになっているに相違ないが、在職者が他都市で転職活動をしている可能性も否定できない。

失業者の比率は、64.2%を示した蘇州市の人材交流会はもちろん、寧波市、南昌市、南寧市、広州市〔第2回〕、北京市〔第1回〕の人材交流会がそれぞれ48.1%、41.1%、39.7%、43.8%、41.8%と高く、卒業見込者を対象にしていた石家荘市、済南市、武漢市の人材交流会を除くと、上海市〔第1回〕、天津市、南京市、上海市〔第2回〕、成都市の人材交流会がそれぞれ28.9%、29.5%、25.8%、22.0%、21.4%と低かった。蘇州市、寧波市、北京市〔第1回〕の人材交流会は、さきに分析した学歴構成および出身地構成と照合すると、失業者を相当広い地理的範囲から集めていたことがわかる。上海市〔第1回〕と上海市〔第2回〕の人材交流会は、先述したように、在職者の比率が高かったことが失業者の比率を低くした原因であろう。とりわけ上海市〔第1回〕の人材交流会の比率は、他都市では区別している新卒者の比率を含めたものである。天津市、南京市、成都市の人材交流会は、卒業見込者の比率が高まる時期にアンケート調査を実施したことが失業者の比率を低くする原因のひとつになっているとみられる。

10. 志望職務【複数回答】

表18は、求職者の志望職務を示している。求職者の志望職務は、各都市の産業構造の相違を反映して大きく異なっていた。

筆者は、求職者の志望職務を営業職、総務職、文系技術職、理系技術職、一般職²⁹に分類することにした。営業職の求職者数は、販売、仕入、マーケティング、総務職の求職者数は、人事、広報、文書、文系技術職の求職者数は、法務、通関、会計、理系技術職の求職者数は、高度(技師水準相当)技術、一般技術、品質管理、一般職の求職者数は、受付、レジ、警備、運転を志望した求職者数の合計である。ただし、営業職の販売と仕入のように同一職内の職務を複数志望した求職者は、1人として計算した。アンケート調査の質問項目にあげた職務は、早期に実施したアンケート調査と中期以降に実施したアンケート調査とでは相当異なるので、アンケート調査の質問項目にできるかぎり一貫してあげた職務のうちからそれぞれの職を代表する職務を3つないし4つ抽出することにした。

営業職を志望する求職者の比率は、常州市、蘇州市、天津市、済南市、武漢市、北京市〔第2回〕の人材交流会を除き、30~50%程度と最大を占めた。

総務職を志望する求職者の比率は、常州市、重慶市、長沙市、上海市〔第1回〕、石家荘市、合肥市、南寧市の人材交流会が30~40%程度で第二位を占め、広州市〔第1回〕、西安市、福州市、南昌市、瀋陽市、天津市、南京市、上海市〔第2回〕、広州市〔第2回〕、成都市、北京市〔第2回〕の人材交流会が20~30%程度で第三位を占めた。

文系技術職を志望する求職者の比率は、全体的に低く、最大を占めた石家荘市の人材交流会でも26.3%と第三位を占めるにすぎなかった。

理系技術職を志望する求職者の比率は、常州市、蘇州市、天津市、済南市、武漢市、北京市〔第2回〕の人材交流会がそれぞれ38.4%、69.2%、44.0%、46.0%、43.8%、33.3%と最大を占め、広州市、西安市、福州市、寧波市、南昌市、瀋陽市、鄭州市、南京市、上海市〔第2回〕、成都市の人材交流会が30~40%程度と第二位を占めた。

一般職を志望する求職者の比率は、全体的に最も低く、比較的高かった蘇州市、合肥市、南寧市の人材交流会でもそれぞれ15.6%、15.6%、15.7%と第三位あるいは第四位を占めたにすぎなかった。ブルーカラー系職務の志望者は、予想されたように、高学歴若年層を主たる対象とする人材市場と民間企業が主催している人材交流会ではほとんどいなかった。

営業職、総務職、文系技術職は、文系出身の求職者が数多く志望し(営業職は、男性求職者、総務職は、女性求職者が数多く志望し、文系技術職は、都市ごとの相違が著しかった。)、理系技術職は、理系出身の求職者が数多く志望しているとみなしうる。常州市、蘇州市、寧波市、鄭州市、天津市、済南市、武漢市、上海市〔第2回〕、北京市〔第2回〕の人材交流会は、営業職、総務職、文系技術職を志望する求職者を合計した比率がそれぞれ65.4%、37.7%、69.7%、71.1%、71.5%、65.9%、56.2%、66.2%、64.8%と低かった。他(都市)の人材交流会は、同比率が80~100%程度にも及び、重慶市、石家荘市、合肥市、南寧市の人材交流会に至っては、それぞれ99.2%、102.0%、101.0%、104.7%と求職者の(ほぼ)全員が文系職を志望していた。西安市の人材交流会は、文系職を志望する求職者の比率が79.3%と比較的高い一方、理系職を志望す

表18 志望職務【複數回答】

單位 人

	全回答者		營業職		總務職		文系技術職		理系技術職		一般職	
		構成比		構成比		構成比		構成比		構成比		構成比
常州市	237	100.0%	50	21.1%	75	31.6%	30	12.7%	91	38.4%	2	0.8%
男性	127	100.0%	37	29.1%	26	20.5%	10	7.9%	65	51.2%	2	1.6%
構成比	-	-	74.0%	-	34.7%	-	33.3%	-	71.4%	-	100.0%	-
女性	108	100.0%	13	12.0%	48	44.4%	20	18.5%	25	23.1%	0	0.0%
構成比	-	-	26.0%	-	64.0%	-	66.7%	-	27.5%	-	0.0%	-
重慶市	391	100.0%	202	51.7%	151	38.6%	35	9.0%	94	24.0%	32	8.2%
男性	237	100.0%	128	54.0%	68	28.7%	10	4.2%	79	33.3%	26	11.0%
構成比	-	-	63.4%	-	45.0%	-	28.6%	-	84.0%	-	81.3%	-
女性	149	100.0%	72	48.3%	81	54.4%	24	16.1%	13	8.7%	6	4.0%
構成比	-	-	35.6%	-	53.6%	-	68.6%	-	13.8%	-	18.8%	-
長沙市	317	100.0%	128	40.4%	117	36.9%	24	7.6%	73	23.0%	25	7.9%
男性	178	100.0%	81	45.5%	42	23.6%	6	3.4%	60	33.7%	12	6.7%
構成比	-	-	63.3%	-	35.9%	-	25.0%	-	82.2%	-	48.0%	-
女性	131	100.0%	44	33.6%	73	55.7%	17	13.0%	11	8.4%	13	9.9%
構成比	-	-	34.4%	-	62.4%	-	70.8%	-	15.1%	-	52.0%	-
上海市①	485	100.0%	204	42.1%	153	31.5%	44	9.1%	102	21.0%	12	2.5%
男性	285	100.0%	134	47.0%	56	19.6%	10	3.5%	81	28.4%	10	3.5%
構成比	-	-	65.7%	-	36.6%	-	22.7%	-	79.4%	-	83.3%	-
女性	198	100.0%	70	35.4%	96	48.5%	33	16.7%	21	10.6%	2	1.0%
構成比	-	-	34.3%	-	62.7%	-	75.0%	-	20.6%	-	16.7%	-
蘇州市	494	100.0%	67	13.6%	96	19.4%	23	4.7%	342	69.2%	77	15.6%
男性	308	100.0%	33	10.7%	20	6.5%	9	2.9%	224	72.7%	43	14.0%
構成比	-	-	49.3%	-	20.8%	-	39.1%	-	65.5%	-	55.8%	-
女性	186	100.0%	34	18.3%	76	40.9%	14	7.5%	118	63.4%	34	18.3%
構成比	-	-	50.7%	-	79.2%	-	60.9%	-	34.5%	-	44.2%	-
廣州市①	480	100.0%	231	48.1%	99	20.6%	55	11.5%	148	30.8%	9	1.9%
男性	360	100.0%	191	53.1%	52	14.4%	30	8.3%	133	36.9%	4	1.1%
構成比	-	-	82.7%	-	52.5%	-	54.5%	-	89.9%	-	44.4%	-
女性	120	100.0%	40	33.3%	47	39.2%	25	20.8%	15	12.5%	5	4.2%
構成比	-	-	17.3%	-	47.5%	-	45.5%	-	10.1%	-	55.6%	-
西安市	497	100.0%	218	43.9%	123	24.7%	53	10.7%	187	37.6%	29	5.8%
男性	326	100.0%	154	47.2%	46	14.1%	30	9.2%	157	48.2%	14	4.3%
構成比	-	-	70.6%	-	37.4%	-	56.6%	-	84.0%	-	48.3%	-
女性	171	100.0%	64	37.4%	77	45.0%	23	13.5%	30	17.5%	15	8.8%
構成比	-	-	29.4%	-	62.6%	-	43.4%	-	16.0%	-	51.7%	-
福州市	495	100.0%	207	41.8%	140	28.3%	106	21.4%	147	29.7%	32	6.5%
男性	298	100.0%	137	46.0%	51	17.1%	41	13.8%	119	39.9%	15	5.0%
構成比	-	-	66.2%	-	36.4%	-	38.7%	-	81.0%	-	46.9%	-
女性	197	100.0%	70	35.5%	89	45.2%	65	33.0%	28	14.2%	17	8.6%
構成比	-	-	33.8%	-	63.6%	-	61.3%	-	19.0%	-	53.1%	-
寧波市	468	100.0%	206	44.0%	77	16.5%	43	9.2%	173	37.0%	30	6.4%
男性	320	100.0%	139	43.4%	34	10.6%	11	3.4%	157	49.1%	22	6.9%
構成比	-	-	67.5%	-	44.2%	-	25.6%	-	90.8%	-	73.3%	-
女性	148	100.0%	67	45.3%	43	29.1%	32	21.6%	16	10.8%	8	5.4%
構成比	-	-	32.5%	-	55.8%	-	74.4%	-	9.2%	-	26.7%	-
南昌市	482	100.0%	246	51.0%	103	21.4%	83	17.2%	135	28.0%	44	9.1%
男性	355	100.0%	197	55.5%	47	13.2%	46	13.0%	125	35.2%	25	7.0%
構成比	-	-	80.1%	-	45.6%	-	55.4%	-	92.6%	-	56.8%	-
女性	127	100.0%	49	38.6%	56	44.1%	37	29.1%	10	7.9%	19	15.0%
構成比	-	-	19.9%	-	54.4%	-	44.6%	-	7.4%	-	43.2%	-
瀋陽市	503	100.0%	178	35.4%	132	26.2%	101	20.1%	162	32.2%	51	10.1%
男性	269	100.0%	104	38.7%	38	14.1%	29	10.8%	130	48.3%	23	8.6%
構成比	-	-	58.4%	-	28.8%	-	28.7%	-	80.2%	-	45.1%	-
女性	234	100.0%	74	31.6%	94	40.2%	72	30.8%	32	13.7%	28	12.0%
構成比	-	-	41.6%	-	71.2%	-	71.3%	-	19.8%	-	54.9%	-
石家莊市	495	100.0%	200	40.4%	175	35.4%	130	26.3%	106	21.4%	49	9.9%
男性	173	100.0%	93	53.8%	41	23.7%	40	23.1%	64	37.0%	11	6.4%
構成比	-	-	46.5%	-	23.4%	-	30.8%	-	60.4%	-	22.4%	-
女性	322	100.0%	107	33.2%	134	41.6%	90	28.0%	42	13.0%	38	11.8%
構成比	-	-	53.5%	-	76.6%	-	69.2%	-	39.6%	-	77.6%	-
鄭州市	491	100.0%	215	43.8%	62	12.6%	72	14.7%	154	31.4%	46	9.4%
男性	362	100.0%	174	48.1%	24	6.6%	33	9.1%	134	37.0%	37	10.2%
構成比	-	-	80.9%	-	38.7%	-	45.8%	-	87.0%	-	80.4%	-
女性	129	100.0%	41	31.8%	38	29.5%	39	30.2%	20	15.5%	9	7.0%
構成比	-	-	19.1%	-	61.3%	-	54.2%	-	13.0%	-	19.6%	-

表18 志望職務【複数回答】(続き)

	全回答者		営業職		総務職		文系技術職		理系技術職		一般職	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
天津市	491	100.0%	176	35.8%	98	20.0%	77	15.7%	216	44.0%	38	7.7%
男性	328	100.0%	123	37.5%	45	13.7%	43	13.1%	175	53.4%	22	6.7%
構成比	-	-	69.9%	-	45.9%	-	55.8%	-	81.0%	-	57.9%	-
女性	163	100.0%	53	32.5%	53	32.5%	34	20.9%	41	25.2%	16	9.8%
構成比	-	-	30.1%	-	54.1%	-	44.2%	-	19.0%	-	42.1%	-
南京市	489	100.0%	207	42.3%	131	26.8%	70	14.3%	136	27.8%	33	6.7%
男性	261	100.0%	128	49.0%	32	12.3%	25	9.6%	106	40.6%	8	3.1%
構成比	-	-	61.8%	-	24.4%	-	35.7%	-	77.9%	-	24.2%	-
女性	228	100.0%	79	34.6%	99	43.4%	45	19.7%	30	13.2%	25	11.0%
構成比	-	-	38.2%	-	75.6%	-	64.3%	-	22.1%	-	75.8%	-
济南市	513	100.0%	148	28.8%	88	17.2%	102	19.9%	236	46.0%	20	3.9%
男性	281	100.0%	97	34.5%	23	8.2%	38	13.5%	154	54.8%	3	1.1%
構成比	-	-	65.5%	-	26.1%	-	37.3%	-	65.3%	-	15.0%	-
女性	232	100.0%	51	22.0%	65	28.0%	64	27.6%	82	35.3%	17	7.3%
構成比	-	-	34.5%	-	73.9%	-	62.7%	-	34.7%	-	85.0%	-
武漢市	523	100.0%	156	29.8%	86	16.4%	52	9.9%	229	43.8%	12	2.3%
男性	323	100.0%	96	29.7%	29	9.0%	24	7.4%	181	56.0%	7	2.2%
構成比	-	-	61.5%	-	33.7%	-	46.2%	-	79.0%	-	58.3%	-
女性	200	100.0%	60	30.0%	57	28.5%	28	14.0%	48	24.0%	5	2.5%
構成比	-	-	38.5%	-	66.3%	-	53.8%	-	21.0%	-	41.7%	-
合肥市	500	100.0%	225	45.0%	161	32.2%	119	23.8%	76	15.2%	78	15.6%
男性	235	100.0%	120	51.1%	32	13.6%	22	9.4%	54	23.0%	34	14.5%
構成比	-	-	53.3%	-	19.9%	-	18.5%	-	71.1%	-	43.6%	-
女性	265	100.0%	105	39.6%	129	48.7%	97	36.6%	22	8.3%	44	16.6%
構成比	-	-	46.7%	-	80.1%	-	81.5%	-	28.9%	-	56.4%	-
上海市②	518	100.0%	194	37.5%	91	17.6%	58	11.2%	169	32.6%	8	1.5%
男性	329	100.0%	130	39.5%	26	7.9%	24	7.3%	136	41.3%	6	1.8%
構成比	-	-	67.0%	-	28.6%	-	41.4%	-	80.5%	-	75.0%	-
女性	189	100.0%	64	33.9%	65	34.4%	34	18.0%	33	17.5%	2	1.1%
構成比	-	-	33.0%	-	71.4%	-	58.6%	-	19.5%	-	25.0%	-
南京市	511	100.0%	266	52.1%	183	35.8%	86	16.8%	115	22.5%	80	15.7%
男性	244	100.0%	143	58.6%	54	22.1%	26	10.7%	86	35.2%	22	9.0%
構成比	-	-	53.8%	-	29.5%	-	30.2%	-	74.8%	-	27.5%	-
女性	267	100.0%	123	46.1%	129	48.3%	60	22.5%	29	10.9%	58	21.7%
構成比	-	-	46.2%	-	70.5%	-	69.8%	-	25.2%	-	72.5%	-
広州市②	534	100.0%	256	47.9%	99	18.5%	82	15.4%	135	25.3%	22	4.1%
男性	391	100.0%	196	50.1%	47	12.0%	48	12.3%	122	31.2%	11	2.8%
構成比	-	-	76.6%	-	47.5%	-	58.5%	-	90.4%	-	50.0%	-
女性	143	100.0%	60	42.0%	52	36.4%	34	23.8%	13	9.1%	11	7.7%
構成比	-	-	23.4%	-	52.5%	-	41.5%	-	9.6%	-	50.0%	-
成都市	518	100.0%	180	34.7%	131	25.3%	80	15.4%	160	30.9%	25	4.8%
男性	291	100.0%	113	38.8%	40	13.7%	33	11.3%	119	40.9%	10	3.4%
構成比	-	-	62.8%	-	30.5%	-	41.3%	-	74.4%	-	40.0%	-
女性	227	100.0%	67	29.5%	91	40.1%	47	20.7%	41	18.1%	15	6.6%
構成比	-	-	37.2%	-	69.5%	-	58.8%	-	25.6%	-	60.0%	-
北京市①	368	100.0%	164	44.6%	86	23.4%	53	14.4%	63	17.1%	41	11.1%
男性	208	100.0%	107	51.4%	20	9.6%	16	7.7%	54	26.0%	23	11.1%
構成比	-	-	65.2%	-	23.3%	-	30.2%	-	85.7%	-	56.1%	-
女性	160	100.0%	57	35.6%	66	41.3%	37	23.1%	9	5.6%	18	11.3%
構成比	-	-	34.8%	-	76.7%	-	69.8%	-	14.3%	-	43.9%	-
北京市②	529	100.0%	168	31.8%	116	21.9%	59	11.2%	176	33.3%	15	2.8%
男性	281	100.0%	98	34.9%	30	10.7%	27	9.6%	123	43.8%	10	3.6%
構成比	-	-	58.3%	-	25.9%	-	45.8%	-	69.9%	-	66.7%	-
女性	248	100.0%	70	28.2%	86	34.7%	32	12.9%	53	21.4%	5	2.0%
構成比	-	-	41.7%	-	74.1%	-	54.2%	-	30.1%	-	33.3%	-

る求職者の比率も常州市、寧波市、鄭州市の人材交流会と同水準の 37.6% を占めた。

11. 希望する待遇 (1) 月給額

表 19, 表 20, 表 21 は, 求職者が希望する月給額の平均を男女構成, 学歴構成, 年齢構成, 志望職務構成ごとに示している。ここで示される月給額の平均は, あくまで求職者の希望にすぎな

い。しかし、現実を無視した月給額を記した求職者は、むしろ例外であり、求職者の大部分は、各都市の労働事情の現実を直視してこれ以上は譲れない最低の月給額あるいはそれを若干上回る程度の月給額を記しているように思える。求職者の希望する月給額の平均は、各都市の物価水準はもちろんであるが³⁰、求職者の男女構成、学歴構成、年齢構成、志望職務構成の相違を反映して異なっていた。

求職者が希望する月給額の平均は、第一に、学歴が高い者ほど高かった。

大学本科卒者が希望する月給額の平均は、大学院博士前後期課程修了者を除くと、いずれの人材交流会でもおおむね最高額を示した。広州市と瀋陽市の人材交流会は、中卒者が希望する月給額の平均が、武漢市と成都市の人材交流会は、高卒者・中等専門学校卒者が希望する月給額の平均が大学本科卒者が希望する月給額の平均を上回る。この原因は、求職者の一定数が職歴を有し、職歴を加味した月給額を希望していたことに求められる。かれらが希望する月給額は、標本数の少ない学歴層である中卒者と高卒者・中等専門学校卒者が希望する月給額を引き上げている。

大学専科卒者が希望する月給額の平均は、常州市、広州市、福州市、瀋陽市、武漢市、合肥市、成都市の人材交流会を除くと、大学本科卒者に次ぐ高額を示したが、高卒者・中等専門学校卒者との格差がほとんどない場合が多く、大学本科卒者ほどの学歴上の優位がみられない。この原因は、2つ指摘できる。ひとつは、就業機会が非高学歴層と競合していることである。もうひとつは、高卒者・中等専門学校卒者の平均年齢が大学専科卒者の平均年齢を上回る場合が多く、比較的長期間の職歴を有すると思われる高卒者・中等専門学校卒者の一定数が職歴を加味した月給額を希望していたことである。

求職者が希望する月給額の平均は、第二に、職歴が豊富な者ほど高かった(筆者たちが実施したアンケート調査は、在職者の在職年数を問う質問項目を設けていなかったため、年齢それ自体を在職年数に代わる指標とみなしたい)。

とはいえ、30歳代の求職者が希望する月給額の平均は、20歳代の求職者が希望する月給額の平均と比較すると、人材交流会の多くで頭打ち気味となり、人材交流会によっては大きく下降する。30歳代以降の経験は、各都市の人材交流会を訪れた求職者の希望する月給額をみるかぎり現実の月給額にあまり反映されていないように思える。年功序列型賃金体系を採用している企業は、きわめて少数にとどまるのであろう。総じて、アンケート調査時点における総合性の人材交流会は、20歳代の求職者にたいしては転職を通じて月給額を上昇させる機会を提供しているが、30歳代以降の求職者にたいしては失業したさいにやむをえず求職活動を行う機会を提供しているにすぎないようである。上海市〔第1回〕の人材交流会に代表される中高級人材を対象とする人材交流会は、30歳代以降の求職者が転職を通じて月給額を上昇させる数少ない機会を提供しているとみられるが、理想どおりに転職を実現できる求職者の比率は、残念ながら定かではない。

表19 希望する待遇(1)月給額①学歴・性別

単位 元

	平均額				平均額				
	男性	女性			男性	女性			
常州市		1,846 〔220〕	2,069 〔117〕	1,536 〔101〕	重慶市		1,760 〔390〕	1,939 〔236〕	1,479 〔149〕
	中学	1,667 〔3〕	1,667 〔3〕	- 〔0〕		中学	1,240 〔10〕	1,325 〔8〕	900 〔2〕
	高校・中専	1,748 〔27〕	2,187 〔15〕	1,200 〔12〕		高校・中専	1,423 〔100〕	1,518 〔52〕	1,319 〔48〕
	大学専科	1,732 〔108〕	1,971 〔49〕	1,534 〔59〕		大学専科	1,785 〔185〕	1,994 〔106〕	1,491 〔74〕
	大学本科	1,986 〔81〕	2,076 〔49〕	1,673 〔30〕		大学本科	2,089 〔91〕	2,198 〔66〕	1,800 〔25〕
	大学院博士 前後期課程	6,000 〔1〕	6,000 〔1〕	- 〔0〕		大学院博士 前後期課程	4,500 〔2〕	4,500 〔2〕	- 〔0〕
長沙市		2,029 〔313〕	2,279 〔178〕	1,659 〔127〕	上海市①		3,095 〔477〕	3,405 〔278〕	2,666 〔197〕
	中学	1,250 〔4〕	1,250 〔4〕	- 〔0〕		中学	1,400 〔7〕	1,400 〔7〕	- 〔0〕
	高校・中専	1,893 〔28〕	2,141 〔17〕	1,509 〔11〕		高校・中専	2,178 〔37〕	2,418 〔22〕	1,814 〔14〕
	大学専科	1,912 〔161〕	2,188 〔83〕	1,588 〔74〕		大学専科	2,656 〔188〕	2,940 〔104〕	2,304 〔84〕
	大学本科	2,249 〔106〕	2,459 〔64〕	1,868 〔38〕		大学本科	3,319 〔189〕	3,580 〔103〕	3,014 〔85〕
	大学院博士 前後期課程	2,733 〔6〕	3,000 〔5〕	1,400 〔1〕		大学院博士 前後期課程	5,029 〔41〕	5,400 〔31〕	3,880 〔10〕
蘇州市		1,965 〔493〕	2,102 〔307〕	1,737 〔186〕	広州市①		2,297 〔474〕	2,382 〔354〕	2,049 〔120〕
	中学	1,200 〔2〕	1,400 〔1〕	1,000 〔1〕		中学	2,400 〔2〕	2,400 〔2〕	- 〔0〕
	高校・中専	1,706 〔297〕	1,816 〔182〕	1,532 〔115〕		高校・中専	2,058 〔38〕	2,244 〔27〕	1,600 〔11〕
	大学専科	2,171 〔146〕	2,272 〔89〕	2,012 〔57〕		大学専科	2,276 〔204〕	2,417 〔144〕	1,938 〔60〕
	大学本科	2,703 〔39〕	2,771 〔28〕	2,527 〔11〕		大学本科	2,314 〔222〕	2,330 〔175〕	2,255 〔47〕
	大学院博士 前後期課程	10,000 〔2〕	10,000 〔2〕	- 〔0〕		大学院博士 前後期課程	3,629 〔7〕	3,880 〔5〕	3,600 〔2〕
西安市		1,496 〔490〕	1,576 〔320〕	1,347 〔170〕	福州市		1,725 〔495〕	1,829 〔298〕	1,569 〔197〕
	中学	1,250 〔4〕	1,300 〔2〕	1,200 〔2〕		中学	1,720 〔5〕	1,900 〔4〕	1,000 〔1〕
	高校・中専	1,331 〔36〕	1,446 〔24〕	1,100 〔12〕		高校・中専	1,612 〔69〕	1,700 〔48〕	1,410 〔21〕
	大学専科	1,383 〔240〕	1,437 〔153〕	1,290 〔87〕		大学専科	1,602 〔211〕	1,735 〔114〕	1,445 〔97〕
	大学本科	1,640 〔204〕	1,738 〔137〕	1,439 〔67〕		大学本科	1,839 〔201〕	1,927 〔128〕	1,685 〔73〕
	大学院博士 前後期課程	2,400 〔5〕	2,400 〔3〕	2,400 〔2〕		大学院博士 前後期課程	3,150 〔8〕	3,333 〔3〕	3,040 〔5〕
寧波市		2,123 〔464〕	2,235 〔319〕	1,874 〔145〕	南昌市		1,611 〔481〕	1,696 〔354〕	1,375 〔127〕
	中学	2,035 〔17〕	2,120 〔15〕	1,400 〔2〕		中学	1,160 〔5〕	1,300 〔4〕	600 〔1〕
	高校・中専	2,023 〔114〕	2,129 〔87〕	1,681 〔27〕		高校・中専	1,495 〔86〕	1,620 〔60〕	1,208 〔26〕
	大学専科	2,035 〔214〕	2,223 〔138〕	1,692 〔76〕		大学専科	1,525 〔263〕	1,600 〔193〕	1,320 〔70〕
	大学本科	2,360 〔112〕	2,393 〔75〕	2,292 〔37〕		大学本科	1,831 〔121〕	1,878 〔93〕	1,671 〔28〕
	大学院博士 前後期課程	3,533 〔3〕	2,500 〔2〕	5,600 〔1〕		大学院博士 前後期課程	3,500 〔4〕	3,867 〔3〕	2,400 〔1〕

表19 希望する待遇(1)月給額①学歴・性別(続1)

	平均額				平均額				
	男性	女性			男性	女性			
瀋陽市		1,599 [494]	1,731 [261]	1,452 [233]	石家荘市		1,431 [489]	1,619 [172]	1,329 [317]
	中学	1,836 [11]	1,960 [10]	600 [1]		中学	- [0]	- [0]	- [0]
	高校・中専	1,561 [56]	1,642 [43]	1,292 [13]		高校・中専	1,033 [6]	1,000 [3]	1,067 [3]
	大学専科	1,472 [205]	1,576 [102]	1,369 [103]		大学専科	1,216 [176]	1,275 [61]	1,184 [115]
	大学本科	1,711 [218]	1,892 [103]	1,550 [115]		大学本科	1,527 [289]	1,816 [101]	1,371 [188]
	大学院博士 前後期課程	2,700 [2]	3,600 [1]	1,800 [1]		大学院博士 前後期課程	2,122 [18]	2,029 [7]	2,182 [11]
鄭州市		1,533 [488]	1,618 [359]	1,295 [129]	天津市		1,761 [490]	1,810 [327]	1,663 [163]
	中学	1,163 [16]	1,160 [15]	1,200 [1]		中学	1,333 [15]	1,400 [10]	1,200 [5]
	高校・中専	1,463 [117]	1,523 [91]	1,254 [26]		高校・中専	1,575 [81]	1,698 [63]	1,144 [18]
	大学専科	1,496 [239]	1,619 [167]	1,211 [72]		大学専科	1,601 [198]	1,630 [135]	1,540 [63]
	大学本科	1,733 [110]	1,785 [82]	1,579 [28]		大学本科	1,934 [181]	2,006 [110]	1,823 [71]
	大学院博士 前後期課程	2,700 [2]	2,700 [2]	- [0]		大学院博士 前後期課程	3,213 [15]	3,356 [9]	3,000 [6]
南京市		2,043 [484]	2,267 [258]	1,787 [206]	濟南市		1,626 [509]	1,690 [279]	1,548 [230]
	中学	1,500 [2]	1,800 [1]	1,200 [1]		中学	- [0]	- [0]	- [0]
	高校・中専	1,665 [34]	1,757 [14]	1,600 [20]		高校・中専	1,300 [2]	1,400 [1]	1,200 [1]
	大学専科	1,907 [228]	2,127 [116]	1,679 [112]		大学専科	1,311 [162]	1,407 [84]	1,208 [78]
	大学本科	2,200 [206]	2,408 [117]	1,928 [89]		大学本科	1,681 [313]	1,728 [178]	1,619 [135]
	大学院博士 前後期課程	2,943 [14]	3,020 [10]	2,750 [4]		大学院博士 前後期課程	2,755 [31]	2,893 [15]	2,625 [16]
武漢市		2,146 [521]	2,074 [323]	2,263 [198]	合肥市		1,348 [497]	1,547 [232]	1,174 [265]
	中学	- [0]	- [0]	- [0]		中学	1,457 [14]	1,492 [13]	1,000 [1]
	高校・中専	2,400 [1]	2,400 [1]	- [0]		高校・中専	1,370 [82]	1,461 [49]	1,226 [31]
	大学専科	1,385 [82]	1,406 [62]	1,320 [20]		大学専科	1,279 [348]	1,519 [126]	1,143 [222]
	大学本科	1,919 [318]	1,895 [198]	1,957 [120]		大学本科	1,696 [54]	1,707 [43]	1,655 [11]
	大学院博士 前後期課程	3,276 [119]	3,328 [61]	3,221 [58]		大学院博士 前後期課程	3,000 [1]	3,000 [1]	- [0]
上海市②		3,317 [500]	3,531 [313]	2,960 [187]	南寧市		1,305 [510]	1,459 [244]	1,165 [266]
	中学	2,280 [5]	1,900 [2]	2,533 [3]		中学	1,000 [1]	- [0]	1,000 [1]
	高校・中専	2,421 [29]	2,336 [22]	2,686 [7]		高校・中専	1,336 [58]	1,616 [31]	1,015 [27]
	大学専科	3,052 [162]	3,280 [92]	2,753 [70]		大学専科	1,246 [349]	1,374 [160]	1,138 [189]
	大学本科	3,279 [238]	3,749 [155]	2,906 [83]		大学本科	1,492 [102]	1,623 [53]	1,355 [49]
	大学院博士 前後期課程	4,645 [64]	4,974 [42]	4,018 [22]		大学院博士 前後期課程	- [0]	- [0]	- [0]

表19 希望する待遇(1)月給額①学歴・性別(続2)

	平均額				平均額			
		男性	女性			男性	女性	
広州市②		2,722	2,861	2,345		2,061	2,251	1,816
		[523]	[382]	[141]		[514]	[289]	[225]
	中学	2,150	2,150	-	中学	1,100	1,000	1,200
		[4]	[4]	[0]		[2]	[1]	[1]
	高校・中専	2,265	2,425	2,043	高校・中専	2,285	1,983	2,543
		[55]	[32]	[23]		[26]	[12]	[14]
	大学専科	2,607	2,757	2,211	大学専科	1,846	2,060	1,604
	[270]	[196]	[74]		[207]	[110]	[97]	
大学本科	2,944	3,012	2,712	大学本科	2,153	2,339	1,865	
	[181]	[140]	[41]		[263]	[160]	[103]	
大学院博士 前後期課程	4,545	4,778	3,500	大学院博士 前後期課程	3,343	4,167	2,725	
	[11]	[9]	[2]		[14]	[6]	[8]	
北京市①		2,198	2,341	2,013		2,758	2,958	2,534
		[363]	[204]	[159]		[520]	[274]	[246]
	中学	1,700	1,783	1,200	中学	1,600	1,800	1,200
		[14]	[12]	[2]		[3]	[2]	[1]
	高校・中専	1,797	1,855	1,714	高校・中専	2,117	2,338	1,600
		[90]	[53]	[37]		[30]	[21]	[9]
	大学専科	2,145	2,315	1,954	大学専科	2,402	2,548	2,243
	[166]	[88]	[78]		[125]	[65]	[60]	
大学本科	2,773	3,056	2,420	大学本科	2,767	3,006	2,501	
	[90]	[50]	[40]		[308]	[162]	[146]	
大学院博士 前後期課程	4,000	-	4,000	大学院博士 前後期課程	3,948	4,383	3,600	
	[1]	[0]	[1]		[54]	[24]	[30]	

- 注 1. 平均額欄の括弧内の数字は、平均額算出の対象となった回答者数である。
2. 重慶市と天津市の中学卒業欄は、小学卒業者をそれぞれを1人（重慶市は男性、天津市は女性である）含む。
3. 武漢市の大学院博士前後期課程修了欄は、ポスト・ドクターを1人（女性）含む。
4. 蘇州市の大学院博士前後期課程修了欄は、16,000元を希望する回答者が1人いるために平均額が引き上げられている。
5. 上海市②の大学本科卒業欄の全体平均額と男性平均額および大学院博士前後期課程修了欄の全体平均額と男性平均額は、100,000万円を希望する回答者をそれぞれ1人ずつ除いた数値である。

もっとも、筆者は、30歳代以降の求職者が希望する月給額よりも20歳代の求職者が希望する月給額にむしろ着目すべきなのかもしれない。20歳代の求職者が希望する月給額は、20歳代の求職者がW. ルイス (Lewis, William Arthur) のいう「転換点」(turning point)³¹の接近による月給額上昇の恩恵を享受しはじめた証左であるとも受け止められる。この見方が正しければ、5年後や10年後に実施する予定のアンケート調査の結果は、30歳代以降の求職者が希望する月給額を今回の結果よりも大幅に引き上げているはずである。

求職者が希望する月給額の平均は、第三に、男性が女性よりも高かった。

男性の求職者が希望する月給額は、学歴、年齢、志望職の相違を問わず、女性の求職者が希望する月給額より総じて高かった。女性の求職者が希望する月給額が男性の求職者が希望する月給額を上回る学歴層や年齢層のほとんどは、武漢市の人材交流会を除くと、標本数が過度に少ないために生じる標本誤差以外の何物でもない。希望する月給額における男女間の格差は、男性比率が高かった営業職と理系技術職を志望する求職者の月給額の平均を押し上げ、女性比率が高かった総務職を志望する求職者の月給額の平均を押し下げた効果を果たしていた。

武漢市の人材交流会は、女性求職者が一般職を除いた4職で男性求職者以上の月給額を希望している。武漢市の人材交流会を訪れた女性求職者と他都市の人材交流会を訪れた女性求職者の属

表 20 希 望 す る 待 遇 (1) 月 給 額 (2) 年 齢 ・ 性 別

単 位 元

	平均額				平均額			
		男性	女性			男性	女性	
常州市		1,846 [220]	2,069 [117]	1,536 [101]		1,760 [390]	1,939 [236]	1,479 [149]
	15~19歳	- [0]	- [0]	- [0]	15~19歳	1,000 [4]	1,067 [3]	800 [1]
	20~24歳	1,454 [115]	1,602 [54]	1,323 [61]	20~24歳	1,393 [154]	1,449 [75]	1,339 [79]
	25~29歳	2,223 [81]	2,398 [50]	1,873 [30]	25~29歳	1,953 [143]	2,125 [91]	1,652 [52]
	30~34歳	2,680 [10]	3,400 [5]	1,960 [5]	30~34歳	2,425 [40]	2,541 [34]	1,767 [6]
	35~39歳	2,833 [6]	2,800 [5]	3,000 [1]	35~39歳	2,063 [24]	2,079 [19]	2,000 [5]
	40~44歳	1,500 [1]	1,500 [1]	- [0]	40~44歳	1,785 [10]	1,981 [8]	1,000 [2]
	45~49歳	1,500 [1]	- [0]	1,500 [1]	45~49歳	1,500 [6]	1,625 [4]	1,250 [2]
50歳~	- [0]	- [0]	- [0]	50歳~	1,700 [4]	2,000 [2]	1,400 [2]	
長沙市		2,029 [313]	2,279 [178]	1,659 [127]		3,095 [477]	3,405 [278]	2,666 [197]
	15~19歳	1,600 [3]	1,800 [1]	1,500 [2]	15~19歳	1,100 [2]	1,000 [1]	1,200 [1]
	20~24歳	1,651 [177]	1,698 [88]	1,606 [89]	20~24歳	2,375 [185]	2,510 [86]	2,257 [99]
	25~29歳	2,224 [92]	2,495 [61]	1,690 [31]	25~29歳	3,347 [188]	3,482 [109]	3,161 [79]
	30~34歳	2,775 [16]	2,427 [15]	8,000 [1]	30~34歳	4,080 [49]	4,164 [42]	3,571 [7]
	35~39歳	3,325 [8]	3,933 [6]	1,500 [2]	35~39歳	4,192 [24]	4,540 [20]	2,450 [4]
	40~44歳	8,900 [4]	11,667 [3]	600 [1]	40~44歳	6,120 [10]	7,600 [7]	2,667 [3]
	45~49歳	1,700 [2]	2,600 [1]	800 [1]	45~49歳	2,960 [5]	2,960 [5]	- [0]
50歳~	1,800 [2]	1,800 [2]	- [0]	50歳~	2,000 [2]	2,000 [1]	2,000 [1]	
蘇州市		1,965 [493]	2,102 [307]	1,737 [186]		2,297 [474]	2,382 [354]	2,049 [120]
	15~19歳	1,373 [15]	1,400 [3]	1,367 [12]	15~19歳	1,200 [1]	- [0]	1,200 [1]
	20~24歳	1,793 [307]	1,894 [177]	1,655 [130]	20~24歳	1,944 [302]	1,982 [211]	1,586 [91]
	25~29歳	2,270 [153]	2,331 [113]	2,098 [40]	25~29歳	2,851 [129]	2,868 [109]	2,760 [20]
	30~34歳	3,027 [15]	3,283 [12]	2,000 [3]	30~34歳	3,122 [23]	3,189 [18]	2,880 [5]
	35~39歳	1,600 [2]	1,600 [2]	- [0]	35~39歳	3,215 [13]	3,345 [11]	2,500 [2]
	40~44歳	- [0]	- [0]	- [0]	40~44歳	3,733 [3]	3,733 [3]	- [0]
	45~49歳	- [0]	- [0]	- [0]	45~49歳	3,500 [2]	3,500 [2]	- [0]
50歳~	- [0]	- [0]	- [0]	50歳~	- [0]	- [0]	- [0]	
重慶市		1,760 [390]	1,939 [236]	1,479 [149]		1,760 [390]	1,939 [236]	1,479 [149]
	15~19歳	1,000 [4]	1,067 [3]	800 [1]	15~19歳	1,000 [4]	1,067 [3]	800 [1]
	20~24歳	1,393 [154]	1,449 [75]	1,339 [79]	20~24歳	1,393 [154]	1,449 [75]	1,339 [79]
	25~29歳	1,953 [143]	2,125 [91]	1,652 [52]	25~29歳	1,953 [143]	2,125 [91]	1,652 [52]
	30~34歳	2,425 [40]	2,541 [34]	1,767 [6]	30~34歳	2,425 [40]	2,541 [34]	1,767 [6]
	35~39歳	2,063 [24]	2,079 [19]	2,000 [5]	35~39歳	2,063 [24]	2,079 [19]	2,000 [5]
	40~44歳	1,785 [10]	1,981 [8]	1,000 [2]	40~44歳	1,785 [10]	1,981 [8]	1,000 [2]
	45~49歳	1,500 [6]	1,625 [4]	1,250 [2]	45~49歳	1,500 [6]	1,625 [4]	1,250 [2]
50歳~	1,700 [4]	2,000 [2]	1,400 [2]	50歳~	1,700 [4]	2,000 [2]	1,400 [2]	
上海市①		2,029 [313]	2,279 [178]	1,659 [127]		3,095 [477]	3,405 [278]	2,666 [197]
	15~19歳	1,600 [3]	1,800 [1]	1,500 [2]	15~19歳	1,100 [2]	1,000 [1]	1,200 [1]
	20~24歳	1,651 [177]	1,698 [88]	1,606 [89]	20~24歳	2,375 [185]	2,510 [86]	2,257 [99]
	25~29歳	2,224 [92]	2,495 [61]	1,690 [31]	25~29歳	3,347 [188]	3,482 [109]	3,161 [79]
	30~34歳	2,775 [16]	2,427 [15]	8,000 [1]	30~34歳	4,080 [49]	4,164 [42]	3,571 [7]
	35~39歳	3,325 [8]	3,933 [6]	1,500 [2]	35~39歳	4,192 [24]	4,540 [20]	2,450 [4]
	40~44歳	8,900 [4]	11,667 [3]	600 [1]	40~44歳	6,120 [10]	7,600 [7]	2,667 [3]
	45~49歳	1,700 [2]	2,600 [1]	800 [1]	45~49歳	2,960 [5]	2,960 [5]	- [0]
50歳~	1,800 [2]	1,800 [2]	- [0]	50歳~	2,000 [2]	2,000 [1]	2,000 [1]	
広州市①		1,965 [493]	2,102 [307]	1,737 [186]		2,297 [474]	2,382 [354]	2,049 [120]
	15~19歳	1,373 [15]	1,400 [3]	1,367 [12]	15~19歳	1,200 [1]	- [0]	1,200 [1]
	20~24歳	1,793 [307]	1,894 [177]	1,655 [130]	20~24歳	1,944 [302]	1,982 [211]	1,586 [91]
	25~29歳	2,270 [153]	2,331 [113]	2,098 [40]	25~29歳	2,851 [129]	2,868 [109]	2,760 [20]
	30~34歳	3,027 [15]	3,283 [12]	2,000 [3]	30~34歳	3,122 [23]	3,189 [18]	2,880 [5]
	35~39歳	1,600 [2]	1,600 [2]	- [0]	35~39歳	3,215 [13]	3,345 [11]	2,500 [2]
	40~44歳	- [0]	- [0]	- [0]	40~44歳	3,733 [3]	3,733 [3]	- [0]
	45~49歳	- [0]	- [0]	- [0]	45~49歳	3,500 [2]	3,500 [2]	- [0]
50歳~	- [0]	- [0]	- [0]	50歳~	- [0]	- [0]	- [0]	

表20 希望する待遇(1)月給額②年齢・性別(続1)

	平均額				平均額			
		男性	女性			男性	女性	
西安市		1,496 [490]	1,576 [320]	1,347 [170]		1,725 [495]	1,829 [298]	1,569 [197]
	15~19歳	800 [1]	800 [1]	- [0]	15~19歳	1,300 [4]	1,400 [3]	1,000 [1]
	20~24歳	1,404 [317]	1,483 [195]	1,277 [122]	20~24歳	1,575 [331]	1,645 [181]	1,491 [150]
	25~29歳	1,634 [135]	1,664 [97]	1,558 [38]	25~29歳	2,011 [123]	2,049 [87]	1,917 [36]
	30~34歳	1,946 [26]	1,991 [22]	1,700 [4]	30~34歳	2,330 [20]	2,500 [16]	1,650 [4]
	35~39歳	1,550 [8]	1,800 [5]	1,133 [3]	35~39歳	2,400 [7]	2,760 [5]	1,500 [2]
	40~44歳	1,400 [2]	- [0]	1,400 [2]	40~44歳	1,667 [3]	2,000 [1]	1,500 [2]
	45~49歳	1,000 [1]	- [0]	1,000 [1]	45~49歳	1,400 [3]	1,500 [2]	1,200 [1]
	50歳~	- [0]	- [0]	- [0]	50歳~	2,000 [3]	2,000 [3]	- [0]
寧波市		2,123 [464]	2,235 [319]	1,874 [145]		1,611 [481]	1,696 [354]	1,375 [127]
	15~19歳	1,367 [6]	1,667 [3]	1,067 [3]	15~19歳	1,044 [9]	933 [3]	1,100 [6]
	20~24歳	1,802 [236]	1,854 [142]	1,723 [94]	20~24歳	1,404 [289]	1,446 [200]	1,310 [89]
	25~29歳	2,362 [146]	2,395 [111]	2,257 [35]	25~29歳	2,064 [107]	2,123 [88]	1,789 [19]
	30~34歳	2,530 [37]	2,650 [28]	2,156 [9]	30~34歳	1,810 [39]	1,933 [30]	1,400 [9]
	35~39歳	2,856 [25]	3,010 [21]	2,050 [4]	35~39歳	1,586 [14]	1,636 [11]	1,400 [3]
	40~44歳	2,914 [7]	2,914 [7]	- [0]	40~44歳	2,125 [8]	2,125 [8]	- [0]
	45~49歳	3,130 [6]	3,130 [6]	- [0]	45~49歳	1,933 [6]	2,200 [5]	600 [1]
	50歳~	- [0]	- [0]	- [0]	50歳~	2,050 [8]	2,050 [8]	- [0]
瀋陽市		1,599 [494]	1,731 [261]	1,452 [233]		1,431 [489]	1,619 [172]	1,329 [317]
	15~19歳	1,311 [9]	1,467 [6]	1,000 [3]	15~19歳	1,100 [2]	800 [1]	1,400 [1]
	20~24歳	1,341 [259]	1,356 [110]	1,329 [149]	20~24歳	1,387 [435]	1,599 [142]	1,285 [293]
	25~29歳	1,836 [159]	1,956 [94]	1,662 [65]	25~29歳	1,747 [45]	1,715 [26]	1,789 [19]
	30~34歳	1,931 [32]	1,933 [21]	1,927 [11]	30~34歳	2,200 [4]	1,600 [1]	2,400 [3]
	35~39歳	2,011 [19]	2,125 [16]	1,400 [3]	35~39歳	2,600 [2]	3,000 [1]	2,200 [1]
	40~44歳	2,320 [11]	2,311 [10]	2,400 [1]	40~44歳	- [0]	- [0]	- [0]
	45~49歳	3,350 [4]	3,350 [4]	- [0]	45~49歳	- [0]	- [0]	- [0]
	50歳~	- [0]	- [0]	- [0]	50歳~	- [0]	- [0]	- [0]
福州市		1,496 [490]	1,576 [320]	1,347 [170]		1,725 [495]	1,829 [298]	1,569 [197]
	15~19歳	800 [1]	800 [1]	- [0]	15~19歳	1,300 [4]	1,400 [3]	1,000 [1]
	20~24歳	1,404 [317]	1,483 [195]	1,277 [122]	20~24歳	1,575 [331]	1,645 [181]	1,491 [150]
	25~29歳	1,634 [135]	1,664 [97]	1,558 [38]	25~29歳	2,011 [123]	2,049 [87]	1,917 [36]
	30~34歳	1,946 [26]	1,991 [22]	1,700 [4]	30~34歳	2,330 [20]	2,500 [16]	1,650 [4]
	35~39歳	1,550 [8]	1,800 [5]	1,133 [3]	35~39歳	2,400 [7]	2,760 [5]	1,500 [2]
	40~44歳	1,400 [2]	- [0]	1,400 [2]	40~44歳	1,667 [3]	2,000 [1]	1,500 [2]
	45~49歳	1,000 [1]	- [0]	1,000 [1]	45~49歳	1,400 [3]	1,500 [2]	1,200 [1]
	50歳~	- [0]	- [0]	- [0]	50歳~	2,000 [3]	2,000 [3]	- [0]
南昌市		2,123 [464]	2,235 [319]	1,874 [145]		1,611 [481]	1,696 [354]	1,375 [127]
	15~19歳	1,367 [6]	1,667 [3]	1,067 [3]	15~19歳	1,044 [9]	933 [3]	1,100 [6]
	20~24歳	1,802 [236]	1,854 [142]	1,723 [94]	20~24歳	1,404 [289]	1,446 [200]	1,310 [89]
	25~29歳	2,362 [146]	2,395 [111]	2,257 [35]	25~29歳	2,064 [107]	2,123 [88]	1,789 [19]
	30~34歳	2,530 [37]	2,650 [28]	2,156 [9]	30~34歳	1,810 [39]	1,933 [30]	1,400 [9]
	35~39歳	2,856 [25]	3,010 [21]	2,050 [4]	35~39歳	1,586 [14]	1,636 [11]	1,400 [3]
	40~44歳	2,914 [7]	2,914 [7]	- [0]	40~44歳	2,125 [8]	2,125 [8]	- [0]
	45~49歳	3,130 [6]	3,130 [6]	- [0]	45~49歳	1,933 [6]	2,200 [5]	600 [1]
	50歳~	- [0]	- [0]	- [0]	50歳~	2,050 [8]	2,050 [8]	- [0]
石家庄市		1,599 [494]	1,731 [261]	1,452 [233]		1,431 [489]	1,619 [172]	1,329 [317]
	15~19歳	1,311 [9]	1,467 [6]	1,000 [3]	15~19歳	1,100 [2]	800 [1]	1,400 [1]
	20~24歳	1,341 [259]	1,356 [110]	1,329 [149]	20~24歳	1,387 [435]	1,599 [142]	1,285 [293]
	25~29歳	1,836 [159]	1,956 [94]	1,662 [65]	25~29歳	1,747 [45]	1,715 [26]	1,789 [19]
	30~34歳	1,931 [32]	1,933 [21]	1,927 [11]	30~34歳	2,200 [4]	1,600 [1]	2,400 [3]
	35~39歳	2,011 [19]	2,125 [16]	1,400 [3]	35~39歳	2,600 [2]	3,000 [1]	2,200 [1]
	40~44歳	2,320 [11]	2,311 [10]	2,400 [1]	40~44歳	- [0]	- [0]	- [0]
	45~49歳	3,350 [4]	3,350 [4]	- [0]	45~49歳	- [0]	- [0]	- [0]
	50歳~	- [0]	- [0]	- [0]	50歳~	- [0]	- [0]	- [0]

表20 希望する待遇(1)月給額②年齢・性別(続2)

	平均額				平均額			
		男性	女性			男性	女性	
鄭州市		1,533 [488]	1,618 [359]	1,295 [129]		1,761 [490]	1,810 [327]	1,663 [163]
	15~19歳	1,587 [15]	1,571 [7]	1,600 [8]	15~19歳	1,289 [9]	1,433 [6]	1,000 [3]
	20~24歳	1,336 [258]	1,418 [175]	1,161 [83]	20~24歳	1,621 [309]	1,644 [199]	1,580 [110]
	25~29歳	1,785 [130]	1,854 [107]	1,461 [23]	25~29歳	2,028 [121]	2,137 [83]	1,789 [38]
	30~34歳	1,883 [41]	1,872 [36]	1,960 [5]	30~34歳	2,242 [19]	2,123 [13]	2,500 [6]
	35~39歳	1,810 [21]	1,765 [17]	2,000 [4]	35~39歳	2,050 [12]	2,400 [8]	1,350 [4]
	40~44歳	1,557 [14]	1,820 [10]	900 [4]	40~44歳	1,920 [10]	1,675 [8]	2,900 [2]
	45~49歳	1,160 [5]	1,160 [5]	- [0]	45~49歳	1,629 [7]	1,629 [7]	- [0]
	50歳~	1,200 [4]	1,000 [2]	1,400 [2]	50歳~	2,400 [3]	2,400 [3]	- [0]
南京市		2,043 [489]	2,267 [258]	1,787 [206]		1,626 [509]	1,690 [279]	1,548 [230]
	15~19歳	1,280 [5]	- [0]	1,280 [5]	15~19歳	1,133 [3]	1,000 [1]	1,200 [2]
	20~24歳	1,826 [307]	1,994 [141]	1,683 [166]	20~24歳	1,537 [462]	1,574 [250]	1,494 [212]
	25~29歳	2,421 [122]	2,567 [84]	2,100 [38]	25~29歳	2,575 [40]	2,758 [24]	2,300 [16]
	30~34歳	2,457 [28]	2,674 [19]	2,000 [9]	30~34歳	2,867 [3]	2,867 [3]	- [0]
	35~39歳	2,582 [11]	2,367 [6]	2,840 [5]	35~39歳	2,400 [1]	2,400 [1]	- [0]
	40~44歳	3,767 [6]	4,120 [5]	2,000 [1]	40~44歳	- [0]	- [0]	- [0]
	45~49歳	1,600 [6]	1,400 [4]	2,000 [2]	45~49歳	- [0]	- [0]	- [0]
	50歳~	1,000 [1]	1,000 [1]	- [0]	50歳~	- [0]	- [0]	- [0]
武漢市		2,146 [521]	2,074 [323]	2,263 [198]		1,348 [497]	1,547 [232]	1,174 [265]
	15~19歳	1,300 [4]	1,000 [2]	1,600 [2]	15~19歳	969 [13]	900 [4]	1,000 [9]
	20~24歳	1,925 [428]	1,841 [268]	2,065 [160]	20~24歳	1,255 [365]	1,421 [146]	1,145 [219]
	25~29歳	3,250 [80]	3,300 [46]	3,182 [34]	25~29歳	1,630 [80]	1,796 [50]	1,353 [30]
	30~34歳	3,143 [7]	3,267 [6]	2,400 [1]	30~34歳	1,770 [20]	1,788 [16]	1,700 [4]
	35~39歳	- [0]	- [0]	- [0]	35~39歳	1,933 [12]	1,964 [11]	1,600 [1]
	40~44歳	3,400 [2]	3,000 [1]	3,800 [1]	40~44歳	1,133 [3]	1,200 [2]	1,000 [1]
	45~49歳	- [0]	- [0]	- [0]	45~49歳	1,800 [3]	1,800 [3]	- [0]
	50歳~	- [0]	- [0]	- [0]	50歳~	- [0]	- [0]	- [0]
天津市		1,761 [490]	1,810 [327]	1,663 [163]		1,761 [490]	1,810 [327]	1,663 [163]
	15~19歳	1,587 [15]	1,571 [7]	1,600 [8]	15~19歳	1,289 [9]	1,433 [6]	1,000 [3]
	20~24歳	1,336 [258]	1,418 [175]	1,161 [83]	20~24歳	1,621 [309]	1,644 [199]	1,580 [110]
	25~29歳	1,785 [130]	1,854 [107]	1,461 [23]	25~29歳	2,028 [121]	2,137 [83]	1,789 [38]
	30~34歳	1,883 [41]	1,872 [36]	1,960 [5]	30~34歳	2,242 [19]	2,123 [13]	2,500 [6]
	35~39歳	1,810 [21]	1,765 [17]	2,000 [4]	35~39歳	2,050 [12]	2,400 [8]	1,350 [4]
	40~44歳	1,557 [14]	1,820 [10]	900 [4]	40~44歳	1,920 [10]	1,675 [8]	2,900 [2]
	45~49歳	1,160 [5]	1,160 [5]	- [0]	45~49歳	1,629 [7]	1,629 [7]	- [0]
	50歳~	1,200 [4]	1,000 [2]	1,400 [2]	50歳~	2,400 [3]	2,400 [3]	- [0]
濟南市		2,043 [489]	2,267 [258]	1,787 [206]		1,626 [509]	1,690 [279]	1,548 [230]
	15~19歳	1,280 [5]	- [0]	1,280 [5]	15~19歳	1,133 [3]	1,000 [1]	1,200 [2]
	20~24歳	1,826 [307]	1,994 [141]	1,683 [166]	20~24歳	1,537 [462]	1,574 [250]	1,494 [212]
	25~29歳	2,421 [122]	2,567 [84]	2,100 [38]	25~29歳	2,575 [40]	2,758 [24]	2,300 [16]
	30~34歳	2,457 [28]	2,674 [19]	2,000 [9]	30~34歳	2,867 [3]	2,867 [3]	- [0]
	35~39歳	2,582 [11]	2,367 [6]	2,840 [5]	35~39歳	2,400 [1]	2,400 [1]	- [0]
	40~44歳	3,767 [6]	4,120 [5]	2,000 [1]	40~44歳	- [0]	- [0]	- [0]
	45~49歳	1,600 [6]	1,400 [4]	2,000 [2]	45~49歳	- [0]	- [0]	- [0]
	50歳~	1,000 [1]	1,000 [1]	- [0]	50歳~	- [0]	- [0]	- [0]
合肥市		2,146 [521]	2,074 [323]	2,263 [198]		1,348 [497]	1,547 [232]	1,174 [265]
	15~19歳	1,300 [4]	1,000 [2]	1,600 [2]	15~19歳	969 [13]	900 [4]	1,000 [9]
	20~24歳	1,925 [428]	1,841 [268]	2,065 [160]	20~24歳	1,255 [365]	1,421 [146]	1,145 [219]
	25~29歳	3,250 [80]	3,300 [46]	3,182 [34]	25~29歳	1,630 [80]	1,796 [50]	1,353 [30]
	30~34歳	3,143 [7]	3,267 [6]	2,400 [1]	30~34歳	1,770 [20]	1,788 [16]	1,700 [4]
	35~39歳	- [0]	- [0]	- [0]	35~39歳	1,933 [12]	1,964 [11]	1,600 [1]
	40~44歳	3,400 [2]	3,000 [1]	3,800 [1]	40~44歳	1,133 [3]	1,200 [2]	1,000 [1]
	45~49歳	- [0]	- [0]	- [0]	45~49歳	1,800 [3]	1,800 [3]	- [0]
	50歳~	- [0]	- [0]	- [0]	50歳~	- [0]	- [0]	- [0]

表20 希望する待遇(1)月給額②年齢・性別(続3)

	平均額				平均額			
		男性	女性			男性	女性	
上海市②		3,317 [500]	3,531 [313]	2,960 [187]		1,305 [510]	1,459 [244]	1,165 [266]
	15~19歳	1,867 [3]	- [0]	1,867 [3]	15~19歳	925 [8]	933 [3]	920 [5]
	20~24歳	2,609 [245]	2,632 [130]	2,582 [115]	20~24歳	1,202 [373]	1,280 [149]	1,151 [224]
	25~29歳	3,930 [155]	4,072 [112]	3,558 [43]	25~29歳	1,533 [104]	1,616 [76]	1,307 [28]
	30~34歳	4,381 [47]	4,755 [33]	3,500 [14]	30~34歳	1,980 [10]	2,440 [5]	1,520 [5]
	35~39歳	4,173 [22]	4,080 [15]	4,371 [7]	35~39歳	1,600 [5]	1,600 [5]	- [0]
	40~44歳	4,583 [12]	5,075 [8]	3,600 [4]	40~44歳	2,200 [4]	2,600 [3]	1,000 [1]
	45~49歳	3,100 [10]	3,000 [9]	4,000 [1]	45~49歳	1,400 [3]	3,000 [1]	600 [2]
	50歳~	3,440 [5]	3,440 [5]	- [0]	50歳~	2,600 [1]	2,600 [1]	- [0]
広州市②		2,722 [523]	2,861 [382]	2,345 [141]		2,061 [514]	2,251 [289]	1,816 [225]
	15~19歳	1,800 [4]	2,000 [1]	1,733 [3]	15~19歳	3,000 [2]	2,000 [1]	4,000 [1]
	20~24歳	2,200 [246]	2,266 [155]	2,089 [91]	20~24歳	1,737 [338]	1,867 [174]	1,600 [164]
	25~29歳	2,992 [194]	3,031 [156]	2,834 [38]	25~29歳	2,445 [117]	2,551 [76]	2,249 [41]
	30~34歳	3,451 [35]	3,587 [31]	2,400 [4]	30~34歳	2,845 [33]	3,245 [20]	2,231 [13]
	35~39歳	3,896 [27]	3,892 [24]	3,933 [3]	35~39歳	3,643 [14]	3,700 [10]	3,500 [4]
	40~44歳	4,309 [11]	4,309 [11]	- [0]	40~44歳	4,300 [6]	4,700 [4]	3,500 [2]
	45~49歳	3,600 [3]	3,600 [3]	- [0]	45~49歳	2,000 [1]	2,000 [1]	- [0]
	50歳~	3,400 [3]	4,000 [1]	3,100 [2]	50歳~	4,000 [1]	4,000 [1]	- [0]
北京市①		2,198 [363]	2,341 [204]	2,013 [159]		2,758 [520]	2,958 [274]	2,534 [246]
	15~19歳	- [0]	- [0]	- [0]	15~19歳	1,700 [3]	1,750 [2]	1,600 [1]
	20~24歳	1,902 [191]	2,008 [92]	1,804 [99]	20~24歳	2,236 [298]	2,296 [140]	2,182 [158]
	25~29歳	2,350 [113]	2,427 [70]	2,223 [43]	25~29歳	3,419 [175]	3,586 [101]	3,192 [74]
	30~34歳	2,621 [29]	2,536 [22]	2,886 [7]	30~34歳	3,792 [25]	3,958 [19]	3,267 [6]
	35~39歳	4,473 [11]	4,750 [8]	3,733 [3]	35~39歳	4,450 [8]	4,100 [6]	5,500 [2]
	40~44歳	2,818 [11]	3,000 [7]	2,500 [4]	40~44歳	2,800 [4]	3,000 [2]	2,600 [2]
	45~49歳	1,867 [6]	2,267 [3]	1,467 [3]	45~49歳	3,120 [5]	4,533 [3]	1,000 [2]
	50歳~	1,800 [2]	1,800 [2]	- [0]	50歳~	3,500 [2]	4,000 [1]	3,000 [1]
南寧市		2,722 [523]	2,861 [382]	2,345 [141]		2,061 [514]	2,251 [289]	1,816 [225]
	15~19歳	1,800 [4]	2,000 [1]	1,733 [3]	15~19歳	3,000 [2]	2,000 [1]	4,000 [1]
	20~24歳	2,200 [246]	2,266 [155]	2,089 [91]	20~24歳	1,737 [338]	1,867 [174]	1,600 [164]
	25~29歳	2,992 [194]	3,031 [156]	2,834 [38]	25~29歳	2,445 [117]	2,551 [76]	2,249 [41]
	30~34歳	3,451 [35]	3,587 [31]	2,400 [4]	30~34歳	2,845 [33]	3,245 [20]	2,231 [13]
	35~39歳	3,896 [27]	3,892 [24]	3,933 [3]	35~39歳	3,643 [14]	3,700 [10]	3,500 [4]
	40~44歳	4,309 [11]	4,309 [11]	- [0]	40~44歳	4,300 [6]	4,700 [4]	3,500 [2]
	45~49歳	3,600 [3]	3,600 [3]	- [0]	45~49歳	2,000 [1]	2,000 [1]	- [0]
	50歳~	3,400 [3]	4,000 [1]	3,100 [2]	50歳~	4,000 [1]	4,000 [1]	- [0]
北京市②		2,198 [363]	2,341 [204]	2,013 [159]		2,758 [520]	2,958 [274]	2,534 [246]
	15~19歳	- [0]	- [0]	- [0]	15~19歳	1,700 [3]	1,750 [2]	1,600 [1]
	20~24歳	1,902 [191]	2,008 [92]	1,804 [99]	20~24歳	2,236 [298]	2,296 [140]	2,182 [158]
	25~29歳	2,350 [113]	2,427 [70]	2,223 [43]	25~29歳	3,419 [175]	3,586 [101]	3,192 [74]
	30~34歳	2,621 [29]	2,536 [22]	2,886 [7]	30~34歳	3,792 [25]	3,958 [19]	3,267 [6]
	35~39歳	4,473 [11]	4,750 [8]	3,733 [3]	35~39歳	4,450 [8]	4,100 [6]	5,500 [2]
	40~44歳	2,818 [11]	3,000 [7]	2,500 [4]	40~44歳	2,800 [4]	3,000 [2]	2,600 [2]
	45~49歳	1,867 [6]	2,267 [3]	1,467 [3]	45~49歳	3,120 [5]	4,533 [3]	1,000 [2]
	50歳~	1,800 [2]	1,800 [2]	- [0]	50歳~	3,500 [2]	4,000 [1]	3,000 [1]

- 注 1. 平均額欄の括弧内の数字は、平均額算出の対象となった回答者数である。
2. 長沙市の40~44歳の平均額と男性平均額が8,900元、11,667元と過大になる原因は、30,000元と回答した男性回答者がいるためである。この男性回答者を除外すると、平均額は、1,867元、男性平均額は、2,500元になる。
3. 上海市②の20~24歳欄の全体平均額と男性平均額および35~39歳欄の全体平均額と男性平均額は、100,000元を希望する回答者をそれぞれ1人ずつ除いた数値である。

表21 希望する待遇(1)月給額③職務【複数回答】・性別

単位 元

	平均額				平均額			
	男性	女性			男性	女性		
常州市		1,846 [220]	2,069 [117]	1,536 [101]		1,760 [390]	1,939 [236]	1,479 [149]
	営業職	2,191 [45]	2,240 [35]	2,020 [10]	営業職	1,682 [201]	1,817 [127]	1,428 [72]
	総務職	1,916 [73]	2,652 [25]	1,481 [47]	総務職	1,704 [150]	2,048 [67]	1,425 [81]
	文系技術職	1,634 [29]	1,767 [9]	1,575 [20]	文系技術職	1,683 [203]	2,430 [133]	1,379 [24]
	理系技術職	1,729 [82]	1,833 [58]	1,326 [23]	理系技術職	1,891 [93]	1,900 [78]	1,938 [13]
	一般職	1,750 [2]	1,750 [2]	- [0]	一般職	1,330 [32]	1,313 [26]	1,400 [6]
		2,029 [313]	2,279 [178]	1,659 [127]		3,095 [477]	3,405 [278]	2,666 [197]
長沙市	営業職	2,391 [127]	2,657 [81]	1,898 [43]	営業職	3,145 [203]	3,322 [133]	2,810 [70]
	総務職	1,961 [115]	2,657 [42]	1,539 [71]	総務職	2,750 [153]	3,416 [56]	2,366 [96]
	文系技術職	1,650 [24]	2,100 [6]	1,506 [17]	文系技術職	2,652 [42]	2,311 [9]	2,769 [32]
	理系技術職	1,863 [73]	1,817 [60]	1,909 [11]	理系技術職	3,456 [100]	3,570 [79]	3,029 [21]
	一般職	1,475 [24]	1,550 [12]	1,400 [12]	一般職	1,983 [12]	2,060 [10]	1,600 [2]
		1,965 [493]	2,102 [307]	1,737 [186]		2,297 [474]	2,382 [354]	2,049 [120]
蘇州市	営業職	2,358 [67]	2,721 [33]	2,006 [34]	営業職	2,307 [229]	2,330 [189]	2,200 [40]
	総務職	1,813 [96]	2,210 [20]	1,708 [76]	総務職	1,969 [99]	2,131 [52]	1,789 [47]
	文系技術職	2,183 [23]	2,289 [9]	2,114 [14]	文系技術職	2,050 [54]	2,100 [29]	1,992 [25]
	理系技術職	1,870 [341]	2,011 [223]	1,603 [118]	理系技術職	2,235 [144]	2,243 [129]	2,160 [15]
	一般職	1,681 [77]	1,837 [43]	1,482 [34]	一般職	1,756 [9]	2,050 [4]	1,520 [5]
		1,496 [490]	1,576 [320]	1,347 [170]		1,725 [495]	1,829 [298]	1,569 [197]
西安市	営業職	1,548 [215]	1,626 [151]	1,366 [64]	営業職	1,866 [207]	2,009 [137]	1,586 [70]
	総務職	1,393 [121]	1,639 [44]	1,252 [77]	総務職	1,584 [140]	1,820 [51]	1,449 [89]
	文系技術職	1,381 [52]	1,469 [29]	1,270 [23]	文系技術職	1,628 [106]	1,732 [41]	1,563 [65]
	理系技術職	1,603 [186]	1,633 [156]	1,447 [30]	理系技術職	1,667 [147]	1,675 [119]	1,636 [28]
	一般職	1,357 [28]	1,523 [13]	1,213 [15]	一般職	1,456 [32]	1,467 [15]	1,447 [17]
		2,123 [464]	2,235 [319]	1,874 [145]		1,611 [481]	1,696 [354]	1,375 [127]
寧波市	営業職	2,026 [204]	2,107 [138]	1,858 [66]	営業職	1,625 [245]	1,739 [196]	1,420 [49]
	総務職	1,839 [76]	1,976 [34]	1,729 [42]	総務職	1,495 [103]	1,753 [47]	1,279 [56]
	文系技術職	2,074 [43]	2,182 [11]	2,038 [32]	文系技術職	1,493 [83]	1,559 [46]	1,411 [37]
	理系技術職	2,216 [172]	2,239 [156]	1,988 [16]	理系技術職	1,634 [135]	1,635 [125]	1,620 [10]
	一般職	1,973 [30]	2,100 [22]	1,625 [8]	一般職	1,355 [44]	1,528 [25]	1,126 [19]
重慶市		1,760 [390]	1,939 [236]	1,479 [149]		1,760 [390]	1,939 [236]	1,479 [149]
	営業職	1,682 [201]	1,817 [127]	1,428 [72]	営業職	1,682 [201]	1,817 [127]	1,428 [72]
	総務職	1,704 [150]	2,048 [67]	1,425 [81]	総務職	1,704 [150]	2,048 [67]	1,425 [81]
	文系技術職	1,683 [203]	2,430 [133]	1,379 [24]	文系技術職	1,683 [203]	2,430 [133]	1,379 [24]
	理系技術職	1,891 [93]	1,900 [78]	1,938 [13]	理系技術職	1,891 [93]	1,900 [78]	1,938 [13]
	一般職	1,330 [32]	1,313 [26]	1,400 [6]	一般職	1,330 [32]	1,313 [26]	1,400 [6]
		3,095 [477]	3,405 [278]	2,666 [197]		3,095 [477]	3,405 [278]	2,666 [197]
上海市①	営業職	3,145 [203]	3,322 [133]	2,810 [70]	営業職	3,145 [203]	3,322 [133]	2,810 [70]
	総務職	2,750 [153]	3,416 [56]	2,366 [96]	総務職	2,750 [153]	3,416 [56]	2,366 [96]
	文系技術職	2,652 [42]	2,311 [9]	2,769 [32]	文系技術職	2,652 [42]	2,311 [9]	2,769 [32]
	理系技術職	3,456 [100]	3,570 [79]	3,029 [21]	理系技術職	3,456 [100]	3,570 [79]	3,029 [21]
	一般職	1,983 [12]	2,060 [10]	1,600 [2]	一般職	1,983 [12]	2,060 [10]	1,600 [2]
		2,297 [474]	2,382 [354]	2,049 [120]		2,297 [474]	2,382 [354]	2,049 [120]
広州市①	営業職	2,307 [229]	2,330 [189]	2,200 [40]	営業職	2,307 [229]	2,330 [189]	2,200 [40]
	総務職	1,969 [99]	2,131 [52]	1,789 [47]	総務職	1,969 [99]	2,131 [52]	1,789 [47]
	文系技術職	2,050 [54]	2,100 [29]	1,992 [25]	文系技術職	2,050 [54]	2,100 [29]	1,992 [25]
	理系技術職	2,235 [144]	2,243 [129]	2,160 [15]	理系技術職	2,235 [144]	2,243 [129]	2,160 [15]
	一般職	1,756 [9]	2,050 [4]	1,520 [5]	一般職	1,756 [9]	2,050 [4]	1,520 [5]
		1,725 [495]	1,829 [298]	1,569 [197]		1,725 [495]	1,829 [298]	1,569 [197]
福州市	営業職	1,866 [207]	2,009 [137]	1,586 [70]	営業職	1,866 [207]	2,009 [137]	1,586 [70]
	総務職	1,584 [140]	1,820 [51]	1,449 [89]	総務職	1,584 [140]	1,820 [51]	1,449 [89]
	文系技術職	1,628 [106]	1,732 [41]	1,563 [65]	文系技術職	1,628 [106]	1,732 [41]	1,563 [65]
	理系技術職	1,667 [147]	1,675 [119]	1,636 [28]	理系技術職	1,667 [147]	1,675 [119]	1,636 [28]
	一般職	1,456 [32]	1,467 [15]	1,447 [17]	一般職	1,456 [32]	1,467 [15]	1,447 [17]
		1,725 [495]	1,829 [298]	1,569 [197]		1,725 [495]	1,829 [298]	1,569 [197]
南昌市	営業職	1,625 [245]	1,739 [196]	1,420 [49]	営業職	1,625 [245]	1,739 [196]	1,420 [49]
	総務職	1,495 [103]	1,753 [47]	1,279 [56]	総務職	1,495 [103]	1,753 [47]	1,279 [56]
	文系技術職	1,493 [83]	1,559 [46]	1,411 [37]	文系技術職	1,493 [83]	1,559 [46]	1,411 [37]
	理系技術職	1,634 [135]	1,635 [125]	1,620 [10]	理系技術職	1,634 [135]	1,635 [125]	1,620 [10]
	一般職	1,355 [44]	1,528 [25]	1,126 [19]	一般職	1,355 [44]	1,528 [25]	1,126 [19]
		1,611 [481]	1,696 [354]	1,375 [127]		1,611 [481]	1,696 [354]	1,375 [127]

表21 希望する待遇(1)月給額③職務【複数回答】・性別(続1)

		平均額				平均額			
		男性	女性			男性	女性		
瀋陽市		1,599 [494]	1,731 [261]	1,452 [233]	石家荘市		1,431 [489]	1,619 [172]	1,329 [317]
	営業職	1,651 [175]	1,784 [101]	1,470 [74]		営業職	1,415 [196]	1,563 [93]	1,282 [103]
	総務職	1,440 [129]	1,611 [36]	1,374 [93]		総務職	1,385 [171]	1,560 [40]	1,331 [131]
	文系技術職	1,541 [101]	1,897 [29]	1,397 [72]		文系技術職	1,358 [129]	1,554 [39]	1,273 [90]
	理系技術職	1,623 [158]	1,629 [126]	1,600 [32]		理系技術職	1,647 [106]	1,722 [64]	1,533 [42]
	一般職	1,302 [49]	1,467 [21]	1,179 [28]		一般職	1,290 [49]	1,636 [11]	1,189 [38]
鄭州市		1,533 [488]	1,618 [359]	1,295 [129]	天津市		1,761 [490]	1,810 [327]	1,663 [163]
	営業職	1,659 [214]	1,713 [173]	1,429 [41]		営業職	1,730 [175]	1,730 [122]	1,732 [53]
	総務職	1,352 [62]	1,567 [24]	1,216 [38]		総務職	1,641 [98]	1,680 [45]	1,608 [53]
	文系技術職	1,397 [72]	1,588 [33]	1,236 [39]		文系技術職	1,790 [77]	1,888 [43]	1,665 [34]
	理系技術職	1,471 [152]	1,505 [132]	1,250 [20]		理系技術職	1,804 [216]	1,837 [175]	1,663 [41]
	一般職	1,347 [45]	1,417 [36]	1,067 [9]		一般職	1,516 [38]	1,691 [22]	1,275 [16]
南京市		2,043 [489]	2,267 [258]	1,787 [206]	済南市		1,626 [509]	1,690 [279]	1,548 [230]
	営業職	2,140 [206]	2,364 [127]	1,781 [79]		営業職	1,604 [146]	1,717 [96]	1,388 [50]
	総務職	1,800 [131]	2,356 [32]	1,729 [99]		総務職	1,446 [87]	1,539 [23]	1,413 [64]
	文系技術職	1,979 [68]	2,360 [25]	1,758 [43]		文系技術職	1,472 [100]	1,686 [37]	1,346 [63]
	理系技術職	2,151 [136]	2,251 [106]	1,800 [30]		理系技術職	1,655 [235]	1,673 [154]	1,622 [81]
	一般職	1,521 [33]	1,775 [8]	1,440 [25]		一般職	1,337 [19]	933 [3]	1,413 [16]
武漢市		2,146 [521]	2,074 [323]	2,263 [198]	合肥市		1,348 [497]	1,547 [232]	1,174 [265]
	営業職	1,885 [156]	1,852 [96]	1,937 [60]		営業職	1,435 [224]	1,571 [119]	1,280 [105]
	総務職	2,012 [86]	1,952 [29]	2,042 [57]		総務職	1,224 [161]	1,613 [32]	1,127 [129]
	文系技術職	2,013 [52]	1,804 [24]	2,193 [28]		文系技術職	1,173 [119]	1,573 [22]	1,082 [97]
	理系技術職	2,021 [229]	1,979 [181]	2,179 [48]		理系技術職	1,371 [76]	1,459 [54]	1,155 [22]
	一般職	1,350 [12]	1,457 [7]	1,200 [5]		一般職	1,236 [77]	1,430 [33]	1,091 [44]
上海市②		3,317 [500]	3,531 [313]	2,960 [187]	南寧市		1,305 [510]	1,459 [244]	1,165 [266]
	営業職	3,292 [186]	3,353 [122]	3,175 [64]		営業職	1,379 [265]	1,549 [143]	1,180 [122]
	総務職	2,801 [91]	2,792 [26]	2,805 [65]		総務職	1,270 [183]	1,561 [54]	1,149 [129]
	文系技術職	3,230 [57]	3,804 [24]	2,812 [33]		文系技術職	1,215 [86]	1,335 [26]	1,163 [60]
	理系技術職	3,598 [163]	3,694 [131]	3,194 [32]		理系技術職	1,315 [115]	1,358 [86]	1,186 [29]
	一般職	2,400 [8]	2,367 [6]	2,500 [2]		一般職	1,095 [80]	1,327 [22]	1,007 [58]

表 21 希 望 す る 待 遇 (1) 月 給 額 (3) 職 務 [複 数 回 答] ・ 性 別 (続 2)

		平均額				平均額		
		男性	女性			男性	女性	
広州市②		2,722 [523]	2,861 [382]	2,345 [141]		2,061 [514]	2,251 [289]	1,816 [225]
	営業職	2,679 [252]	2,779 [192]	2,360 [60]	営業職	2,210 [178]	2,331 [112]	2,005 [66]
	総務職	2,531 [96]	2,935 [46]	2,160 [50]	総務職	1,895 [130]	2,068 [40]	1,819 [90]
	文系技術職	2,935 [82]	3,321 [48]	2,391 [34]	文系技術職	1,958 [79]	2,069 [32]	1,883 [47]
	理系技術職	2,742 [131]	2,749 [118]	2,677 [13]	理系技術職	2,133 [159]	2,246 [119]	1,798 [40]
	一般職	2,118 [22]	2,327 [11]	1,909 [11]	一般職	1,760 [25]	2,340 [10]	1,373 [15]
		2,198 [363]	2,341 [204]	2,013 [159]		2,758 [520]	2,958 [274]	2,534 [246]
北京市①	営業職	2,295 [163]	2,399 [106]	2,102 [57]	営業職	2,641 [166]	2,838 [96]	2,371 [70]
	総務職	2,005 [86]	2,230 [20]	1,936 [66]	総務職	2,487 [115]	2,848 [29]	2,365 [86]
	文系技術職	2,264 [53]	2,475 [16]	2,173 [37]	文系技術職	2,675 [59]	2,844 [27]	2,531 [32]
	理系技術職	2,408 [63]	2,513 [54]	1,778 [9]	理系技術職	2,990 [170]	3,113 [119]	2,702 [51]
	一般職	1,722 [41]	1,774 [23]	1,656 [18]	一般職	2,280 [15]	2,500 [10]	1,840 [5]
		2,295 [163]	2,399 [106]	2,102 [57]		2,641 [166]	2,838 [96]	2,371 [70]
		2,005 [86]	2,230 [20]	1,936 [66]		2,487 [115]	2,848 [29]	2,365 [86]

注 1. 平均額欄の括弧内の数字は、平均額算出の対象となった回答者数である。

2. 上海市②の営業職欄の全体平均額と男性平均額は、100,000 元を希望する回答者を 2 人除いた数値である。

性で唯一大きく異なる点は、高学歴者の比率である。武漢市の人材交流会を訪れた女性求職者の 90.0% は、大学本科卒業以上の学歴を有している／有することになり、残る 10.0% も、大学専科卒業の学歴を有している／有することになる。要するに、武漢市の人材交流会を訪れた女性求職者のすべては、高等教育機関就学者であり、月給額の平均を押し下げる非高学歴層をひとりも含んでいなかったのである。

また、上海市〔第 1 回〕、上海市〔第 2 回〕、北京市〔第 1 回〕、北京市〔第 2 回〕の人材交流会は、技術職を志望する者の月給額の平均が最高額を示しており、製造企業の研究開発部門が数多く立地していることから先端技術を身につけた技術者や豊富な経験を有する技術者を集めていたことが窺える。

12. 希望する待遇 (2) 社会保険等

表 22 は、求職者の社会保険等の必要性の有無を示している。求職者の社会保険等の必要性の有無は、いずれの人材交流会でもほぼ似通った結果を示していた。

とはいえ、社会保険等を必要とする求職者の比率は、最も高かった武漢市の人材交流会の 95.8% と最も低かった鄭州市の人材交流会の 74.1% とでは 21.7 ポイントの差がある。また、重慶市、長沙市、南昌市の人材交流会は、鄭州市の人材交流会と同様に、社会保険等を必要とする求職者の比率が 70% 代にとどまった。そのうち南昌市と鄭州市の人材交流会は、求職者に占める新卒者と失業者の比率の合計がそれぞれ 66.2% と 61.3% と高かったことから、就転職を実

表22 社会保険等

単位 人

	全回答者			必要		不要			全回答者			必要		不要	
		構成比		構成比		構成比			構成比		構成比		構成比		構成比
常州市	237	100.0%	205	86.5%	10	4.2%		重慶市	391	100.0%	308	78.8%	73	18.7%	
男性	127	100.0%	105	82.7%	8	6.3%		男性	237	100.0%	183	77.2%	50	21.1%	
構成比	-	-	-	51.2%	-	80.0%	-	構成比	-	-	-	59.4%	-	68.5%	
女性	108	100.0%	99	91.7%	2	1.9%		女性	149	100.0%	121	81.2%	22	14.8%	
構成比	-	-	-	48.3%	-	20.0%	-	構成比	-	-	-	39.3%	-	30.1%	
長沙市	317	100.0%	253	79.8%	47	14.8%		上海市①	485	100.0%	449	92.6%	21	4.3%	
男性	178	100.0%	138	77.5%	31	17.4%		男性	285	100.0%	260	91.2%	17	6.0%	
構成比	-	-	-	54.5%	-	66.0%	-	構成比	-	-	-	57.9%	-	81.0%	
女性	131	100.0%	109	83.2%	14	10.7%		女性	198	100.0%	187	94.4%	4	2.0%	
構成比	-	-	-	43.1%	-	29.8%	-	構成比	-	-	-	41.6%	-	19.0%	
蘇州市	494	100.0%	419	84.8%	66	13.4%		広州市①	480	100.0%	412	85.8%	59	12.3%	
男性	308	100.0%	265	86.0%	37	12.0%		男性	360	100.0%	305	84.7%	47	13.1%	
構成比	-	-	-	63.2%	-	56.1%	-	構成比	-	-	-	74.0%	-	79.7%	
女性	186	100.0%	154	82.8%	29	15.6%		女性	120	100.0%	107	89.2%	12	10.0%	
構成比	-	-	-	36.8%	-	43.9%	-	構成比	-	-	-	26.0%	-	20.3%	
西安市	497	100.0%	399	80.3%	88	17.7%		福州市	495	100.0%	418	84.4%	69	13.9%	
男性	326	100.0%	255	78.2%	64	19.6%		男性	298	100.0%	240	80.5%	54	18.1%	
構成比	-	-	-	63.9%	-	72.7%	-	構成比	-	-	-	57.4%	-	78.3%	
女性	171	100.0%	144	84.2%	24	14.0%		女性	197	100.0%	178	90.4%	15	7.6%	
構成比	-	-	-	36.1%	-	27.3%	-	構成比	-	-	-	42.6%	-	21.7%	
寧波市	468	100.0%	397	84.8%	67	14.3%		南昌市	482	100.0%	383	79.5%	80	16.6%	
男性	320	100.0%	266	83.1%	54	16.9%		男性	355	100.0%	277	78.0%	64	18.0%	
構成比	-	-	-	67.0%	-	80.6%	-	構成比	-	-	-	72.3%	-	80.0%	
女性	148	100.0%	131	88.5%	13	8.8%		女性	127	100.0%	106	83.5%	16	12.6%	
構成比	-	-	-	33.0%	-	19.4%	-	構成比	-	-	-	27.7%	-	20.0%	
瀋陽市	503	100.0%	421	83.7%	59	11.7%		石家庄市	495	100.0%	456	92.1%	26	5.3%	
男性	269	100.0%	218	81.0%	35	13.0%		男性	173	100.0%	159	91.9%	9	5.2%	
構成比	-	-	-	51.8%	-	59.3%	-	構成比	-	-	-	34.9%	-	34.6%	
女性	234	100.0%	203	86.8%	24	10.3%		女性	322	100.0%	297	92.2%	17	5.3%	
構成比	-	-	-	48.2%	-	40.7%	-	構成比	-	-	-	65.1%	-	65.4%	
鄭州市	491	100.0%	364	74.1%	110	22.4%		天津市	491	100.0%	450	91.6%	31	6.3%	
男性	362	100.0%	264	72.9%	84	23.2%		男性	328	100.0%	297	90.5%	25	7.6%	
構成比	-	-	-	72.5%	-	76.4%	-	構成比	-	-	-	66.0%	-	80.6%	
女性	129	100.0%	100	77.5%	26	20.2%		女性	163	100.0%	153	93.9%	6	3.7%	
構成比	-	-	-	27.5%	-	23.6%	-	構成比	-	-	-	34.0%	-	19.4%	
南京市	489	100.0%	449	91.8%	31	6.3%		濟南市	513	100.0%	485	94.5%	20	3.9%	
男性	261	100.0%	231	88.5%	25	9.6%		男性	281	100.0%	259	92.2%	16	5.7%	
構成比	-	-	-	51.4%	-	80.6%	-	構成比	-	-	-	53.4%	-	80.0%	
女性	228	100.0%	218	95.6%	6	2.6%		女性	232	100.0%	226	97.4%	4	1.7%	
構成比	-	-	-	48.6%	-	19.4%	-	構成比	-	-	-	46.6%	-	20.0%	
武漢市	523	100.0%	501	95.8%	15	2.9%		合肥市	500	100.0%	420	84.0%	64	12.8%	
男性	323	100.0%	309	95.7%	10	3.1%		男性	235	100.0%	188	80.0%	37	15.7%	
構成比	-	-	-	61.7%	-	66.7%	-	構成比	-	-	-	44.8%	-	57.8%	
女性	200	100.0%	192	96.0%	5	2.5%		女性	265	100.0%	232	87.5%	27	10.2%	
構成比	-	-	-	38.3%	-	33.3%	-	構成比	-	-	-	55.2%	-	42.2%	
上海市②	518	100.0%	447	86.3%	64	12.4%		南寧市	511	100.0%	441	86.3%	65	12.7%	
男性	329	100.0%	280	85.1%	43	13.1%		男性	244	100.0%	193	79.1%	49	20.1%	
構成比	-	-	-	62.6%	-	67.2%	-	構成比	-	-	-	43.8%	-	75.4%	
女性	189	100.0%	167	88.4%	21	11.1%		女性	267	100.0%	248	92.9%	16	6.0%	
構成比	-	-	-	37.4%	-	32.8%	-	構成比	-	-	-	56.2%	-	24.6%	
広州市②	534	100.0%	448	83.9%	79	14.8%		成都市	518	100.0%	469	90.5%	40	7.7%	
男性	391	100.0%	323	82.6%	64	16.4%		男性	291	100.0%	255	87.6%	30	10.3%	
構成比	-	-	-	72.1%	-	81.0%	-	構成比	-	-	-	54.4%	-	75.0%	
女性	143	100.0%	125	87.4%	15	10.5%		女性	227	100.0%	214	94.3%	10	4.4%	
構成比	-	-	-	27.9%	-	19.0%	-	構成比	-	-	-	45.6%	-	25.0%	
北京市①	368	100.0%	302	82.1%	61	16.6%		北京市②	529	100.0%	486	91.9%	31	5.9%	
男性	208	100.0%	167	80.3%	39	18.8%		男性	281	100.0%	257	91.5%	19	6.8%	
構成比	-	-	-	55.3%	-	63.9%	-	構成比	-	-	-	52.9%	-	61.3%	
女性	160	100.0%	135	84.4%	22	13.8%		女性	248	100.0%	229	92.3%	12	4.8%	
構成比	-	-	-	44.7%	-	36.1%	-	構成比	-	-	-	47.1%	-	38.7%	

現するためには社会保険等の雇用条件を顧みられない求職者が多かったと思われる³²。

また、社会保険等を不要とする求職者は、女性よりも男性に多かった。社会保険等を不要とする求職者の男性比率は、蘇州市、石家荘市、南寧市、北京市〔第1回〕、北京市〔第2回〕の人材交流会を除き、全求職者の男性比率よりも高かった。とりわけ常州市の人材交流会は、社会保険等を不要とする求職者に占める男性の比率が全求職者に占める男性の比率を26.4ポイントも上回った。この原因は、女性求職者にたいする男性求職者の安定志向の欠如に求めるべきではなく、主たる所得者として是が非にも就業機会を獲得しなければならない男性求職者の窮状に求めるべきであろう。筆者は、女性高学歴層の就業機会が不足していることを事実として認めると同時に、男性高学歴層が納得できる就業機会も同様に不足している事実を指摘せざるをえない。

おわりに

本稿は、中国各都市で開催されている人材交流会に就転職の機会を求めて訪れた高学歴若年層を主たる対象にした独自のアンケート調査の結果を分析し、求職者の属性が都市ごとあるいは人材市場ごとに大きく異なっていた事実を紹介した。本稿で明らかになった各都市の人材交流会求職者の属性は、労働需要が質的に高度化していくなかで変容を迫られるだろうが、その追究は、5年後をめどにしている今後の追調査をまちたい。筆者は、差しあたって、次稿では、三大経済圏の中心都市である北京市、上海市、広州市の人材交流会で実施したアンケート調査の結果とこの三都市に多くの求職者を送りだしている南昌市、鄭州市、合肥市の人材交流会で実施したアンケート調査の結果とをつき合わせることによって、北京市、上海市、広州市に就転職機会を求める高学歴若年層の属性を詳細に検討してみたいと考えている。

最後に、筆者を客員研究員として受け入れてくださった中国農業大学人文・発展学院の李小雲教授と劉啓明副教授、そしてアンケート調査の実施を快く許可してくださった人材市場と民間企業の関係各位にお礼を申し上げたい。本稿は、かれらの厚意なくしてもちろんありえなかった。

注

- 1 筆者の受入先である中国農業大学人文・発展学院は、中国語では「中国農業大学人文与発展学院」と表記される。
- 2 中華人民共和国人事部「人材市場管理規定」(2001年9月11日施行)第4条。
ここでいう地方政府とは、一級(省級)行政区に相当する直轄市・省・自治区、二級(地級)行政区に相当する地級市・地区・自治州・盟、三級(県級)行政区に相当する市轄区・県級市・県・自治県・旗・自治旗・特区・林区を指す。四級(郷級)行政区に相当する区公所・鎮・郷・蘇木・民族郷・民族蘇木・街道は、人材交流会を主催する権限をもたない。
- 3 2008年3月に開催された第11期全国人民代表大会は、「大部門制」の確立をめざして国务院の機構改革を決定した。その結果、旧人事部は、旧労働・社会保障部と統合され、人力資源・社会保障部に再編された。人材市場は、人事部と労働・社会保障部が人力資源・社会保障部に統合されたことを受けて、後述する「労働力市場」とともに「人力資源市場」を構成する一翼という位置づけがなされるようになった。
- 4 日野みどり『現代中国の「人材市場」』創土社、2004年。

日野は、人材市場の形成過程と業務の詳細を文献（電子媒体を含む）調査と現地調査に基づいてまとめており、人材交流会の現状と課題も詳述している。

なお、人材市場は、現在の中国では一般に「人才市場」と表記している。日本語と同様の「人材市場」という表記も、少数とはいえ存在するが（両表記のあいだに概念上の相違はない）、すでに日野〔2004〕が詳述しているように、改革・開放政策への転換以降は「人才市場」に事実上一本化されているといえよう。本稿は、日本語論文であるために、固有名である機関の名称を除いて人材市場と表記する。

- 5 中華人民共和国人事部「全国部分人材市場供求情況及分析」中華人民共和国人事部，URL，人事部人材市場公共信息网（<http://www.chrm.gov.cn/Desktop.aspx?PATH=rsrsw/sy/>）。
- 6 「大学専科」は、日本の短期大学に相当し、卒業資格として学位を授与できない。
- 7 筆者たちがアンケート調査を実施した北京市を例にあげよう。北京市は、北京市人事局傘下の三大人材市場である北京人材市場雍和宮橋会場、北京人材市場海淀会場、北京人材市場中高級市場をはじめ、中華人民共和国人事部傘下の人材市場である人事部全国人才流動中心人材市場、北京市朝陽区人事局傘下の人材市場である朝陽人材市場など人事部／局系統の人材市場に限定しても20前後の人材市場が人材交流会を主催しており、そのうち7つの人材市場の人材交流会がアンケート調査当時毎週土曜日に並行して開催されていた。
- 8 人材市場と民間企業の多くは、筆者が現地調査とURLを通じて確認したかぎりでは、特定業種、外資企業、民营企业（中小企業）に求人企業を限定した人材交流会や特定職務、中高級人材、卒業見込者、特定学歴保有者、特定地域（台湾など）出身者、帰国留学生、女性に求職者を限定した人材交流会を主催していた。
- 9 日野〔2004〕，第2章第2節。
人材交流会に相当する催事は、すでに日野〔2004〕がまとめているように、人事部／廳／局と労働・社会保障部／廳／局を除くその他の部／廳／局、「総工会」（全国労働組合）、高等教育機関、共産主義青年団各委員会などでも主催されている。
- 10 人材市場が主催していた人材交流会と労働力市場が主催していた労働力洽談会は、いずれも法律用語としては「招聘洽談会」と呼ばれるようになった。
- 11 中華人民共和国人事部「人材市場管理規定」（2001年9月11日施行）第2条。
人材市場が就転職仲介サービスを提供する対象である「人材」とは、「人材市場管理規定」では、「『中专』卒業以上の学歴を有する者、専門技術資格をもつ者、あるいは専門技術業務または管理業務に従事する者」となっている。
- 12 中等専門学校は、中卒者を受け入れるものと高卒者を受け入れるものとが存在しており、また専門の内容によって2年の教育課程のものから4年の教育課程のものまで幅広く存在する。したがって、中等専門学校卒業時の年齢は、中卒者を受け入れるもので一般に17～19歳、高卒者を受け入れるもので一般に20～22歳になる。中等専門学校卒業の学歴を有する／有することになる者は、かつては高学歴者とみなされていたが、若年層の高学歴化がすすんだ現在、高学歴者とはみなされなくなっている。
- 13 農村から出稼ぎにきた非高学歴若年層の多くは、一般に、出身地の人間関係を通じて求職活動をしており、労働力市場が主催している労働力洽談会を利用して求職活動を行う者は、少数派に属する。
- 14 筆者たちのインタビューに応じたある人材市場の人材交流会運営責任者は、國務院の機構改革が話題にのぼるようになった2007年10月の中国共産党第17回全国代表大会以前に将来的には人材市場が主催する人材交流会と労働力市場が主催する労働力洽談会の統合がすすむという見通しを述べていた。
- 15 日野〔2004〕，第5章および第6章。
- 16 中華人民共和国人事部，URL，人事部人材市場公共信息网。
（<http://www.chrm.gov.cn/Desktop.aspx?PATH=rsrsw/qgrsc>）
- 17 浙江省の国家級人材市場は、例外的に、省都である杭州市ではなく、寧波市におかれている。その理由は、中華人民共和国人事部が国家級人材市場の認定を行った1997年当時、寧波市が杭州市よりも経済開放がすすんでいたためである。

18 安徽省人事廳傘下の中国安徽人材市場は、国家級人材市場であるが、筆者が中華人民共和國人事部のURLを参考にしてアンケート調査の許可を合肥市人材市場に願っていた時点ではまだ国家級人材市場として正式に運営をはじめていなかった。

19 國務院「關於做好促進就業工作的通知」(2008年2月3日)。

國務院は、2008年2月、就業機会をできるかぎり多くの国民に提供するために、これまで有料で行っていた求職者にたいするサービスを無料にする通達を發した。人材市場が主催する人材交流会の入場料は、この通達を受けて一律無料になった。人材市場は、筆者がアンケート調査を実施した人材交流会から推測すると、これまで半数弱が少ないところで1元、多いところで10元になる人材交流会の入場料を求職者から徴収していた。なお、この通知は、あくまで公的機関である人材市場にたいするものであり、人材交流会を主催する民間企業は、対象としない。民間企業が主催する人材交流会の入場料は、従来同様、各社の事業方針に基づいて決定されている。

また、人材交流会で求人活動を行う企業は、従来どおりブース利用料を負担する。人材市場は、求人企業から徴収するブース利用料で人材交流会の運営費用を捻出していた。

20 「志望職務」の選択肢に「金融」がない理由は、求人者がほとんどなかったためである。「志望職務」を「その他」にマークして「金融」と記述した回答者は、人材交流会のおよそ半数でそれぞれ若干名いた。

21 國務院人口普查辦公室・国家統計局人口和社会科技統計司編『中国2000年人口普查資料』(上冊)中国統計出版社、2002年、593~602頁。

ここに示した男女構成は、2000年に実施された人口センサスで15~29歳に区分された世代のなかから高等教育機関就学者だけをとりだしたものである。かれらは、単純計算では、2005年時点で20~34歳になっている。

22 ただし、求職者の多くが上海市〔第1回〕と上海市〔第2回〕の人材交流会のように在職者であったか、あるいは広州市〔第2回〕と北京市〔第1回〕の人材交流会のように失業者であったのかは、残念ながら定かではない。

23 筆者は、蘇州市では、蘇州工業園区に位置する蘇州工業園区人力資源市場が主催する人材交流会でアンケート調査を実施した。蘇州工業園区人力資源市場は、蘇州工業園区政府が運営しており、表2に示したように、人材市場と労働力市場の機能を併せもっている。蘇州市の人材交流会で高卒者・中等専門学校卒者が多かった理由は、蘇州工業園区に外資企業の工業団地が形成されており、非高学歴層を対象にした招聘会が別の曜日に開催されているためであろう。筆者は、蘇州工業園区に並ぶ開発区である蘇州高新技術開発区政府傘下の人材市場が主催する人材交流会でも同様の属性をもった求職者が集まっていると認識しているが、市街区に立地する蘇州人材市場が主催している人材交流会を訪れる求職者の属性は、推測しようがない。蘇州人材市場は、筆者たちの問い合わせにたいして以前に自ら実施した回収率が極端に悪く標本誤差も著しかったというアンケート調査の結果を探してくれたが、残念ながらみつげだせなかった。

24 求職者の学歴構成は、異なる行政レベルの人事廳/局傘下の人材市場が主催する人材交流会では同一の市内で開催されていても一様ではなかった。人材市場を運営している各級政府の行政レベルの相違は、人材交流会の規模と密接に関係しており、人材交流会を訪れる求職者を学歴レベルによって自然に分ける傾向がある。筆者がアンケート調査を実施した朝陽人材市場は、三級行政区である北京市朝陽区人事局傘下の人材市場であり、主催する人材交流会の規模は、一級行政区である北京市人事局傘下の北京人材市場雍和宮橋会場などに比較して小さい。この結果、最も多くの求人条件に合致する大学本科卒業以上の学歴を有する/有することになる者は、求職の選択肢が少ない朝陽人材市場が主催する人材交流会にはあまり訪れず、高校・中等専門学校卒業の学歴を有する/有することになる者と大学専科卒業の学歴を有する者/有することになる者の比率が相対的に高くなる。

ただし、以上の傾向は、朝陽人材市場によると、定期的に主催される総合性の人材交流会にみられるものであり、特定業種に限定した人材交流会や年間に数度主催される催事色の強い人材交流会は、このかぎりではないという。

25 高学歴若年層は、就転職先の決定にあたり、自身の出身(生)地と高等教育機関所在地に加え、配偶者

- や友人などの出身（生）地と高等教育機関所在地をも考慮に入れている。
- 26 労働力市場が主催している労働力洽谈会は、「農民工」（農村からの出稼ぎ労働者）が数多く集まっていたとはいえ、人材市場と民間企業が主催している人材交流会と似通った求職者の増減を年間を通じてみせていたと思われる。「農民工」は、筆者が実施した企業十数社での聞き取り調査によると、春節（旧正月）の1ヵ月前あたりから減少し、春節後に増加する。
- 27 在学／在職状況を尋ねる質問項目の選択肢は、長沙市から福州市までの人材交流会では、「応届卒業」（今期卒業）、「在崗」（在職）、「下崗」（一時帰休）、「失業」（失業）としていた。筆者は、「応届卒業」を卒業見込と認識してアンケート調査を続けてきたが、「応届卒業」は、2007年6月中下旬の卒業式を転機にして、日本でいう卒業見込から新卒に意味を変える。「応届」は、中華人民共和国教育部の用法によると、学年歴とは異なり、毎年1月1日から12月31日までを指し、「応届卒業」は、1月1日から6月中下旬の卒業式まではその時点で最終年次に在籍している卒業見込者、6月中下旬の卒業式後から12月31日までは新卒者を意味する。
- 筆者は、寧波市の人材交流会でアンケート調査を実施する直前にこの点を確認し、これ以降、在学／在職状況を尋ねる質問項目の選択肢を「2008年6月卒業」（卒業見込）、「2007年6月卒業但無工作经历（不含實習）」（新卒の失業者）、「在崗」（在職）、「下崗」（一時帰休）、「失業」（失業）に改めた。
- 28 上海市〔第1回〕の人材交流会は、中高級人材を対象にしていたために在職者の比率が高かったことは当然であろう。しかし、一般を対象にした上海市〔第2回〕の人材交流会も、在職者の比率が38.2%にもなった。筆者は、上海市〔第2回〕の人材交流会が上海市〔第1回〕の人材交流会と同時期に実施されていたとすれば、卒業見込者の比率が低くなる分だけ在職者の比率が上海市〔第1回〕の人材交流会と同程度まで高くなったであろうと認識している。
- 29 本稿でいう一般職は、補助的業務あるいは採用された地域に密着して業務を行う職、すなわち総合職にたいする職を意味しない。
- 30 各都市の物価水準を示す手掛かりとして、アンケート調査実施時のタクシーの初乗り料金をあげよう。タクシーの初乗り料金は、アンケート調査実施順に常州市8元／3キロ、重慶市5元／3キロ、長沙市8元／3キロ、上海市11元／3キロ、蘇州市10元／3キロ、広州市7元／3キロ、西安市6元／3キロ、福州市7元／3キロ、寧波市8元／4キロ、南昌市6元／2キロ、瀋陽市5元／3キロ、石家荘市5元／2キロ、鄭州市6元／2キロ、天津市8元／3キロ、南京市9元／3キロ、済南市7元／3キロ、武漢市3元／2キロ、合肥市6元／2.5キロ、南寧市7元／2キロ、成都市5元／1キロ、北京市10元／3キロであった。
- 31 Lewis, William Arthur, "Unlimited Labour: Further Notes" in *The Manchester School of Economics and Social Studies*, Vol. 26 No. 1, January 1958, pp. 1-32.
- 32 「中華人民共和国労働契約法」（2008年1月1日施行）第17条。
- 社会保険への加入は、同法が施行されたことによって使用者と労働者の双方に義務づけられた。使用者と労働者は、労働契約書を作成するにあたって社会保険への加入を明記するとともに、社会保険料を負担するように取り決められた。
- なお、アンケート調査は、常州市の人材交流会から広州市〔第2回〕の人材交流会までは「労働契約法」施行以前、成都市の人材交流会から北京市〔第2回〕の人材交流会までは「労働契約法」施行以後に実施された。